文化十三子年

本　廻状留

従正月至六月

共廿八

内閣文庫		
番號	和	35298
冊數	201	131
函號	184	1

1：28

四月御用番

土井大炊頭
水野出羽守
松平右近将監
石川若狭守
岩瀬加賀守
柳生主膳正
曲淵甲斐守
村上 [illegible]
牧 [illegible]

日本政府図書
秘閣図書之章

四月朔日　　雨天　大雨ニ付後晴

一 今日例年之通巳之刻ゟ出仕御礼ニ付尾州
紀伊殿ゟ御祝儀被遣之候ニ付御返書被遣之
一 今日当番之事
大御番頭御役御礼相済候ニ付
入御前之御礼
御老中
一 四組大番頭御役御礼并御目見被仰付候ニ付御前江
仰出ニ付候処御広間ニ而御懸相済候
小林飛騨守　土井大和守　松浦壱岐守
村上志摩守　小出信濃守　永井大和守
今日大番頭被仰付候ニ付御前江罷出候間
御礼申上
御帳付　御目見之者御番帳
御目付
進之
一 四組大番頭之者御免之上若村丹後守出席之処

一 小出越後守儀御役被仰付候処右之者共
人々之儀ニ而御目見被仰付右三人之者
川勝丹波守石川伊予守本多近江守松平
越中守土井中務少輔右之者共一番
組之者ゟ之御礼相済候旨其段申達候
本多大和守ゟ右之趣申達候
松平大隅守同様御役被仰付候ニ付御次
小出何某ゟ四組大番頭御用被仰付
御勘定奉行被仰付候
一 今日御礼被仰付右之者共御目見人数八人
一 御勘定所ニ而松平縫殿頭
御勘定奉行御礼申上候御用番相済候
一 大広間ニ而御礼被仰付候十二人之者共
御目見之儀人数八人
一 土屋佐渡守ゟ御目見人数十二人相済候
明日

西丸御留守居〔?〕被仰付候節御用有之節者
〔?〕御本丸へ申上候様被仰渡候
西丸御留守居被仰付候御用向〔?〕申上
西丸御留守居〔?〕
一 御本丸〔?〕御礼〔?〕御用〔?〕
〔?〕御〔?〕表〔?〕〔?〕被仰付
一 明日大御番〔?〕被仰出
一 播州〔?〕〔?〕〔?〕御〔?〕〔?〕
〔?〕被仰付〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
八月〔?〕〔?〕〔?〕人〔?〕人御〔?〕〔?〕

四月二日　御老中　松平伊賀守

一 今日御礼御役〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
　〔?〕〔?〕御〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
一 今日御礼
　大関〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕

一 入国〔?〕御礼之
　名代〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕

保科弾正代
御名代
大関〔?〕之輔
御名代〔?〕之
　今川丹後守

　代
　武田左京大夫

〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
大関〔?〕〔?〕
御名代〔?〕之
　中條河内守

　代
　織田〔?〕〔?〕

〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
御名代〔?〕〔?〕
大関〔?〕〔?〕
御名代〔?〕之
　宮原〔?〕〔?〕

　代
　横瀬〔?〕〔?〕

一 右者〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
　別〔?〕大御番〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕
　明〔?〕〔?〕人〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕〔?〕

一 於大坂ニ而可為吟味旨附札
伊豆守殿ゟ被仰渡候ニ付、右一件之もの共
引渡之儀、御勘定奉行所ニ而申達候ニ付
一 右一件之者共、何れも同人方ゟ差出候
右之趣 御附札之通取計可申候
　五月二日
　　進達
一 四郎兵衛儀、其外村役人共吟味之上附札
於大坂ゟ差出候一件、右之始末申立候
以書付申上候
一 右四郎兵衛儀、吟味之上申立候趣、吟味
之上、四郎兵衛ゟ申立候趣ニ付、相違無之
一 四郎兵衛申立候趣ニ而、差出候
一 四郎兵衛方ゟ申立候儀、四郎兵衛
右之通申立候ニ付、吟味之上申渡候
一 当分之儀、右之者共、吟味之上
於大坂表ニ而、吟味之上、相違無之
除キ申、右之趣申上候、以上

一 右之段、被仰渡候ニ付、可申上候
一 右四郎兵衛儀、一件之始末、吟味之上
之上、四郎兵衛之儀、吟味之上申上候
右四郎兵衛、四郎兵衛之儀申上候
ニ付、右之趣申上候
一 大坂ゟ差出候一件、吟味之上、其段申上
四郎兵衛、四郎兵衛申立候趣、相違無之
一 右四郎兵衛、四郎兵衛之儀、相違無之
四郎兵衛申立候
一 右之通、御勘定奉行所ゟ申達候
河州之もの共
一 伊勢守殿
御勘定奉行所ニ而申渡候
文化十一年十一月十二日、吟味之上
右申渡候
一 明日
右一件之儀、吟味之上申上候
右之者共、吟味之上申渡候

一 中老人
右之者共之大坂御城[illegible]

別紙写之

[口上覚[illegible]]

来ル十日大坂御城[illegible]
御出座ニ付 御奉行[illegible]
御出之節[illegible]御城[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 御城 御道筋[illegible]
[illegible]御城[illegible]
[illegible]
御城 御道筋
御目付[illegible]御城
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]御城[illegible]

一 御城[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

大目付

四月三日 [illegible]

一 今日[illegible]
[illegible]進上[illegible]

一 今日[illegible]
大目付[illegible]
[illegible]

一 今日[illegible]
[illegible]
[illegible]
進上

一 今日御能拝見ニ付、平服ニ而罷出候様
而も大目付衆江も御断有之候、平服ニ而罷出
御能拝見相済候而、罷出候
一 松平肥後守御暇被下候、御老中伺ニ而大久保加賀守殿
仰渡之、右相済候而、老中方江罷出、御礼申上候
相済、御用部屋江罷出候
一 万石以上御暇被下候面々、御老中御列座ニ而
御用部屋ニ而御用番御渡、右相済候面々之
以書付御礼申上候
一 伊豆守殿被仰聞候ハ、此度被下候
此分ハ見合候様ニ而、伊豆守殿被仰聞
一 日光御門跡より使者を以御礼
一 大目付衆江も罷出
一 御城江罷出候、右相済七時過ニ御礼申上候
中奥
一 御用部屋ニ而御目付、老中御連名
御老中より相渡候

四月朔日 晴　当番 水野和泉守

一 三日御能ニ付、御三家方御入被成候ニ付、御老中
御城江被成候、大目付御渡之
一 右御能拝見被仰付候、御目付衆江も御断有之
御廊下ニ而御目見被仰付候
松平隠岐守
右御礼御老中御渡之、右相済候面々
御用番申渡之
右同　御用番申渡之
進上
一 中川修理大夫より使者、右御礼申上
一 明日御能
一 御城江大目付衆被仰聞候旨御老中御渡之
中奥
一 九日御用番被仰付候、右相済候面々

別紙之上
大目付江
覚
公方様　薨去ニ付
御沙汰御普請諸職人之儀相止
可申候尤裏店等ニ而も少々宛
致候ハヽ　御大法ニ付
右之趣可相触候御用之儀
之ハ
所々廻り可申候　入
一 御普請之儀ハ
暫之間遠慮可致
一 通行之儀
町中ニも不差構
一 見世商売ハ不苦候
右之趣可被相触候
以上

四月六日　松平周防守
　　　　　　　　　　出雲
今般御触之通御普請並諸職
人共作之
諸事者可為遠慮候
見世商売等不苦候
右之通被相触候　　松平隠岐守
一 右之趣
一 明六日寺社御礼相済候得者
此度明六日御停止候ニ付
左之通御沙汰
中之者
一 明ヶ六日御停止之節ハ中ニ而
此方入念　御停止
此方承知仕候
右之通　被申渡候
以上

進之

一 御年中月次之節

一 西丸ニ而も同様

一 大目付大御番頭被申渡候旨申達之

正月六日　　板倉周防守

一 今日寺社御礼御目見之面々罷出候節
　 右御礼ニ付御目見書付進之候旨申上

一 今日御附之

一 大御番組頭被申付候節

一 右御礼之儀相済候ニ付

一 明七日御礼年始之面々被仰付候

一 大御番頭組頭御目見仕候ニ付御礼相済候

一 御礼書付御渡ニ付御目見面々罷出候者

一 御名代右被仰付候旨申上候事

一 西丸ニ而右同様之儀御申付候ニ付今日
　 御本丸ニ而御達之旨申上之

一 右之外御礼之儀ハ不苦候

一 右相済候
　 追而

一 右之面々右同様之儀御座候

一 大御番組頭御目見之事

一 西丸御番衆御目見之儀

一 右之趣

一 今日御目見之面々ニ付大御番頭
　 右之面々申付進之候事

一 今日御相手之内中山大和守より御達ニ付御礼
　御供致候人々へ御酒御吸物被下置候
　右之通

一 晴天

一 西丸御留守居より御奉書到来候

一 御目見之節老中方御列座ニ而御目見被仰付候ニ付
　御老中方へ御礼参上之事ニ付左之通御届

一 御目見ニ付御出

一 晴天御目見相済

一 御名代御勤之義御届之

一 日光御名代并大廊下列ニ付御礼申上度旨
　昇進付大広間御座敷ニ而御目見被仰付候旨

　以上

　　四月七日　　　　内藤〔花押〕

今日御附方一
大廊下之様御番罷出候事

一 御目見相済候ニ付
　左之通御届候ニ付御用番
　　　御同人之向
　　　　　　　　御用番
　　　　　　　　伊勢守殿
　　　　　　　　　　今川丹後守
　　　　　　　　　　三宅備前守
　　　　　　　　　　中條河内守

一 御目見相済
　右御礼大廊下御通
出御
　　　　　　　　　　水戸宰相殿
　　　　　　　　　　水戸中将殿
　右七種之御祝儀御礼申上候
　　　　　　　　　　松平加賀守
　　　　　　　　　　井伊掃部頭
　　　　　　　　　　松平越後守

右退出　　　　松平越中守
　　　　　　　松平大蔵大輔

御用ニ付　　　松平越前守

右同断

臨時代　　　　出羽守名代
　　　　　　　松平和泉守

同断　　　　　大坂城代松平伯耆守名代
　　　　　　　織田山城守

御精勤ニ付

半料一家　　　東上野介支配
　　　　　　　牛尾与右衛門

一　浅草御蔵奉行被仰付之候ニ付御礼申上ル
　　大御番組頭ゟ

一　浅草御蔵奉行ゟ御勘定組頭ニ被仰付御礼
　　此人へ申渡ス

一　京都町奉行ゟ東海道筋御用ニ付罷越候ニ付

一　此人出席之儀
　　中條河内守病気ニ付御用席江出人不仕候
　　此義ニ

一　京川丹後守・東海道筋御用席江出人
　　御用番上・申渡ス

一　松平大和守・御用之儀ニ付御精勤之儀
　　松平主殿頭・松平大和守・酒井雅楽頭代
　　名代之儀ニ相成候ニ付申渡候
　　此儀ニ付此人へ御達之処相済候
　　松平大和守御用番江此人へ申渡候

一　右之通
　　万石以上之面々同様被仰渡候
　　御城名代ニ付而御用席ニ松平大和守
　　御用番ニ付
　　右之　　御老中被仰渡候

　　右之通
　　進ス

一　右ニ付松平大和守ゟ大坂御城代

西河原口所々大ニ普請之儀右之通ニ候

羽織ニ而上

小笠原右京
大関信濃
内藤
ら

正月七日

御礼書之内　松平[illegible]

大御番頭　[illegible]

一 去度大雨年ニ付[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 山王[illegible]

[illegible]

一 中院[illegible]御名代[illegible]

[illegible]

一 松平阿波守[illegible]

一 掃部[illegible]

一 明八ツ時[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

正月八日　　当番　松平右近将監

今朝上野
厳有院様
浚明院様　御参詣
御名代松平[illegible]
右ニ付　[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 九半時去ル大統領殿御出ニ付御達之

四月九日　牧野越中守

明十日四時御供揃ニ而御出駕

御先番

御供廻り之通

御乗輿ニ而御出門外迄御出

右ニ付　御申達候間此段申達候

右之通

退出

山縣之　　　　西島氏
　　　　　　須藤級治郎

門
二之
　　　　　門
　　　西島殿
　　　鶴之丞　文右
大森彦八郎

右

一 御家来屋敷御本陣之者ゟ彼方御用之節御申出之節

手之御渡ニ而御出

一 松平出羽守殿出勤之節御案内被成御取繕之御役人ゟ

以御手紙二御出之節幸ニ而御家来

御切紙ニ而御渡被成ゟ御構無之

一 書付同様ニ而出張之節夜御取締方之者ゟ

御使ニ而御役人代御出被成之節御門前

一 衆人方ゟ出入

保養所ゟ御渡ニ而御出張之節ゟ申達之

明十日上使御

一 御家来御役人被成候之節

御役人之者ゟ御出之節御申達ゟ御届出候

ゟ御出

一 同九月ゟ十月御上屋敷ゟ御届

九半時之大統領殿御出張ニ付御届申上

前御届申上

松平越中守殿
松平伊豆守殿
松平周防守殿
水野和泉守殿
松平右京亮殿
西尾隠岐守殿
松平伯耆守殿
本多弾正少弼殿

昨十日未被仰
御書付写
御老中方ゟ御渡被成候御書付之趣ニ付
御府内并在々之者共大坂御蔵方
利用ゟ年貢米之取扱之者ニ而候
御触之付候事ニ御座候間取計可申旨
被仰渡候ニ付御達申候
正月九日　大目付
正月十日　高木伊勢守
今日府中触候

御書付之写　御役所判
御老中方ゟ御渡被成候書付之写
右之通
御勘定方ゟ相渡候御書付
御用向之節
一 右之通ニ付御用向之儀相心得
一 右御役所ゟ被仰付候水戸
中納言様ゟ御達之趣被仰渡候
一 右者御触之通ニ而大坂表之儀ニ付
一 右御側向之御役人方ゟ御渡之趣
御用番御奉行所ゟ
一 右者御触之通ニ而御沙汰之趣
御役人中被仰付候ニ付
一 明十一日御用番御奉行所ゟ御触
右御触之趣水野若狭守殿
右之外御奉行所ゟ御達
二十七日

進上

一 別紙之趣元禄年中より之[illegible]
御目付衆より申達

一 明日大坂御役之
城之引渡[illegible]御目付[illegible]

一 [illegible]
御用番[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

四月十二日

当番
本多弾正大弼

今日御用番之
大岡主膳正殿御番ニ付
入御目付御用番
出府御旗本[illegible]御用番之

大岡之[illegible]
御老中[illegible]
上覧[illegible]

阿部[illegible]

当番
戸田新五
松平源之助

当番

右之
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

右ハ　磯中殿ニ而被成候ニ付
二月十一日

一
右附之大絵図面之外小絵図御添被下候由之
進上
御勘定所
石膏元
四月十七日
御奉行
公方様　大岡様御用
御普請役

石尾左衛門
松平三郎兵衛
代
南部大和守

右之通ニ御座候
大岡様御用地付候ニ付[illegible]
[illegible]

覚
[illegible]
亥十一月十七日大岡越前守殿
御書付ニ而　御奉行所
御出之上長沢殿へ差出候処[illegible]
右之段申上候処[illegible]
御用之方[illegible]

一　[illegible]
一　[illegible]
一　[illegible]

十一月十七日　大岡

四月廿六日　当番　阿部備中守

御留守居
松平丹後守殿
小笠原越前

御渡二

本所　奥田元太郎殿
上使之月加藤兵衛人ニ相合加四兵衛殿
御頭大嶋夏之通御使ニ相之千右衛門殿
候処

桂村庄兵衛

同
野沢十郎三郎

新之丞
木村大次郎

杉村弥五郎

同
山本十兵衛

武藤又四郎

吉村七郎

同
佐藤六左衛門

同
杉田源兵衛

岩村弥五郎

右之通り

本所大川本所新町加藤兵人
申し合加藤候ニ付四ツ人と申間し
候処門前

一　四ツ人以様子承り被申付候ニ付
之候

一　肯人四郎兵衛ニ付井上治兵衛申ニ付
之候

右之外　御申談被申付候之

以上

覚

一 去ル十七日
阿部豊後守殿御用ニ付罷出候処松平大和守
大坂町奉行松浦河内守殿宇都宮御加増被仰付
淡路守殿ニ而罷出被仰渡候旨申上候
以上

一 右件之御用人罷出候処御用人御渡被成候
別紙之通
右淡路
以上

四月十七日

松平紀伊守殿
阿部豊後守
大久保 大和守様御内
御目付衆

阿部豊後
松平大和守殿御家老代
西尾淡路守

右之通ニ而御座候
別紙之通
一 右大坂町奉行松浦河内守殿
大坂町奉行所
大目付

松平右京大夫殿ヨリ御渡被成候
御心得可被成候
右之御用御渡候ニ付
右御目付衆之旨申上候
以上

以上

四月十二日 松平右京大夫
西尾

大坂町奉行松浦河内守殿
右之通ニ而御座候
右之御渡候以上

四十三

進上

一 来ル十七日
御法事御法会之節 御参詣可被
遊 右ニ付日光御門主 御参詣候ニ付
比叡山ニ而ハ 御祈禱 大般若経転読被仰付候
右御祈禱被仰付候様 御寺中 [illegible]
可被成候

一 [illegible]之[illegible]御祈禱 [illegible]
[illegible]御名代[illegible] 御本坊ニ
[illegible]

一 日光門主 十七日 并上野御本坊

一 右ニ附候大般若経転読 [illegible]
別紙之通

四月十七日

紅葉山
御宮

公方様 大納言様
御一同 御参詣
尾張殿紀伊殿名代
御後隠 松平大和守
水野和泉守
右之通可被申候
四月十四日 松平和泉守

一 今般増上寺
御霊屋
御名代 酒井雅楽頭
坂日光御門主 [illegible] 十日
御参詣 [illegible]
上野之 [illegible]
[illegible] 大般若経 [illegible]

一 明十五日御礼ニ付御礼被為
請候御祝儀書付人々御名前申上
高田左衛門殿へ差出可申候事
十二三人之内御礼被為請候
節御十人程之内御礼
存候 御用番[illegible]

追而

一 今日御目見申上候御用人
持参

一 御礼席御用番[illegible]御祝儀[illegible]
取次御書付

一 御礼御用人取次御用番相勤候
之取次之儀

一 御用[illegible]取次之[illegible]
御目見申上候

一 御礼[illegible] 御[illegible]
九月[illegible]

一

四月十四日 御名 松平伯耆守

一 今般申付之
大関之儀[illegible]
御[illegible]
[illegible]
大関之儀御用
出席御礼[illegible]
御白書院

[illegible] [illegible] 大目付

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一太刀一腰　　〃元樹主尾
　白銀十枚　　〃樹下日向守
　同断　　〃伊丹左京亮
　同断　　〃青木甲斐守
　　　　〃大 京尾
一太刀一腰　〃下 膳
　同断　　〃早 棟
　同断　　〃駿河守
　　　　年頭之御礼
　　　　奏聞寺社
以後一同

一 右畢而於御白書院上段之間御座之上
　御次廊下大広間御着座
　　　　　　　　小堀対馬守
　　　　　　　　板倉平八郎
　　　　　　　　小堀対馬守
　右畢而御太刀目録献上之奏者
　御家門御譜代御大名衆御目見
　　　　　　　　松平能登守
　　　　　　　　松平大膳大夫
　右御奏者上様御上段
　御出座御着座
　御茶之間より御前出御
　同所御着座
　　　　　　　　松浦肥前守
　右御礼之席御上之御次御広間

其地江阿蘭陀船入津之節申上候趣　御船
阿蘭陀船渡来候ハヽ御手当之儀
尚又[illegible]
[illegible]
其地阿蘭陀船[illegible]
[illegible]
以之人数[illegible]
右之[illegible]
[illegible]
御申候
右阿蘭陀[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
右阿蘭陀[illegible]
因[illegible]
之様候[illegible]
阿蘭陀[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
御差図[illegible]
阿蘭陀[illegible]
右阿蘭陀[illegible]
可申上候
進上
一　[illegible]
[illegible]

四月十五日　御礼申上候

別紙写上
[illegible]
[illegible]

松浦肥前守内
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右趣病中不行届之儀

一 去ル四月六日[illegible]
[illegible]
一 阿部山城守[illegible]
[illegible]
一 太田備中守[illegible]
[illegible]
一 織田[illegible]
[illegible]
中[illegible]
一 同月[illegible]
一 九月[illegible]
以上

牧野越中守殿　板倉伊賀守
[illegible]
[illegible]

別紙之通

牧野越中守殿 板倉伊賀守殿 [illegible]

明十七日登城之
御宮ニ而
公方様
大納言様御目見一同ニ付
御本丸[illegible]
[illegible]
右刻限[illegible]
御本丸[illegible]
[illegible]
[illegible]
以上
大目付

四月十六日　御名　板倉伊賀守

中條河内守

右者、去ル亥年於京都館林之御用相勤候ニ付
大坂御役被免之御沙汰

三千石
寄合組頭
親　之尾

右頃日於御老中ゟ御挨拶御尋之儀ニ付
於御前御列座之上、御入念被仰渡

四日之

松平久左衛門

右、丈肥前守ニ御尋所ゟ被仰渡之候
其外御列座同席ニ入念被仰渡
并ニ手当等被仰付候

八月三日

浅井隼人

右之面々ニ大目付ゟ於殿中御渡御申
書付并ニ右之面々へ勘定奉行
御達之趣、御書付を以被仰渡

被仰渡

御目付

右大坂表御用向之趣御申渡之候ニ付
申付候人々御役御免之、其外御越之
二月朔日

御勝手御礼、大目付ゟ相済候ニ付
御指図之上、大坂御役御免之

明十七日御礼山

御宮ゟ御成之上被仰付

右御礼

大目付ゟ御目付

御書付之写、井上河内守へ差出ス

右之者、御目付立会之上御役御免之、出頭

之上、御宮ゟ御勘定奉行へ申渡

御書付御役御免之上、御前ニ於て御渡

御用御勝手ゟ御書付御渡之上被仰渡

御役御免之上、御申渡之上御納戸

御勘定奉行ゟ御書付御渡之上、御目付立会

[illegible]御沙汰[illegible]之通
[illegible]御用[illegible]被仰付[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]御用[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
進之

[illegible]
[illegible]　　　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

公方様
大猷院様御月忌ニ付
御参詣ニ而御成被遊候ニ付御
供揃六ツ半時与被仰出候而 大雨ニ付
右刻限ニ不罷越 尾張殿同上
御機嫌伺ニ相越可然与申上置
候處御用番より承候ニ而出来不申候
以上
四月十七日　大目付

四月十七日　御名　松平伊賀守

一 今日能天気ニ付
御参詣御延引ニ付伊賀守同列江申達
右同様家来
御留守
御名代　松平伊豆守ニ而相済

一 御参詣御延引ニ付 御機嫌伺
ニ而上使ヲ以被仰出候ニ付 大猷院様御
一 御同人より御目見為御礼御目付
ニ而差出し御礼申上候ニ付
右之外 [illegible]
扣
御機嫌御用代御礼申上候
[illegible]
[illegible]
御参詣ニ付 [illegible]
[illegible]
[illegible]
御参詣之 [illegible]
御同人 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
御同人 [illegible]

以上

御領私領寺社領[illegible]差留[illegible]
小判弐分判之儀ニ而[illegible]
[illegible]
[illegible]
御勘定所[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

追而

正月十七日

一 御勘定所[illegible]

一 [illegible]

正月十八日　　松平伯耆守

[illegible]書付[illegible]
[illegible]
今年[illegible]
右之外[illegible]

一 [illegible]

追而

別紙[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

右之趣向々江可被相達候
以上
四月十八日　　大目付
右之
四月廿六日御参詣

一
来ル廿六日大猷院様御霊屋江
公方様御参詣被遊候紅葉山御霊屋江
大納言様御参詣被遊候
御当日御成之節御下知之刻
日本橋通御成之節可被相心得候
御成　御道筋之面々并非番之面々
御成　御道筋
御目見之面々者罷出可被相勤候
御成之節者...
但大手門前御先ハ大手...
御番所之面々者...
非番之面々者...

一
御制札之儀ニ付先達而相触候趣
御心得之儀猶又向々江可被相達候
可被相達候　以上
四月十八日　　大目付

四月十九日　松平周防守
御渡
本紙御書付ニ而大目付江御渡被成候段
可被申達候
存候

堀田相模守
松平和泉守
大岡越前守
本多中務
牧野備前守
大久保下野守
...

一
右於柳之間御用人ヲ以御渡御座候以後
右之外　病中登城不致者差出之
〆十九人
進上
一 久世出雲守　大和守殿江被差出之

四月廿日　松平伊豫守

本紙上包
大紙尾様
中紙尾様　御老中
御名代者土山城守連名
御庭之間
御役筆
同月
井上山城守
山田右衛門
大高紙奉書之紙

右於
御前ニ而御渡し
右之外　病中登城不致者差出之
〆十九
進上
一 鯛　壱折宛ニ
一 大鯛　大鯛之様
一 御手前儀西丸山城守殿被仰付候ニ付
以使者大和守殿江被差出之

四月廿一日　御名　松平周防守

右ハ　病中登城不致候ニ付松平右京亮殿ゟ御達し
被仰付候ニ付御目見被仰付候處御老中
御目見被仰付候ニ付相違無之候段
可被成候旨被仰付候ニ付
御役人ニも病気ニ付上ケ候様御達有之
趣ニ而御年寄衆ゟ申達候ニ付
何レも承知仕候

右之通
進之
一 右承附之大坂町奉行江申達候様仕度奉存候
正月廿二日　御名
水野出羽守
井伊掃部頭
松平能登守
松平伊勢守
松平大蔵大輔
一 右者同御持筒頭
職務所療ニ付御褒美
松平(?)守組
大久保(?)
(?)二枚
三浦(?)十郎
(?)二枚
手塚(?)

一 右ハ御暇ニ付被遣候ニ付大坂町奉行
上使之節被遣候様申渡候
候度候例ニ而先年ニ...
別紙...
...
右ハ 御前ニ而...
御用...
松平...
御用...
被遣...
被下...
御用...
正月廿二日
進之
一 松平丹後守又者正月中又者右之通
井上河内守
小笠原大坂町奉行江申達候様仕度候
別紙...

其方共儀大坂御用ニ付罷出
阿部豊後守殿　阿部伊勢守
候ニ付而ハ其段御用向相勤候ニ付右
之段申渡有之候ニ付右之方ニ
こゝに候
一 御用之儀申付候旨ニ付而ハ大切之儀
結構之儀ニ付此上共急度可相勤候
一 右之者共御用向之儀申渡候ニ付御用
之御勤ニ付大切之儀ニ付急度可相勤
御勤之上ニ而も右之趣申渡候事
一 御用向之儀申付候事ニ付急度相勤候
此段之儀も出精いたし可申旨ニ付
早々可申渡候事
右之趣ニ可申渡候　大目付
西月廿二日　御安　松平伊勢守
右之通申渡候

大坂表御用向之儀御尋ニ付
可申上候
其所々御用向之儀申渡候
御安　松平伊勢守殿　古村大三郎
一 右之者共御用向之儀申渡之上大坂表御用相勤
明後日之儀御尋ニ付申上候
右之者御用向申上候
阿部豊後守　阿部伊勢守
大坂表御用向之儀御尋ニ付御用向申上
其外阿部豊後守殿
阿部伊勢守殿御用向申上候
右之外御用之儀御尋ニ付御用向申上
之儀御用向之儀申渡御用向之儀ニ付
御用向之儀申渡候儀ニ付御用之儀
之御用向之儀申渡候ニ付御用向之儀
御用之儀申渡候儀ニ付御用向之儀
御用之儀ニ付御用向之儀ニ付御用

何も差支無之旨
可申上候
進上
一 伺之通相済候間、此段申上候
此段御届申上候
一 阿部豊後守殿御渡候書付
様々伺済之上
申上候
一 右御屋敷江可人被遣候旨可申上
何茂差上

松平伊豆守殿
水野和泉守殿
阿部豊後守殿
太田備中守殿

明元日伺済之事
阿部豊後守殿御渡候書付
阿部豊後守殿御渡候書付
右御屋敷より太田備中守大目付江
右者此節差出候様可申候

右之段差出し候処
何事も差支無之旨
可申上候
進上
大目付

松平伊豆守殿
松平主殿頭殿
松平伊賀守殿

明元日伺済之事
惣御役人江
大目付江
御勘定奉行江御渡候書付
右御屋敷より太田備中守大目付江
可被申候
右之通り何も差支無之旨
何れも差支無之旨
可申上候
大目付
牧野備中守殿 ニ而差出可申候

佐渡河内守殿江相渡候ニ付左之通

[illegible]以上

[illegible]

別紙書上

牧野備前守殿
松平右京亮殿
松平伊豆守殿

明廿四日朝五ツ時

御登城

公方様

大納言様江御目見之節

御家老衆方江相渡候ニ付[illegible]

[illegible]府[illegible]大坂[illegible]

大納言様[illegible]

御登城[illegible]

[illegible]佐渡河内守[illegible]

[illegible]以上

[illegible]　大岡

四月廿四日　[illegible]

今日[illegible]

御登城　[illegible]

御家老[illegible]之節

[illegible]

御[illegible]何茂[illegible]

御用[illegible]

[illegible]

一　今朝[illegible]

一　[illegible]

一　御老中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 右者申上候通ニ御座候
猶又以猶之[illegible]候ハ、[illegible]御座候
御用之節御届申上候

上使[illegible]右之通
日光御門跡

右ニ付御老中より来月朔日[illegible]
御目附衆より申来
一 [illegible]如是[illegible]
一 明日[illegible]
御目附より[illegible]
大御番頭御目付
御目附より伊豆守様[illegible]
右之外 [illegible]申来候
御[illegible]

返答

一 [illegible]
[illegible]
一 伊豆守殿[illegible]

[illegible]
[illegible]
一 明日[illegible]
御目附衆伊豆守殿[illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

右之上

[illegible]

明日[illegible]
御目付
公方様 大御番頭御目付
御目附より[illegible]
[illegible]
右[illegible]

下ヶ物之掛り次第追而可申候得共
出来ハ伊豆守殿江申上置可申候
以上
二月廿八日　大岡外
四月廿二日　御奉行　板倉伊勢守
右之通被仰出
御宮付衆并役人江
公方様
大猷院様御参詣
御手洗御橋掛候事時之儀
公方様
御殿　公方様御座敷御成被成候
御用人
　　　　　　　　　　　　　　　　　　右京　深山大学

四月廿七日
御宮附衆
大猷院様
御宮衆

右御両寺衆
御定之通

一　御用人
一　公方様

両丸御留守居役被仰付候ニ付、此段御達申候
御心得ニ被成候様、此段可被申上候、右之趣御達
有之候ハヽ、御勘定所へ御掛合可被申上候ニ付候
紀伊守
両丸留守居役被仰付候ニ付、本丸
御留守居を以被仰付候、右之通御達ニ付
以御達被仰付候、此旨申達候掛合可被申上
書付御勘定所へ御達可被申上候
伊予守殿御留守居掛合申渡
両丸御留守居被仰付候間、可被得其意候
右之通り
追て
右之通申渡

一 御沙汰候ニ付御勘定所より御達之候
御目付

一 両丸御留守居へ御達之上、右ニ付御勘定所へ
御掛合有之候処、御目附ニ付

一 同月廿一日、村上修理より申聞候

一 御勘定奉行被仰付候ニ付、右之趣申上

四月廿一日　　遠江　河野伊予守

明年七月廿二日、右之通御勘定所へ申渡
御勘定所
御沙汰有之候旨、御書付御達候ニ付
右之外、御勘定所へ御達申上
右之通
追て

一 右ニ付之大目付衆へ御達被申上

四月廿七日　　遠江　松平左近将監

右之趣申渡候ニ付、御勘定奉行より申渡
御沙汰御達可有之候

本多
永井

松平伊賀守

右之内

一 右御目見之儀ニ付先年より申上置候ニ付
御当年別段大勢御座候処
明天八月朔日ニ御礼被仰付御礼済候上
御老中御宅へ罷出候ニ付御老中松平和泉守殿ニ
被仰渡候旨ニ而右拾二人之者共御渡被成候旨
申上候

一 先達而入部ニ付参府仕候旨申上候
右ニ付 願書差出候ニ付今日御役宅
御城ニ而右之段同人江御渡ニ付周防守殿江
差出申候処

一 何も無之候

追而

一 右ニ付御届申上候
猶又(?)追々御掛合之上御請可申上候

一 明日

一 寛政(?)御役所(?)之間差上候処御聞済被仰付候

一 右ニ付大坂御役所江差出候ニ付同周防守殿ヘ
御届申上候

同月

在府 松平周防守

御様子御書付差出候
差上候

右ニ付 願書差出候ニ付御役宅ニ而
申上候而御渡被成候旨申上候
御紙面御聞済被仰付候由
猶又申上候

大阪(?)御用御届被仰渡候ニ付
御渡ニ付御届申上候
御用之儀申上候而御用済被仰付候
右御書付差上候処御承知被仰付候
右之通御聞済被仰付候

御用之儀右ニ付御掛合被仰付
寛政(?)右之通御聞済被仰付候
何分宜敷申上候

四月九日

一　伊豆守殿
　　進る
於御前御勝手御用出精ニ付

四月廿八日　御使　松平若狭守

今日付

大納言様御祝儀御用掛り

乃退出之節御之

於御所之御座之間

奉書
　　　　　　松平縫殿頭

内田之之

右於

御前

公方様　御目見

大納言様御目

一

出御月次之御礼御白書院

御奏者番
青山右京亮
松平丹後守
松平主殿頭
松平伊豆守
坂山備中守
酒井肥前守
三宅備後守

御本丸様御代
二之御丸 一振
一 御判 一振

門 加賀守名代
中川出羽守

一 太刀 一腰
年頭之御礼
三年目代
条 宗尾

一 太刀 一腰
門 前 大樹寺

一 太刀 一腰
門 同断 名代
金剛院

一 太刀 一腰
年頭之御礼
三年目 御礼
親王院

一 太刀 一腰
御城代様より
同断
松平左門
本多淡路守

御膳十二枚
同 一振
同 三枚

御祝一同

年頭之御礼
専修寺

門 寺列之御町人
上村清兵衛

扇子

一 太刀 一腰
例月之御礼
摂州
青蓮寺

一 右済候而御役人衆御座敷 御座敷之
通り御廊下大廣間江被為入 [illegible]

黒田甲斐守
名代
[illegible]

松平甲斐守
名代

三浦備後守

大久保玄蕃頭
名代

松平伊豆守

堀山備中守
松平織部正
石川中務少輔
阿部豊後守
牧野周防守

名代
松平越前守
三宅□□守

一 右之面
右御白書院ニ而御老中於御白書院御老中
列座ニ而御人払被仰付
右之面々江御三家方より御老中被仰付
候様ニ

右於 殿中極御内々被仰付候ニ付宜敷御取計可有之
候間御心得之為申達候
[illegible]

一 御城江登城之節ハ御玄関より上ル
右者御老中方へ被成候

右御触書写
　　　四月

追而
一 今日御城ニ而御呼出御□之節大御目付申渡

以書付申達候　御老中方より被仰渡候
　別紙之通
　　四月廿八日　松平
　　　　　大目付
　　　　　御目付
　　四月廿八日
　　御持筒頭衆
　　　　　青山□之助
　　　名代　松平丹後守
　　　　　御先手頭
　　　名代　松平主殿頭

一 井上遠江守殿より御談有之候ニ付委細承知仕候
来ル十日迄ニ可差出旨被仰渡候段申来候ニ付
加□様ニ

一 黒田甲斐守殿ニ被成候而
右ニ付御用番御老中伊勢守殿御談之通
御書付もの 御用番御役方へ差上候様
可仕旨御書付御渡被成候ニ付御相談
一 日光御参詣御用懸り之通ニ被仰付

一 九州筋大坂御用之儀御出役申付候旨申上

四月廿九日　松平伊豫守殿

右之中村於御用部屋被申渡候
御目付江も申達
京都江も申達之候
其筋江も御達有之候

御勘定奉行江相達

一 吉田来助
　　同　　　渡辺友蔵

右之者御用之儀ニ付大坂御役
所江罷越候間...（[illegible]）
御用向申達

右両人[illegible]
大坂御役所[illegible]
　　　　　　[illegible]
　　　　　　[illegible]

一 [illegible]書付之写一通差上候
右之外[illegible]
[illegible]今日[illegible]申上
返答
一 [illegible]御役所[illegible]差上
別紙書付差上

大月[illegible]

武州中山道洗馬宿本山宿
[illegible]
右道中[illegible]
[illegible]
　　　中山道
　　　　　洗馬宿
　　　　　本山宿
右[illegible]
右之[illegible]

子二月

四月晦日　御渡　水野和泉守

今朝増上寺
御霊屋
御名代牧野備前守被相勤候

大目付
松平隠岐守

右組中行渡方之儀者兼帯之間此段十
引受相勤候旨相達候

御目見以上之面々書院番
大御番組頭
町田兵十郎

右之通被仰渡
為御用番之通此段可被相達候

一　前数日御手当之通可被　仰付之旨
右者　御先之御旗頭之間出候様江
被之
御覧　御鷹野無是迄可被成候

一　御射手其外本丸之御役人
御勘定書付之通被成候ニ付被　仰付候
者之御目付中ニ付而御手当之儀ニ付ては
之被毒可相成候由

一　御手当之御屏風之儀等之相成被成候

一　御前之通被成候ニ付
被之引出御手当ニ付被成候
右者　御番中ニ而被成候節御渡之御様子
之御役者御手当之節者御座候

加役之儀
御手当御番中ニ付之御手当之儀ニ付被
之御役之内其外之御番之節之御用ニ付
御旗本之者ニ而相勤候御座候間可被成
被仰付之通被成候節御手当之儀ニ付被
御役者

御手当之御番中御用向之儀ニ付御役
同之者和泉守被成候節御用ニ付
被仰付之御手当之儀ニ付被成候

一 二月朔日御礼之節御役人御礼
御老中若年寄ニ御取扱御用部屋ニ而御奉行ニ而
御役掛り之面々ハ於御座之間老中列座ニ而被仰
出候ニ付右之趣被申聞候也
御老中若年寄へ御書付申渡
西丸御老中若年寄ニ而申渡之

一 同 御書付

進達

一 惟々月御礼日申上候
西丸御側衆ニ申渡候
一 右之同日御目付方之御役人御目見申上候

二月御用番

松平伊豆守
植村駿河守
内藤若狭守
酒井根大膳亮
本田備後守
柳生主膳正
榊原主計頭
荒川若狭守
高木二郎兵衛

二月朔日　当番　水野和泉守

今日御白書院
出御有之
大納言様御同
出仕　御礼
御次於御目見之節
御前被召出節参府之御礼申上候
申渡候

一 今日御用番
大岡出雲守殿御振舞之節
刀…
出座之…
　　御用番
右ニ付　御老中御同道　今川丹後守
御同道人

一 当月御用番御書付

出座御用之御振舞被申候
被仰候ニ付
出座被申候御用之
被申候…

一 右御用之御…
　　…
右之外　御用番…上

二月朔日

　　退出

一 今日御用番之…
被申候…
御書付…

一 今日…
…
…
御老中…
御用番…
右同…

一
一
一

西尾ニ而申越之趣承知候、依之御老中方江御届文
面差出候ニ付相済候ニ付、追而御沙汰有之候ハヽ
否可申上候

右之通御老中方江申上候、是ニ而可然哉
御差図ニ而被仰付候様ニ仕度奉存候、依之
別紙之通申上候

［御奉行衆方江］

御用之儀御座候ニ付、当方ニ而
御渡之節、右御方江御達之儀
被仰渡候ハヽ、右之通御伝達可被下候

一 御用 御手紙且御届書之写

御渡候事

右之通御達申候間、可被成御承知候、以上

二月
荒川治部丞
同 与右衛門

二月二日

当番 松平伊豆守

御用番 松平讃岐守
御老中 御奉行
御城代

御留守居 御大目付
御目付 御奉行
御代官

酒井河内守

代
酒井左衛門尉

右之 御老中方之御差図ニ而御書付ヲ御渡し
被仰付候、御用之儀ハ御伝達之上御願し

永井出羽守
堀田相模守
酒井大和守
太田摂津守

右之
右両人 大坂御城代 御老中方江 御届申

御府中列見ニ商人入込候ニ付
右之外　願中整候ニ付可被達
二月二日
一
追而
九半時之仕出候ニ付相達候処御承知之旨
二月二日　御用番　松平周防守
寺社
三年寺社代
永宗院
附添二
同　同
大樹寺
同　同
[illegible]
新　[illegible]
一
右寺社代々仕出候ニ付[illegible]候
御日ニ寺社奉行所[illegible]ニ而[illegible]
ニ付[illegible]
右之外　願中整候ニ付可達
二月二日
一
追而
九半時之仕出候ニ付相達候処御承知之旨
二月四日　御用番　松平周防守
一
大岡[illegible]御役被仰付[illegible]
[illegible]　[illegible]
一
三月廿日
御簾中様御安産
若宮様
御誕生[illegible]御祝儀被仰出[illegible]
[illegible]
附添二人
[illegible]
小坂[illegible]
右松平[illegible]御用[illegible]
[illegible]

堀田摂津守より何ヶ条申渡之写差越候事

覚

同役仮役

酒井和泉守

此役ニ付

同断

伊予守御預ケ

三宅大蔵少輔

同断

右御預ケ

中川出羽守

右於御前被仰付候旨御老中申渡候

右ニ付以書付申渡

右之外　御老中被仰付候儀申達

之儀御勝手御懸り被仰付候、御入用御取

締方御用ニ付御取扱之儀御掛り被仰付候

御勘定所並ニ御取締方御用相勤候付、御勘

定奉行組頭被仰付御勤方ニ付候

近頃御救之年限御取締方御用御勤ニ付

中根左兵衛殿へ申達候得共、御勤之御

取締御用相勤、右之趣御申渡候

阿部伊勢守殿より右之通被仰渡候ニ付申上候

此段申上候

二月日

覚

一　中古御座候處

　　先年御預り御役所御座候ニ付御尾張殿

一　江戸御屋敷御用相勤候、御次第申上候

一　右之通申上候處御役所

一　九郎兵衛殿へ相達候

　　則御役所ニ而御申渡之處、御次第

一　九郎兵衛殿より御返答申上候

　　御次第ニ相成候

同日

庄兵衛

三宅三郎右衛門

阿部伊勢守殿ニ而

御用人

右ハ　御中老衆ゟ月番御用番江申達
候ニ付御広敷御用達衆江も及御達候
御用ニ付御鉄砲御作事下奉行
御広敷添番衆江申達候事
次ニ御伊賀衆御役人
御年寄衆ゟ御手紙ニ而御届有之
候事　右ニ付
大奥之様子御聞合申上
御用相勤ニ付
御広敷御用人御用番江
右之通相済候ニ付御手紙ニ而御達候
且又御伊賀衆江申達候
御本丸御広敷御手紙ニ而申達
奥向御用人衆江御達申上

一　右様之段

追而

二月四日

右所以之御趣意書写

二月廿四日　御用番　松平伊賀守

[illegible]
水戸宰相殿

一　右之御趣意書御届ニ付
一　右ニ付御礼使者
御広敷御用人衆ゟ御届申上
[illegible]
右之趣御伊賀守殿ゟ御達
有之候事

一　[illegible]
[illegible]
一　[illegible]

[illegible]　尾
[illegible]　尾
[illegible]　尾

一新規願方

此度一段
此段二
右於同席評定所人へ申渡候處相済し　松平周防
　　　　　　　　　　　　　　　　　四ヶ月　井出良助
一此上願書
支配末万御役
御目見之者へ申上ル御役
久々相済申候し
右は御役之者共申渡処相済御事
別紙之通人へ申渡し
　　　　　　　　　　大目付衆へ
　　　御目付
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　堀田大和守
右御用有之候ニ付申渡候処御目見之面々
御役人衆へ相談之上御役人衆へ申談し
其方共御用之間可致ニ相違無之候ニ付
四月六日迄右御用之人へ申達し
右之通申渡候ニ付申付
御目見之上御役御手当被下候御用[illegible]
加役之分者御相談有之候
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
御用之分者[illegible]
阿部伊勢守殿御渡
[illegible]
中務少輔
　二月十日
　　　　進達
一　今年中之[illegible]

二月六日　　　　御免　松平伯耆守

今日御用番
大開之様候而相済候間
可被申上候
先達而御渡被為成候

　　　　　附候
　　　　　　　　　御作事奉行
　　　　　　　　　松平伯耆守殿
　　　　　　　　　酒井与九郎

右飛脚ヲ以
御領分之内村々百姓共ゟ奉願候ニ付申上候
此度御用之儀ニ付御渡被成下候様ニ申上候
右之趣ニ而可然候様被
右之外　願書差上申候ニ付而者
此段可被成候
二月六日
進上

一
右御附出候御達候ニ而者可然旨御座候

二月七日　　御用番　牧野和泉守
　　　　　　　上使ゟ御尋
　　　　　　　　　水戸中納言殿

一
右御用番ニ而被仰出候
右御用被仰出候
御本丸御用ニ付御渡被成候様ニ申上候
此段御尋ニ付御沙汰之趣者申上候
御用ニ付御奉行衆へ御届被成候旨申上候
申達候
右之外　願書差上候ニ付而者申上候
尚又御用被成下候様ニ而御願申上候
ニ而被仰付候御沙汰被成候ニ付
尚又御願申上候ニ付御達之儀
御用ニ付御渡被成下候ニ付御達候
上様御用ニ付御渡被成下候ニ付
御座候
尚又右御沙汰被成下候ニ付御達候

候ニ付、右ニ付御内々御伺候処、御免被遊候
御先代様御出家被成置候ニ付、被仰出
御座候ニ付被遊、其節之儀被仰付候
其上御座候、御頼被遊候
御年寄衆御出被仰付候
高尾殿御出被成候而御礼申上候

二月七日

進上

一 日光門主ゟ来月御上洛御願
一 九条殿之使者ニ度々罷出、御挨拶申上候
此段申上候ニ付、申上候処、御聞済被成候

二月八日 松平右近将監

今朝上飛
御前様 御留守
御先代大井大炊頭殿へ
御通し申候

御請

高尾殿 安藤対馬守

少将殿 三井殿へ

高尾殿 羽生右京

安藤対馬守

右取次
御前へ 申上候
右之外 御取次申上候

二月八日

進上

一 有田播州より申来候ニ付、御返答申上候
一 九条殿之使者ニ度々罷出、御挨拶申上候
御城へ差上
右之通申上候 大目付

其外十八日御役人衆より右之通申上候

万石以上并代官江被仰渡候
諸家江御預所之分者右之通
以来御上杉平和泉守江可被
相万石以上江被申渡候趣被
承知候様可相心得候事
右之通可被相触候
右之趣可被相触候

二月八日

一 右御請書写
大目付江被仰渡候
御触書之通
右之通御触被成候
一 水戸殿御領分被仰付候水戸殿
水戸中納言殿御領分
御触之趣御承知可被成候

二月九日　西丸 東蔵

一 右御領分御預所之分も先達而被仰渡候
御預所之分御届被
右之趣被相触候

二月九日

追而

一 水戸殿御領分之内御預所之分被仰付候
一 明和年中被仰渡候之内
一 右之通可被相心得候
一 右之通御触之上可被申渡候
以上

二月十日　牧野越中守
井伊掃部頭
松平肥後守
松平越中守
松平大蔵大輔

右之通御触書写

一 加判列席江老中御逢之節
林大学頭儀者雑秋ヲ以御列席
可被仰付候
右之通 御本丸 御用番 戸田采女正殿
江被仰渡候ニ付 御承知御申 右近殿
松平和泉守殿 御談 御同席 御談判次第
尤此段御申聞 御承知被成 候様可申聞
以紙面申達候 尤 御引渡 御承知
右之通御承知可被成候以上
二月十一日
進上

一 従来役人大名衆 御月番 御下知 御用人
一 御領分之者 有田播磨守 御預人 有之候
ニ付
一 九月附之伊豆守 御役相済候 以上
別紙書上
「以上之通被遣候」
有田播磨守
酒井雅楽頭
藤枝下野守
伊達遠江守
松平安芸守
酒井左衛門尉
松平志摩守
右之通御存知可有之候
二月十日
二月十一日
西丸
松平主殿頭
河口市郎兵衛
右之通 伊勢守方 御用之儀 伊豆守殿
御談之上
右者 御用 御座候ニ付
二月十二日
進上

一 久米附之儀去年度相伺候処伺之通可之

二月十二日　当番 松平和泉守

今般坊主衆 御坊主衆
御代官 酒井若狭守 上納
右之外 銘々書付可被成候以上

一 二月十二日
進達
久米附之儀去年度相伺候処伺之通以上

二月十三日　当番 太田備中守

今般屋敷替
大関〔 〕様 御屋敷替
〔 〕之儀 〔 〕候
屋敷〔 〕之〔 〕
右之外 銘々書付可被成以上

一 二月十六日
進達
九半附之儀去年度伺之通相伺候処伺之通可之

二月十四日　当番 西尾隠岐守

金剛院
右之 此度〔 〕御番〔 〕
則兄伊豆守〔 〕被仰付候
　病死
　坊主
　松平周防守

一
右〔 〕病気〔 〕之候
〔 〕〔 〕〔 〕人
被仰付
　酒井雅楽
明十五日月次御礼〔 〕

御礼者御用人へ山城守ゟ申上候処出来候段
小性組之者引渡之儀ニ付申上候趣及八九人
小性組之取扱ニ付申上候
寅正月廿日中月番被仰渡候中ニ有之
右之外 御手紙を以被仰出候

二月十四日

進上

寅正月廿二日

寅正月廿二日　石黒彦太郎

寅正月廿五日　本多山城守

一 右取次帰宅 比之也
一 井上河内守ゟ書付を以申上候
一 御目見之儀御礼被仰付候処
保土ヶ谷ニ而御取扱被仰付
一 明日御目見之儀御礼申上候
一 寅正月 [illegible] 被仰付候儀申上候
一 御用之出役并出役之者共相済候

一 右之外此度御取扱之儀申上候
松平伊豆守 御用之儀
一 御老中伊豆守殿御呼出ニ而被仰渡候
別紙之通
松平伊豆守殿ゟ御渡之書付之事
「御用之者共
右之通被仰渡候」
大目付へ
明十四日御礼
公方様御目見
御暇被仰付候
寅正月之御達ニ而御取扱之儀被仰渡候
右之通
二月十四日
右之上
大目付へ
明十四日御礼之
公方様御目見
御本丸御書付

一 御奏者番衆ゟ入

一 溜詰御附

一 溜之後廻り御廊下

一 奏者番中之後廻り

一 御奏者番中後御小座敷廊下

一 右御 御膳通之上

右之通りにて相済候

二月十日

二月十五日 水野和泉守

昨日以上御月次之御礼有之候処右御礼席御廊下より大廊下御老中席一同

御礼申上ル

一 所々在府御礼有之候

溜之間御礼席御老中席伊豆守(?)御渡し

一 月次之御礼有之候

御白書院

番 寺社奉行

松平伊賀守

石川中務少輔

阿部(?)豊後守

一 戸田大隅守

井上筑後守

稲葉播磨守

堀田(?)相模守

溝口(?)

親 備中守(?)

三尾(?)

一 米 下

二 米

一 米 下

右前年 返

三 米 二

一　太刀一腰

御請取之

御機嫌伺御礼
之祝儀之御使
天津尾

御役之前
御役人之
御用人

二條在番衆
一小田切大和守　松前
一山口周防守

御役人之段
御役人二

同
安組頭　内藤

御太刀目録
御役之段

右之通一同

安藤信濃守
信濃之使者
戸田采女正

年頭御礼
土屋采女正

御太刀目録

同
同之大札
小笠原信濃守

同
御用人様
同　蒼之丞

二條在番衆
安藤大和守
同　出羽守

永十枚宛

入用之品　御通帳
御目録　御馬代銀
来上

成友

同心
同心
同心大組頭

御納一包

一　右面々之御役所並御家屋鋪
之御上使ニ大和守殿ゟ御目付大之
一　加納丹後守山口周防守右御用番
ゟ之御役人出席御挨拶之右組中ゟ
右御用之大組人ニ同人出席之
一　右組頭右御用番ゟ之大目付人出席
御挨拶

一　今日
大組之頭取在
出御之節同人並御目付井上河内

一ト以上

大久保甚右衛門
松平加賀守

一 在役中ニ而被下候
一 右之御礼之
　趣ニ付被仰渡一通ニ而是迄之人ニ而御役料
　去月廿五日御礼ニ付一ト通り年ニ而月殿様
　御役人御自分御役料之御用被仰出候ニ付
一 御用ニ而御役料ニ而何ニ而御役料
　右之ニ而御断候
一 其外十九日御供之者一本之者山之上
　御用ニ而御役料ニ而御役料御役人方之者
　御用之
一 右之 御手当被下候ニ付御心得
　二月十五日
　進上
一 右之
　右之通被仰渡候ニ付御請書差上候以上

　是迄之通り御役料ニ而井上様御役料上候
一 御用中ニ而不残
　右之通御請
一 右月番ニ而御役料御役料之通其外
　御心得
一 月番御役人ニ而村上御役料御役人
　御役料ニ而御役料御役料之通ニ而御役
　御用ニ而御役料御役料御役

　二月十五日
　　　　　　　　　　　　　松平伯耆守
　羅
　之節

此段二相成
御手当御請
此段二
　拾
　　同
　　同
　　同
　　同
星村昌速
星村昌仙
星村昌益
星村玄碩
星村玄昌
坂 昌 益

同断
同断
右被成下候
瀬川昌悖
坂昌功
法眼
同断
[illegible]　日[illegible]
同断
[illegible]
坂昌永
同断
[illegible]
[illegible]
同断
[illegible]
[illegible]
同断
[illegible]
和田[illegible]
同断
[illegible]
山田[illegible]
同断
[illegible]
[illegible]
同断
[illegible]
[illegible]

一　右於御前[illegible]被仰付候
　　小普請[illegible]
　　右之[illegible]
　　右者[illegible]
　　二月十六日
一　[illegible]
　　進上
　　[illegible]
　　[illegible]
　　[illegible]
　　人別[illegible]
　　[illegible]
　　二月十六日
　　[illegible]
二月十七日　松平周防守

右御礼相勤之

御宮

御名代　酒井若狭守様ニ而相済

一　従日光御門跡御使僧ヲ以御礼被仰遣候処

　　之節御挨拶ニ而御返書被遣候

一　従同人御所江之御返書井上河内守江渡之

　　御奉行ニ付ニ而遣之

一　於御城　雅楽頭殿江渡之

　　二月十七日

　　追而

一　九条関白殿御側近江御書為持遣之

　　別紙之通

　　大同付

　　其外右同断御返書御渡之

　　御返事之御礼御使者御門人

於

雅楽頭殿江御渡被下候上ニ而可有差上候

右之上ニ而御渡被成候

右之通ニ取計候

　　二月

　　二月十八日　　牧野越中守

今日　雅楽頭殿江御渡之

　　二月十八日

　　追而

一　明日ニ付御礼之上御渡之上御渡候処御書付

　　御渡之候也

一　御用候之御写付也

一　旦御返事御渡候也

一　其林御取計文化六年二月十七日

　　早御返事ニ而御座候物御返事也

一　御返事御出候ニ付御達候者御門人ハ

　　御門人御座候ニ付中ニ而候

一 九ツ時之以前人御出被成候之

二月十九日　　白須　鈴木主水正

右ハ御府奉行上野在候ニ付

歳年々　御尾張ニ付

成候ニ付御届申上候之

一 右之以前以御沙汰ニ付書付を以

右年付之儀ニ付出候処ニ出候御尾張ニ付

御土居前内桜田迄出候ニ付御寄合衆

御尾張ニ御広敷ニ付出候所御届之ニ付ニ申上候

ニ而御沙汰無之候

松平和泉守

右儀ニ出候処ニ出候御様子承候処

御書付

御使ヲ以御尋ニ付右御承知候ニ付

御礼ニ罷出候ニ付御届申上候御門人

申上候

松前若狭守

右之儀被仰渡候御用番ニ付大坂表御奉行所御差出候

ニ付御申上候人ニ申上候

外様二

罷

会津尾張殿御出候

観縁寺

外様一五

外様二

三郎兵衛

並

右御沙汰有之候ニ付御届申上候

右之内　御用人大坂御目付御用

盤

右之　御用　御届申上候

二月十九日

外様

一 御本丸御殿ニ御用ニ付御通行之ニ付

御様子御届申上候

一 九ツ時之以前御尋ニ付御届申上候

以上

二月廿日　雨雪　内藤若狭守

一 明六ツ時登城
御用書相渡候ニ付表役殿ゟ御用向係
相渡候ニ付ゟ差出候ニ付ハ長崎表ニ而
例之通リ申渡候ニ付書付取計元ゟ申上候人
之　被仰付候ニ付宜申上ニ而相済

一 同人申付候
一 明六ツ時過ニ而被仰付ニ而御渡在御目見ゟ
成下内藤若狭守人ニゟ申上
右ニ付　帳面差出ニ而相済

二月廿日
退出

一 明六ツ
御用書相渡候ニ付ゟ差出ゟ右之通御申渡
之通ニ而御用向申渡候ニ付申渡候ニ付中書付
右之外ニ而御用向候処御用向申渡候
御用向申付候

一 右申付之儀ニ付御渡相済候ニ付相済

牧野越中守　内藤若狭守
今日御用番ニ付
御城ニ而御用向御返却門ゟ
申出ニ而申渡ゟ後ニ而御用向ニ而申上候
ニ付御渡ニ付御渡申候

二月廿日

二月廿一日　雨雪　内藤若狭守

今日登城
御用書相渡候ニ付御用向之儀御渡候ニ付ニ而
書付之通ニ付御渡申渡候ニ付
相渡候ニ付右書付之通ニ而相渡候ニ付
右書付ニ付
昆布一箱　日光御門主
同断　鉄炮組頭

一 右條之出役留之候御用有之庭へ
力御役被仰付候ニ而もヽ猶又之
伺之候様可申上
一 御留守居役ニ付而ハ井上河内守様より被仰出候
申聞候ニ付可申上
右之外 殿中ニ詰候ハヽ可申上
二月廿一日
遊歩之日
一 今日御用ニ付罷出候処御留守居被仰渡候間
被仰渡之候様申上
一 昨日御登城之節御用有之御相伺候処
御用ニ付御沙汰ニ相成候ハヽ伺之可申上
一 掛り之衆中へ申上候ハヽ宜敷
御用書御預りニ付而御掛り御用番江
伺之出勤之節御用番之御沙汰
御伺被成候処被仰渡候
一 御用書之御渡ニ付御預り書御渡被下之旨
筒井伊賀守殿より申上候
一 同役江之上書井上河内守様より被仰出
一 先年御留守居役被仰付候様可申上
別紙之通
松平伊予守殿より 二月
六月廿日
怜愛…[illegible]

之者ニ茂文ハとも委細ハ於其所相伝
等の下ヘ文ハ古跡悉敷候ハ、可有御座候
時節ニよつてハ対役之諸ニ而も
不苦候
右之通ニ候
二月
二月廿三日　御手　松平周防守

一 今朝雨ニ出羽守殿旨ニ而御用召ス
一 右付御用出候御出仕之通合之面々
伊勢殿中ニて相済ニ御申出候
右ハ御帳中相済ニ付御帳中候旨ニ而
御取扱候ハ、相勤御取扱右御返候ニ御返
年頭之儀御用ニ付候ハ相勤候松平殿候
能登様へ相勤候ハ、御取扱御申候
相勤申候
二月廿六日

出之
一 無事ニ出羽守殿御用向相済松平和泉守殿
右御返候内御返候ニ付御取扱ニ而申出
御用御出仕候由ニ而御伺之候旨相済
之面々御中通候御取扱ニ而御取扱申上候
一 此御附来之面人ニ而御取扱ニ候
二月廿四日　御手　松平主殿頭
今朝上所
孝恭院様　御霊前
御名代青山下野守殿参詣
右御代参ニ付此段御届申上候　中條河内守
御保之御出仕候御届申上
大目付
岩村清右衛門
御目付
北間清次郎

右二條表番屋鋪八月下旬より今相渡候ニ付
御目付へ相渡候旨申越し
右之外 御用部屋へ申達候之

二月廿四日

追而

一 諸侯并様より相届候ニ付右様之節々申之

一 右申付之儀ハ是迄之通相心得取計可申候

二月廿四日　高家 大沢右京亮

上使 青山下野守

一 使者 口口人 徳川右兵衛督殿

一 使者音物 口口人 阿部肥守

一 使者 口口人 徳川要之助殿

一 使者 口口人 牧野備後守

右要之助殿御門跡様御養子御願被成候
之通被仰出し

御座之間

徳川右兵衛督殿

右 御対顔
御目見并地選ニ而

上使 酒井雅楽頭

松平伊賀守

同 稲田摂津守

松平豊前守

名代

堀田左京亮

右御用之節被仰出し
右之趣御移徙之
城付之儀手前ニ而ハ伝達之[illegible]
右御取扱ニ付手前右之節被仰付候儀ニ
之事御取扱之御同意ニ而申達候上ニ
御取計可被成候御承知可被成候

右之外　願中難成分不残返上

二月廿五日

進達

一　日光方ニ而当年御手伝之儀ニ付…

一　九重〔illegible〕之儀ニ付〔illegible〕

一　〔illegible〕

右之通相心得可申候

二月廿三日　南部　松平〔illegible〕

今般上総〔illegible〕
〔illegible〕
御届代〔illegible〕

当人
山家宗弥悴
　　渡辺泉之介
中山右衛門悴
　　江見少弥二郎
大田〔illegible〕悴
　　大田〔illegible〕

右者

右〔illegible〕

右之外　願中難成分不残返上

二月廿七日

進達

一　九重〔illegible〕

二月廿七日　西尾隠岐守

明十八日月次之御礼有之候ニ付

御頭書伊豆守殿御渡候ニ付 高田安

水和泉守殿へ相達候処 足立安

十二三人ニ而有之

両番ニ而も壱人ツ々出候様可被仰付候

上使左衛門大夫殿

松平肥前守

一 本丸御小性組 御書院番 御暇ニ而

右之外 願中ニ付成候ニ付可申渡候

二月十七日

進之

一 明日

一 両丸御番衆ニ而御番衆ニ出候様

九ツ時之伊豆守殿被仰出候段御申達候

二月十八日 高安 水野和泉守

今日出仕之

大御所様御機嫌御伺として

御退出之後ニ御相達

夫々御出仕 御座之間

御座之間

中條河内守

一 本丸 御小性組 御書院番 御用人

御用人

一 公方様 大御所様御同

出御 月次之御礼有之候

御目見之面々

御小性組 御番 御書院番 番頭 小性組 御番頭 御小性頭 御小性組 番頭 御書院番 番頭

御服

松平 能登守 周防

朱雀 大和守 門

細川 和泉守 門

小笠原 信濃守

池田 周防 門

戸田 大和守 門

同 若年寄代

縮緬十巻　持筒頭ゝ御礼　松平大蔵少輔 三位

縮緬十巻　持筒頭ゝ御礼　松平越後守 三位

名代　有馬能登守

紗綾三巻　持筒頭ゝ御礼　稲葉淡路守 松紫

名代　稲葉紀伊守

縮緬五巻　持筒頭ゝ御礼　松平能登守 同役

[illegible]

紗綾五巻　持筒頭ゝ御礼　伊達遠江守 三位

名代　伊達宮内少輔

[illegible]

一束一巻　山崎備前守 紫

同断　光明寺

同断　寂静院

同断　多田尾 三位

一束一本　大徳寺 三位

一束一巻　金剛院 松紫

長福院

御馬一疋　今橋常住 同断

[illegible]

奏者一番　　奏上
　　　　　　披露　西尾助之丞

同断　　　　同　　同　弥源

同断　　　　同　　同　徳太郎

御納戸構

　　　　　　奏上

手綱　不残　　御代官　　[illegible]

同断　　　　吉川　[illegible]

　　　　　　男谷吉之郎

一　西丸ニ而御役被仰付候ニ付御礼申上候段申上候、伊豆守殿御達ニ而

一　家督被仰付候ニ付御礼申上候段御届申上候、右被申聞候ニ付御届申上候

　　則御届申上候

右御礼之儀者御取次[illegible]、御届申上候

　　　　　　　服部中務大輔

御取[illegible]御届申上候、伊豆守殿御達之

右之外[illegible]御届ケ申上候

二月廿八日

　　追而

一　右之御礼申上候ニ付、伊豆守殿御達之通、右之外御届申上候

　　別紙之通

　　　　　　　　　[illegible]
　　　　　　　　　大目付
　　　　　　　　　御目付

　　二月廿八日

　　　　　　　　御祝書付

右之通御届申上候

　　　　　　　　池田甲斐守

　　　　　　　　松平[illegible]守

　　　　　　　　[illegible]

　　　　　　　　[illegible]

　　　　　　　　[illegible]

伊達遠江守
名代　伊達□□

一　松平大隅守様御婚姻相整候ニ付御礼　松平
薩摩守　松平阿波守使者一種一荷宛差上候ニ付
右之趣申上御用人・用人へ御挨拶申上候
御十間御取次ニ而御用人へ御用人へ差出ス

一　日光御門主ニ而御見舞井上河内守殿ニ而御取次

一　同月晦日伊達遠江守殿御用ニ付御登城ニ付御届

以上

二月廿九日　西丸　松平伯耆守

同　松平信濃守

名代　本多　常書

右御用席ニ而御達候ニ付

御老中ニ而月番松平右京大夫殿ニ而御取次御届申上候

伊達遠江守殿御用ニ付御登城被仰付候

右ニ付　御礼御登城申上候　以上

二月廿九日

追而

一　右御用之伊達遠江守殿御届申上候　以上

三月御用番

[illegible]
[illegible]

酒井若狭守
堀田摂津守
松平和泉守
本田志摩守
岩瀬加賀守
柳生主膳正
曲淵甲斐守
内藤隼人正
花村大之河

三月朔日　当番　牧野越中守

今日御用番御
大御番頭被為相揃候ニ付　入御申渡

一 月次之御礼難有之旨被仰出候ニ付上使之
北伊勢守殿御使者を以被仰付候ニ付
若狭守殿御達之

一 右御礼ニ付被仰出候段御達ニ付御座候
御前江御目見之御達之

一 御上意之御趣被仰付候段二統ニ通
小普請御役方ニ相達候段御目見人
御達之

一 右御礼之儀御伊勢殿一統被仰付候一統
ニ御通被仰付候一統ニ相達候ニ付
御前江御目見人御達之

八月廿日
松平伊豆守

右書付之通被仰付候間御用番相勤候
如此ニ御座候

右之外　御申渡候不申候以上

三月朔日

追而

一　能伊勢殿事、当番中ニ付御礼者不申上
　　候而ハ不宜候
一　例之通ニ而無滞相済候ニ付退出候
一　伊豆守殿御用部屋ニ而御用之儀ニ付御呼出之旨
一　右御用之儀ニ付申渡候ニ付罷出候
一　明日ハ五ツ時揃ニ而村上昌斎殿上御目付衆
一　九ツ半時過ニ若年寄衆御退出ニ付罷帰候

三月二日　当番　青木主水正
　　上使宮外様　井伊掃部頭

一　右者此節ニ月九
　　御手当之儀
一　明三日例年之通御禮ニ若年寄衆
　　御出席有之ニ付右御用人衆
　　ニ付而諸向ヨリ御目見有之候
　　右之外　殿中者無御別条相済申上

三月二日
　坊主
一　明ケ
一　寛永寺ニ而御法事之儀ニ付御中候
一　九ツ半時過若年寄衆御退出後退出候

三月三日　当番　内藤若狭守
一　上巳ニ付御礼出仕有之候
一　今朝ハ
　　大御番頭・御書院番頭
　　入御目見之義、大広間ニ而
　　出御過ニ付退出
一　上巳御祝儀ニ付御出席ニ付
　　返紙伊勢殿上御使ニ付御渡候
　　右相済候
一　紀伊殿・尾張殿御登城、御廊下ニ而
　　中門人ニ而退出

右ハ御用番江差出ス

二月二日

進達

一 松平信濃守様御預り被仰付候ニ付

一 御用掛を以御届申上候処御沙汰無之候

三月四日 水野和泉守

御番之間

御同

名代

堀川吉太郎

名代

大屋伊賀守

大服与三忠

本荘定五郎

名代

本多七郎

酒井熊八郎

仲沢良之助

青柳彦次

右御組御用掛
御用番江差出ス

右ハ御目付方へ申達候

師岡

師岡

坂尾波之助

名代

本條善兵衛

日本橋[illegible]金六店　里村[illegible]

[illegible]
[illegible]

右[illegible]人[illegible]

[illegible]　光明寺

同[illegible]三

右[illegible]

右之[illegible]

[illegible]

三月[illegible]

表[illegible]　田中[illegible]

一　[illegible]

右[illegible]

九十[illegible]

三月廿日

[illegible]　松平右近将監

[illegible]

[illegible]　[illegible]

右[illegible]

[illegible]

右之[illegible]

一　九十[illegible]

進[illegible]

三月六日　[illegible]　松平[illegible]

右之[illegible]

三月[illegible]

一　九十[illegible]

別紙書上

松平伊豆守殿御用番ニ付也

「御老中御取扱
「寺社奉行取扱
大目付ト

酒井

三宅

讃岐

御老中若年寄

書面御尋之七日御吟味之上御沙汰可申上

申上候ニ付御沙汰可有之事

右之趣　被仰

右之通可被申達候

三月

三月七日　御老中　寺社奉行

今日　御用番御呼出之上御渡之事

之御座候ニ付可申上候事ニ付被仰

[illegible]

[illegible]御用番ニ付[illegible]

[illegible]

三月七日

進之

一　松浦豊後守殿御達之趣伊豆守

三月[illegible]

一　右之趣御承知之上御申達可有之

三月八日　[illegible]大目付

今朝之節

淺野尾張守　御用番

御名代　松平伊豆守へ御渡

御名代之間

御沙汰之

早川[illegible]

御取扱[illegible]

大橋文之助

御老中[illegible]

[illegible]

松平信濃守殿
目付代
長坂血鑓九郎

右於
御前ニ仰付之

井上内膳正
名代
酒井信濃守

組
三枝政二男
松平政之助

右之者
今般出役申付候若年寄中 依之御
老中若年寄へ御礼相勤候様可被
申渡之

松平主計頭組
其方儀部屋住ニ而三十俵被下
松平主殿頭組与頭
小俣三郎八

右之外 御徒目付相勤候ニ付□人

右御渡し
右於 御前被仰付之
三月八日
追而

一 村上治兵衛方ニ而当分之儀[illegible]

一 町出入之儀[illegible]中間[illegible]

一 [illegible]

別紙之通

[illegible]

一 [illegible]

金[illegible]

但[illegible]

[illegible]

御金之通殺所之部年中之御手当
渡方申合之積を以日々人別
定月御渡之事

一 百石以上万石以下扶持米渡
並ニ借り度も之
趣ニ付申出候ハヽ其品ニ寄御渡
可申候、右之御通殺之儀ハ年
中之御手当ニ而仕法ニ付可申
右之御代り持参之場所ニ而取扱
御渡之事ニ付御四分之割合日々
人別定月御渡之事

一 百石以上之御扶持米取扱之
者共ニ相渡候内ニ而入用之分
役中ニ而も取扱候而者請取之
扶持米内ニ入候事

一 諸大名衆之家来之分
御渡之御通ニ而も人別を以請取
場所ニ而御渡之事

一 蔵奉行ニ而前広ニ御申渡
之尤内々出来之者とも御渡
ニ而も不苦候ニ付、御通ニ而御渡
可申候、右之通可被相心得候
右之趣御承知有之候様ニ可
被申聞候

三月

長坂三郎左衛門
村上 修理

三月九日

南部
松平大膳大夫
酒井雅楽頭
名代
小笠原佐渡守
同
名代
土井能登守

右之面々 右之諸御書付御渡候
一 此書付御請之上而御渡被成候
ニ付被相済候事

右之通

出役 三　　倉橋録之助
　　　　　　右京亮殿

添物 二之　　門　柳沢出羽守

右等之出役之者ニ而外ニ付向々江被仰付
之上勤方之義等ニ付可被仰付候人
御殿向之取扱等之義ニ付

出役 三　　御普請組
　　　　　　石河甲斐守
　　　　　　御普請組頭
門 三　　　古川和泉守
　　　　　　同前
　　　　　　牧 勘三郎

右者御普請向被仰付候ニ付而者
被仰付候向ニ而出勤人数等御内々取扱
之義ニ付可申上置候事
　　　　御普請御用掛り

此段之
　　　　　　本多七郎左衛門
　　　　　　同断
　　　　　　勝 与八郎
　　　　　　御普請御用掛
門 三枚　　　松平文三郎

右者御用取扱被仰付候ニ付御勘定組頭
伊豆守殿江被仰達候取扱之義ニ付候
御届

　　　　　　御目付
　　　　　　佐藤小四郎殿係り
添物 二之　　小笠原備前守

右者願之通被仰付候得共
此段取扱之義

一 御同人御取扱向御供廻り
皆済之上可被仰付候由

右之外 御勘定奉行ニ而申上
　二月廿日
　　進上

一 九ツ時過上様被成御出座候旨申之
別紙書上
酒井右京亮様御用番ニ付申上ル
小笠原若狭守殿
本多能登守殿
大目付江
廻状右衛門ニ而御前座敷半
御書院御番頭
御出合
右之趣御達可有之候以上
三月九日

三月十日
南安
西尾隠岐守
松平能登守
松平越中守
右申渡書付渡之
御祐筆御用部屋江御書付相渡

小笠原播磨守
能勢河内守殿
織田勇記
右者今般御組頭被仰付候旨
御沙汰之通美濃守殿被仰渡候
一 林大学頭殿御用懸リ相勤候御用部屋
何之御沙汰も無之
一 美濃守殿御役替之節御同意御出候得共
御同意御出之所差出候事
右者右之通取計候事
右之 御沙汰無之候
三月十一日
追而
寅之御殿
三拾三年
右者当御前之御沙汰ニ付
御年寄中へ申上候
美濃守殿被仰渡候 織田

相伺之度々申出之

　　　　出羽守殿

　　　　　　　同心 七之助

右者之通

[illegible]

[illegible]

列座[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

　　　別紙書上

　　酒井右京亮殿御渡之写書付

　　［寺社奉行
　　　寺社奉行］

　　　　大目付江

香琳院様七回御忌御法事中

中者

大目付之儀ハ銘々[illegible]

右之通ニ候

　　二月

差上

松平右近将監殿御渡之書付写

　　大目付江

香琳院様御法事日割

　　三月

十五日　初夜開闢

十六日　音楽懺法

十七日　中日

十八日　御経[illegible]

十九日　御逮夜

廿日　　御当日

三月十二日

　　　　　　　　南部[illegible]守

　　　　　　　　松平[illegible]守

一 右ハ内御持筒頭井上大学頭より申来

御同人

渡辺飛騨守殿え御届

阿部播磨守殿え御届候処

中川飛騨守殿より大目付え申達候

御同人

阿部備中守

名代

内藤平太

代

大草主膳正

右ハ御用ニ付大目付より御勘定奉行

御役之旨申渡候付御届申候

御目付

竹井知之助

名代

御小姓組

竹井利三郎

右被仰付候旨申上候

阿部出雲守殿え大目付より御勘定奉行え

御届御座候旨申渡、御用人より御渡有之

御目付え御届申上候旨

右之外、御届書当月之分、御届申上候

右相違無御座候、以上

二月十一日

進上

阿部伊勢守殿

（阿部伊勢守殿 / 阿部伊勢守殿）

織田主計

中條河内守

右被仰付候旨、御届申上候

小十人頭 御目付

一 伊豆守殿御勝手向御下ヶ紙

一 御書付之趣御承知被成候旨

一 村上肥後守殿え御渡之節

〔illegible〕

一 九日前之御届申上候

別紙

「御番帳」

御附弟　御部屋住之面々為見届候
御本丸西丸ヘ被出仕候ニ付罷出候
儀無之候哉承度候
御本丸西丸ニ罷出候節ハ直ニ罷出候
御機嫌伺之節御礼之節ニ罷出候ニ付
右之所其外中奥所ニ而被申
千代田御城御本丸之所ニ而
被仰出候哉承知仕度候
御尋申候以上

三月

彦坂三之丞
村上　肥後守

三月十二日

自筆
松平紀伊守

今般被仰付候
御老中
御老中代大井大和守殿江差出候

松平　駿河守

右之通相伺候處　書面之通可被心得旨被仰渡候
此段申上候

一　御本丸ニ而御機嫌伺之節御礼之節罷出候而も不苦候間
以前之通相心得候様ニ可被
右之外　御本丸中奥之所ニ而以上

三月十二日

進達

一　右ニ付差上候書付御目付江御渡之

別紙書上

酒井左衛門尉ニ而被相伺候書付

「御老中　御本丸
一　大目付　御目付ヘ
大目付ヘ

御尋之通申渡候ニ付　御尋之趣ニ而申上候
此段ハ御本丸ニ而も不苦候
被仰出候ニ付　御書面之通ハ
右之通ニ而申上候　此段ニ而
御尋之通ニ付　右之通相伺候
以上

三月九日

去ル七日

松平伊賀守殿御渡之御書付

大目付江

此度河州摂州泉州東海道筋
川々御普請被仰付候ニ付人足賃銭
御普請之内御普請役人宿割荷物之儀
御用物之儀ハ御定賃銭ニ而可相渡
并御普請役之儀ハ御定之賃銭
中ニ而御定賃銭之病気之節ハ
御代官ニ而御定之賃銭ニ

三月

右之通可被相触候

三月十三日　御免　松平右京大夫

松平摂津守

右ハ御勝手御用被仰付候ニ付

御老中　御連名

半人
酒井雅楽頭代
本多遠江守
名代
太田摂津守

右ハ病気ニ付
御免被成候得共御勝手御用向之儀
御沙汰之筋ニ付御用候

半人　松平周防守

右ハ此度　御用人並
御用向之儀

上使
本多伯耆守

右ハ御用之儀

同　松平右京大夫
同　松平攝津守

一ツ書御請書　南部大膳大夫

御沙汰之趣
御請書差上

右御渡之趣承知仕候

右之外　聲中都合次第用済候

猶此旨宜御沙汰可被下候以上

三月十六日

追而

九半時前ニ差越候処御沙汰相済御返答之上

一

三月十四日　御書　三ノ丸江

明十五日月次ニ付御礼旦尾張殿御本丸

ニ而御礼申上候ニ付御礼之義尾張殿江

来ル十八日御礼書之通ニ付相済候

返答之上ニ而承知候入之旨

御礼之趣相済候

両人

右之外

聲中都合次第申上候

ニ而御礼候事

御中務卿之儀ニ付而

ニ十日御屋敷江罷出相済候

同日之御返答

右之趣相済候ニ付御挨拶

御請書ニ而

ニ付御中務卿承知

ニ而御返答之趣承知仕候

ニ而月御役所ニ而相済候

御月御役所ニ而相済御返答

以上

三月十四日

追而

一

明日

一

両人御書付ニ而承知

一

村上御屋敷江参上申上候

一

伊達氏御請書差上候

一

御返答之上

一

八時前ニ罷出候処御挨拶相済候以上

別紙ヶ条之

御参府之節

此度御下向被成候御参府
御依之存候其御聞届候
然ル方今御事情之儀
然ル上者中々ニ者御滞留
御取扱之儀ニ付御拝謁
御主意之通ニ付其段御聞届
御承知可被成候

一 申上候者 [illegible] 候得共
御主意之通御聞届候
然ル処 [illegible] 申上候ニ付
御滞留之儀御聞届之御承知
可被成候

一 御参府之儀者 [illegible]
申上候ニ付御聞届候
然ル処御沙汰ニ付 [illegible]
御承知

右之通何分御申入候様ニ御申達
申入候上
三月
彦坂三太夫
村上監物

三月十四日
当番 高木主水正

今四時前
大納言様御使として
入御一同
出御御目見被仰付
御座之間

御参府之節
御礼申上候

御奏者番
尾張中納言殿
水戸宰相殿
水戸中将殿

右尾張殿始御礼申上 相済

御對顔　　　　　　松平中務大輔

右總門外　　　　　寺社奉行兼
御同人　　　　　　皆川卯之助

門迄出迎　大沢文右衛門

右相済
御席江御付し　御同老中
　　　　　　　　　　出席　松平加賀守　出羽守

一　月次之御礼相済
　　御座之間二席
　　御鳥之間
　　　　　御同老中
　　　　　　　　　　出席　南部大膳大夫　大広
　　御座之間
　　御後之
　　同　二段　　　　　之御礼
　　　　　　　　　　　　　鍋島筑後守　出羽守

同為代　　　　　溝口之御礼
　　　　　　　　　鍋島淡路守　三位
　　　　　　　名代
　　　　　　　　　久留島信濃守
御後二番之　　　越前之御礼
　　　　　　　　　稲葉伊豫守　大広
　　　　　　　名代
　　　　　　　　　伊達遠江守
同断　　　　　　松平之御礼
　　　　　　　　　松平右京大夫　大広
　　　　　　　名代
　　　　　　　　　松平安芸守
同　二番之　　　越前之御礼
　　　　　　　　　青山下野守　出羽守
　　　　　　　名代
　　　　　　　　　土井淡路守
同断　　　　　　越前之御礼
　　　　　　　　　石川中務大輔　大広

名代
三浦備後守
門
同断　大久保山城守
同人
吉田　　　郎
吉田　　　大輔
御三方
御名代
一
門人
同断
人
同断
同断
三橋　　　書
同断
用人
同断
門
同断
門
同断
二人
同断

御勘定より

此役已御成

御用
御目付
同 永井山城守 御先手
同列御同列
手前御前
御目付屋敷
御勘定吟味役
同 本多中務 [illegible]

御用部屋

御勘定組頭 [illegible]
同 御勘定所吟味役
同 御勘定所

一 尾張殿水戸殿水戸中将殿御役之面々
於御白書院御用部屋御目見之上御入
一 松平和泉守御役之面々御勤之上御移ル
添御用番ニ御逢ニ付

一 右御同所御役被仰付候ニ付至而上使ニ而
御大廊下ニ而被申渡ニ付
一 永井山城守両御用部屋御老中ニ而御用番御目見
可然候
一 松平和泉守殿来候御用部屋[illegible]
可被申渡候可然候
右之外 御用番被成候事ニ付
三月十五日
追而
一 今日御役書之内写御役被仰付候節御
御用之儀ニ付候ニ付左之通可被成候
別紙之通
奥右筆
大目付
御目付
三月十五日
御役書之内
御勝手掛
御勘定奉行

稲葉伊勢守
参代伊達遠江守
松平右京大夫
参代松平出羽守
青山石見守
参代大[illegible]
石川中務少輔
参代南部備後守

一 松平紀伊守家来土方要蔵儀養父病気ニ付
和泉橋ゟ北ニ而御掃部頭
川中ノ方牧助太郎と申者之宿ニ而七平
三月十日出牢之処罷越ニ而十一日
出牢人ニ而差遣候ニ付河原中ニ而平蔵
とも

一 今日御役人小頭ニ而相渡候ニ付
ニ而よし
御家来水野和泉守
御屋敷ニ而被仰付候ニ付出牢人ニ而
出牢中ニ而罷越候ニ付
和泉殿ニ而右之御掃除河原ニ而被仰付
ニ而御勘定所
御屋敷ニ而御組之内ニ而御勘定所
出牢人門人ニ而ニ而

一 今日右御掃除ニ而
御屋敷同
御勘定日松平中務大輔
御門番人ニ而出牢御掃除御役人
出牢ニ而よし

一 日比谷ニ而出牢人井上河内守
一 九日ニ而出牢候ニ付御掃除河原ニ而御
以上

三月十六日　　御名　松平右近将監
　　　　　　　　　　　御名　牧野備前守
　　　　　　　　　　　堀川卯之助

右伺中川修理ゟ[illegible]差越候ニ付承届候
之段御達し差出候処
右ニ付 然ル処同断被仰渡候由
之通被仰付
香取陸奥守殿家来ニ而拝借被仰付
御同人御勘定所ニ而御渡被下候段被仰付
御渡候様仕度旨ニ而承届候ニ付
之御勘定所大坂表ニ而御渡被下候
引替之儀御勘定所ニ而相渡候様
之通御勘定所ニ而御取計被成候様
之御勘定所ニ而御渡被成候様
之御勘定所ニ而御渡被下候旨申上候
右御勘定所申上候
二月十六日

追而

一 右ニ付相伺候処即刻御達被成
一 御同人申出 御渡之儀承知
一 右御同人申出候儀御承知被下候

二月十七日　御老中　東寺宝菩提院

一 御朱印
御宮
御代官松平作兵衛ゟ申来候
坂口之儀ニ付御聞届之上相成候段
之通り相済候ニ付御届申上候

御勘定奉行
水野右近
御代官
筒井伊賀守

右御病気ニ付御役
御免之上被仰付候処
被仰渡候列席之上
水野右近相済候

松平中務少輔殿
御書付二通
小俣次郎八

一 右者御帳之分勘定所ゟ出候人
此御帳之者御代官之掛り之者ゟ相渡ル
御手元ニ而御出し
保定之者度々御申上候而此掛之者ゟ相渡申候
御手前ゟ申上候ニ而差上申候
右之外 勘定所ゟ申達候事ニ候
三月十七日
追而
一 小役人御八木御渡之節 松平肥前守請取
右之外御掛り之者ゟ請取申上候事
一 九重御殿之表様方御用出候ニ付
一 右之中者御下ゟ勘定所御用之役人ゟ相渡候旨
一 御用之節ハ御渡申上
別紙書上
松平伊豆守殿御渡之書付写
一 小普請奉行
本丸詰衆
大目付江
次第

御帳証 御蔵証出役人御渡被成候
右者
請取候方右役之申上候 支配之者ゟ差出し
是も手形之通 御勘定所之者ゟ相渡し
之上ニ而申し
右之通
御帳証文ニ而御勘定所ゟ相渡し候 御蔵証文ニ而
渡り
大目付へ相渡し
御蔵証文ニ而御勘定所ゟ相渡し 御帳証
右之通り
一 右之通御証文ニ而御扶持方相渡し候事
奉行者へ御証文ニ而出役之者ゟ相渡申候
右之者ゟ方々ゟ相渡し候
此役人之者ニ者御扶持方ニ而相渡し候
右之通り
一 御帳証文ニ而御勘定所ゟ御渡し
右御上之事

御無任仰ニ付、御老方ヘ
一 御本丸西丸御門番人上下共ノ者
　病気御目見之節ハ御席ニ而
　御老方同役ノ方ニ而
一 長崎奉行ニ而も八通り之節御老方
　同役ニ而不及
一 大奥之掃除之節ニ而御老方同役之
　西丸上下共御目見之者ハ一人ツヽ
　二ノ御ヘ
一 右之通ニ候 勘定所江相達之
　御側衆 御無任之節御用ニ付候
　西丸上下共ハ都而御紙面之通
　此段申上
一 御本丸西丸若年寄共上下共ニ御目見
　且病気御目見之節ハ御席ニ而
　勘定所申達候ニ付而
一 長崎奉行ニ而ハ八通りニ而候
　御側申ニ付此段申上候様

ニ而ハ申候長崎奉行ニ而[illegible]
御老方御申候ニ付御用御座候
但御老方八郎ニ而も申候
右之通ニ而相済候ニ付申上
御老中大目付十人ニ而も申上
[illegible]

二月

書上

大目付ヘ
御側衆 御無任御役人衆之

御老中御目付ヘ
一 御本丸 十万石以上
一 御本丸 五万石以上
御用之節 十万石以上大名

十万石以上より
御本丸
御老中
御老中御目付
右之通申達候

[illegible]

一

一 三百疋ツヽ　　壽慶

出雲廣瀬より

一 金三百疋ツヽ　　壽安

一 五百疋ツヽ　　壽慶

右之通座上御礼申上候節被下之

御屋形様より座上御礼手渡し出ス

但し之

御屋形様より座上御礼相済候間

出羽守之御使者ニ而座上支度

支度之間ハ次之間ニ而控候

御中老御中ニ而座上御礼相済

之内門外迄退出いたし候

但御中老安井

御屋形様安井より御座敷ニ而手渡し

出雲守殿へ

大目付　御屋形様安井より

相済候付下屋敷より申上候

右之通リ被下候ニ付

三月

三月十八日　松平伊賀守

井伊掃部頭

松平大膳大夫

右御用御相談之

御同列御席　御老中出座

松平豫河守

右御同列御談之御老中

御目通

出羽守

右は　御用之儀ニ付其地江罷越候ニ付其段可被申候
之御渡し候為心得達候
右之外　取締方之義ニ付其段申達候様
申聞置候様可被申聞候　以上
三月十八日
追而
一　右門中者共御用ニ付井上右衛門
相渡し候儀有之候ハヽ右之段申聞可致候
一　右衛門之義ハ差支之儀無之様可致候
同様之者之儀其段可被申聞候
一　伊豆守殿江申達候様可被申候
被仰付候様之儀可被申候
一　九年附之儀其段可被申聞候　以上
三月十九日
御名　松平周防守
松平備後守
右之通可被仰渡候由御達有之候ニ付御達申候
御名代
御留守居
御留守居
松平右近将監
右之通被仰渡候段御達有之候
御渡し
御用之儀ニ付罷越候ニ付其段相達候
右之外　取締方之義申聞置候様可被申候
其外之儀御用向之儀取計可被申候
御用之儀
一　其旨相心得可被申候段申達候
取締方之儀其段可被申聞候
御用之儀可被申聞候
御申達可被申候　以上
三月十九日
追而
一　此者之儀其段申聞置候様可被申候
一　九年附之儀其段可被申聞候　以上

別紙之写
「御老中安藤元　水野□□殿」

覚
御竹蔵 御蔵佳林□御役蔵出候
ニ付御詰所中之者御番所ニ而月
番詰合之者立合□□ 御目付
衆人数中ニ而見分御立合之者見届
御役人ゟ御勘定所ゟ相届候
事ニ付御詰所ゟ役所之者相届候事
右立合之者ゟ立合之上右御改所ニ届
右之始末書付之上ゟ御届可被成候
以上　御書付之趣を以御達可被成候
以上

三月十九日

右御請上様

三月廿日
御同役
御老中□□□

香橘尾根 御出之節
御殿代 植村様 御帯剣 御番士衆
ニ相成申し
右之外 殿中御役所ニ相改 南方女
之外御目付方へ相届 御用
内書付之節
南方女中之上御目付方へ御届
右之通御座候 内書付之節
南方女中之上御目付方へ相届
役人中之儀 役中□御用之儀
御用之節御目付方へ御届可被成候
二ノ丸御蔵之節
南方女中之内書付之節御目付方へ届
御立会之義右之通之上
香橘尾根之後御立合 右之□□
之上御目付方へ相届候事
御本丸南方女中之上御目付方へ相届
御目付中之儀御役中へ御届之儀

之ゟ銀子以前文之通ニ付那覇ニ而取扱
之次第申上候上其段御届候先年之通
之御取扱有之旨返答被仰渡候旨承知仕
御老中御用番江相達
両通御承知之次第申上候様申達
二月廿八日
追而
一 伊集院又兵衛江申渡置
儀ニ而候事
一 九年附之唐物之内ゟ御用御頼之品
之事

三月廿一日　西丸 西尾隠岐守

今日御用附之
大廣間之御縁側ニ而振舞有之
入御目見之上
退出之節御届申上候

上使 松平伊豆守
紀伊中納言殿
右御用之節者御殿ニ而差上
右之外 御料理被下置候事
三月廿一日
追而
一 琉球献上物之儀ニ付御礼御取調一条
御座候ニ付御届申上御用相済
候ニ付右様之儀ニ付御届申上候
一 日光御門主井上河内守殿御渡
一 九年附之唐物之内御用之品
御座候事

三月廿二日　御用 三ツ木主水正
今日御用附候而振舞
西丸御目見
御礼申上
退出之節御届有之候

井伊掃部頭
松平肥後守
松平越中守
松平大蔵大輔

右何れも御格段之
趣相聞候ニ付御沙汰申達候

縁組

井上河内守娘
名代
井上志摩守

三宅備中守ニ

九鬼式部少輔娘

養子
加藤壤之助ニ
名代

中北小平郎

秀忠御姪
松平対馬守姪女
茅根之娘

松平出羽守姪
松平飛騨守
向井万太郎ニ

秀忠公御娘

太宰大膳太夫
名代
須藤源之助

小笠原姪
酒井兵部少輔
太宰三郎ニ

三浦志摩守娘
名代
三浦備後守

養子
池良新三郎ニ

右縁組之通ニ付
御承知申置候御法度之事
右之通加藤壤之助ニ付申来候旨
御沙汰候

右何れも急速之節無御構旨承知候也

弐　御府内江[illegible]

小人
小笠原[illegible]
石川源太郎

[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

追而

三月廿二日

[illegible]以上

三月廿二日　水野和泉守

[illegible]

[illegible]

尾張中納言殿
水戸宰相殿
水戸中将殿
右紀伊殿御礼申上候

松平右京大夫

御奏者
右御用候
御用人

御黒書院ニ而

御使 二人
姫路殿ゟ御礼
堀田摂津守 小家

同断
讃岐殿ゟ御礼
大井淡路守 小役

御使 二人
同
紀伊殿家来
山中作左衛門 用役

御使 二代
大坂蔵屋敷
海北三左衛門 留守居

同断
大坂
東 云書 大工

同断
大坂蔵屋敷
中沢権左衛門 淡役

同断
大坂
豊田右衛門 小家

同断
紀伊殿
赤坂勘右衛門 普請

同断
用人
石根伴之丈 淡役

同断
門
小林八左衛門 小家

御同筋代
御弟子三人

御極之上ニて
紀伊殿ゟ御礼
其子
根岸九郎兵衛 奉行

右紀伊殿ゟ御礼申上候
紀伊殿御使者並蔵屋敷
並役人度々御礼申
中立ニて相済候事

御町奉行人
右之者ゟ御礼
使者ゟ申渡候

御名代

同断

同断

同断

同断

同断

同断

[illegible]
品川豊前守 三千石

[illegible]
土屋[illegible] 同断

[illegible]
松平采女正 [illegible]

[illegible]
土屋帯刀進 [illegible]

[illegible]
三浦伊予守 [illegible]

[illegible]
七[illegible]守子
内山[illegible]郎 同断

[illegible]
松平右京亮 [illegible]

入御之節御通り掛

山[illegible]間

東叡山
一同ニ御花 [illegible]
一同ニ御目見

御供之方
[illegible]
久世大和守

一 右相済[illegible]御仏殿[illegible]
御参詣[illegible]

一 久世大和守[illegible]
[redacted]
右之外 [illegible]

右之通[illegible]
退出

一 東叡山[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 松平阿波守より今日出火之節 様子之儀
一 村上陸奥守方へ申達候処右之通申来候旨申達
之候
一 日光方より十月井上河内守殿へ
一 九時前若狭守殿御出座候由申達

別紙之通

「以来者右之通

御附任 御留守居御勝手御役被

御役人御免之儀御申付之旨被仰出候

右梅田之内馬場先之内御留守居之内

右之外御沙汰之内不申聞候事

右之外御家中御申付之不申聞候事

右御役之外御沙汰之不及候事

申上候以上

二月

彦坂三文

村上陸奥

三月十四日

松平阿波守

今朝上覧

森若狭守様 御用番

御名代小笠原近江守様

御老中

御目付

御書付

水野小十郎

御小姓組

東川金次郎

永田七郎右衛門

右者

御書付

右之御書付を以御沙汰申渡候事

若狭守殿へ伺之上御沙汰候

伊豆守殿御渡之書付左之通

此書付を以二通ニ而被遊候
存候而 願申出候得ハ度々御聞届被遊
候ニ付御取計可被成候以上
三月廿四日
追而
一 九兵衛殿ニ茂其段御通達可被下候以上
別紙申上
松平伊豆守殿江申上候書付写
［御老中御名元
本多弾正殿元］
大目付中
来月二日
公方様御昇任
大納言様御昇任御祝儀ニ付而
万石以上之面々并諸大名
御祝儀申上候様之御沙汰
御下御沙汰之趣申達候
城ニ

但万石以下ハ月番江可申達候
登城
一 諸大名江来十二日布衣以上
嘉祝御下之御礼ヲ以登城可有之
之事
一 右件御祝儀之事
右之通ニ而御祝儀御能可被
仰出候ニ付而御沙汰可被下旨
年寄ゟ日限を以可被申達候
六月
書上
大目付中
御昇任 御任官ニ付御祝儀
被仰出候ニ付出仕之
御本丸江罷出候而御祝儀申上
候間御老中江御届
以後何レも可被申達候

三月廿六日　当番　松平周防守

大御番頭
加納大和守
山岡周防守

右近々二条御番被仰付候ニ付、御暇被下置候旨、於御用部屋申渡之

右之外、殿中ニ而御暇被下置之

二月廿六日

返答

一 松平伊豆守殿より[illegible]

一 [illegible]

一 御暇之[illegible]

一 [illegible]

一 御当番月[illegible]

一 日光[illegible]

一 八月[illegible]

三月廿八日　当番　[illegible]

今日[illegible]

三月廿九日

返答

一 [illegible]

一 九条殿[illegible]

三月廿七日　当番　[illegible]

今日[illegible]

西丸ニ而
御用向之儀ハ
是迄御用向之儀ハ伺之
土屋大炊頭
日光御門跡
御側衆
右近々御出立ニ付明後廿日登城
御對顔被仰付候ニ付御老中
被仰渡候
右之外御用之儀者可被申上
三月十八日
退出
御奏者番
田中備後守
一
右者日光御門跡御出立ニ付御暇之
御目見被仰付候ニ付御側衆
大目付江被仰渡候様可申上

三月廿日
内藤豊前守
今日御本丸
大目付御用番江被仰渡候ニ付
入御用番ニ而差出
是迄御用係
日光御門跡
大目付
御目付
土屋大炊頭
代
横田備後守
右之御用之儀者御老中
被仰渡候様可被仰渡候
日光御門跡
御目付
代
堀田相模守
日光
御目付
牧野豊前守
安藤播磨守
松平丹後守

代

右者御月番ニ付於御席御老中列座
御同人申渡之

土井淡路守

戸田大和守

名代
本多主税

三男
松同 鉄之助

右之者
百姓子ニ而蕃稽古所出精致候ニ付
候子ニ付此度ニ付於御席列座ニ而御
御同人申渡之

一 月次御礼御精勤ニ付御賞之上御褒美
於御席ニ而御同人申渡之

一 右御同役御連判出座候ニ付御据附ニ付
於御席下御同人申渡之

一 明廿九日四ツ時御登城

御対顔御同人申之
掛り割印判取例割 下書御見合
丹後守申渡ス
右之外 席中御礼次第
三月廿八日
退出

一 例之通御礼相済候而退出
一 御勝手 御用御用意
入御老中御礼相済候而御数之御達
御席ニ而御礼候而御役御達之上
御勝手御詰御出席御列座ニ申渡ス

一 此度御用御目見
掛りニ而御申渡ス
一 八月廿三日大坂御城代御勝手御用
御勝手掛り御本丸御勝手御用ニ相勤

以上

三月九日

当番 本多豊前守

日光御門跡

右之紀伊中納言水戸宰相

御城御内湯之間御参詣之後於

御座之間

御対顔

次之間

御服部御習

三家

一 大久保 同 備前守
名代
中根 新六郎

若年寄
同 左京

奏者
一 久世 丹後守
名代
桃原 大夫

檜宮御門跡
小次郎御殿ニ而ハ百帳

御寺大目付ニ

西丸御留守居
一 同 源吉

小普請組
松平大和守
一 曲淵 勝次郎
名代
曲淵 内膳

寺社奉行
一 同 録五郎

門
本多左京亮
一 本多 藤次郎
名代
保坂左衛門忠

若年寄
一 同 鉄次郎

奏者
一 松平 熊蔵
名代
本多 主税

寺社奉行
一 同 杢太郎

当年之役 福田又左衛門之訖
一 加藤 三左衛門
名代 加藤源右衛門

其子惣領
一 同 伝之忠

門 石川左衛門之訖
一 布施播之忠
名代 土屋来助

其子養子
一 同 進九郎

門 鈴木治之訖
一 土屋 八十郎
名代 内藤与三左衛門

其子惣領
一 同 英之助

門 土屋春之訖

一 本多勘之助
名代 服部入左衛門

其子惣領
一 同 浅右衛門

門 川人之訖
一 小河兼右衛門
名代 服部又之丞

其子惣領
一 同 長之助

門 松平又右衛門之訖
一 間宮 三左衛門
名代 安藤喜兵衛

其子
一 同 吉之助

浅野小左衛門
之孫[illegible]之訖

筧　与五右衛門
名代　中根平右衛門

亥子出府
同　勘之丞
名代　山崎八郎

小普請組
堀田三枝之支配
馬場吉右衛門
名代　杉文右衛門

亥子出府
同　重之助

門
石川大和守組支配
西尾伊之治
名代　藪　良之忠

午年出府
同　伊三郎

門
松平石見守支配
伊東十郎右衛門
名代　金子勘右衛門

亥子
同　政之助

門
堀田三枝之支配
大木七之助
名代　奥村徳次郎

亥子出府
同　伊八郎
名代　望月伝之助

甲府勤番
堀田因幡守支配
深沢吉次郎
名代　石原源次郎

午年出府
同　政次郎

名代
小笠原大隅守

小笠原右近
堀田之権之丞
一 浅羽小左衛門
名代
山本源吾

辛千代
一 同 鋼太郎

門
松平家守之丞
一 野々山金一郎
名代
本多彦兵衛

辛千代
一 同 鎌之助

門
堀田之権之丞
一 福林藤太郎
名代
岸平三郎

辛千代
一 同 勘太郎

右者 御用之為海防御用取扱候ニ付
非常之節為相詰候旨被仰付候

服部之助
隠居ニ而相勤

小笠原佐渡
酒井雅楽之丞
一 篠本源之輔
名代
大橋長八郎

辛千代
一 同 荘三郎

門
堀田之権[illegible]
一 牧 幸三郎
名代
関口兵之進

鎌太郎子
一 同 鑢三郎

門
松平石見守組
一 長崎十三郎
名代 松原吉郎
寄合組
一 同 広三郎
名代 内田久三郎
御番衆御書院番衆
一 吉田定右衛門
名代 吉方隼人
寄合組
一 同 作右衛門
御書院番衆御内并
此外
御内並〔[illegible]〕
御書院番
一 細倉伊賀
名代 吉田勇吉
御書院番
此外
御内並〔[illegible]〕
門
寄合組
一 同 若之助
寄合組
一 松坂源蔵
名代 奥田[illegible]
寄合組
一 同 桃之助
寄合組
此外
御内並〔[illegible]〕
右御門人衆御使之儀御免門番
一 今日
勅使 中御使 東御使[illegible]
上使 酒井若狭守殿[illegible] 中務[illegible]
[illegible]
一 [illegible]
御[illegible]
[illegible]

一 明ヶ表向御府物之由方田摂州ゟ申来

一 明ヶ御出之処被仰越候

坂之作法ニ付御頼被成候ニ付御府下へ申達ス

之付参ル

一 明ヶ月並之御礼無之旨申来候ニ付不及参上

摂州ゟ申参ル

一 未月二日

御仕任 御同役ゟ御順達之儀御取次之処

一冊御返却二日之写本を御渡被成候旨申参ル

右之外 銀中御渡被成候旨申参ル

二月朔日

一 明日ゟ御出役

進ミ

御勘定

風説候間申達候様被仰付候ニ付御用済ニ付御届申候

右之儀申達候ニ付御用向相済申候

申達候ニ付御届申上候

一 未月七日

御仕任 御同役任来候処御序之節御申達候様

風説御差出候ニ付御申達之処御用済ニ付相届

御用之儀御取扱之儀御用向申上候

申付候様申達候処相済候旨

風説御申聞候

御差出候ニ付御同役相済申候

御同役様ゟ御申上之処御用済候

之御用向御届申上候ニ付右之旨申上候

御用之通御勘定所へ申達候

上用済候ニ付御出仕申上

風説御申上御用向申上候ニ付

申付候間御届申上候

一 八府之御用向御届申上候

以上

巳月御用番

青山下野守
松平周防守
松平右京大夫
水野越前守
太田備後守

勘定奉行

柳生主膳正

町奉行

榊原主計頭
同 讃岐守
筒井伊賀守

巳月朔日　松平主殿頭

一 今日附而
大納言様御機嫌為伺御
同中ニ而被仰出候
右之御ニ而御目見被仰付候
一 昼時前
一 公方様
大納言様御出座
出御之節
御鈴之節御目見ニ而御被仰付候
ニ付追而被仰出候事

上使 本多伊勢守

勅使

一 右御礼ニ付
一 月次之御礼ニ付御礼上
候ニ付御目見被仰付候
一 長崎奉行ニ御礼之御目見
御用ニ付而御出座候

一 御對顔相済候ニ付宗門[illegible]御役
　所[illegible]相済候ニ付御門人共ニ[illegible]
一 此度御本山[illegible]御[illegible]
　[illegible]御門人共ニ[illegible]
　　　　上原[illegible]
　　　　三箇寺

一 右四ケ寺役所[illegible]

一 明二日
　御役所 御[illegible]
　出[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
一 右之外 [illegible]以上
　　四月[illegible]
　　追而
一 [illegible]
　御門人[illegible]
　[illegible]

中人
一 明ニ付[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]
　[illegible]井上[illegible]
　[illegible]
　以上

　　　四月二日　　　御用 松平[illegible]

一 公方様
　大納言様御目見[illegible]御一同
一 出御 [illegible]
　御[illegible] 御[illegible]

擬之尾張殿紀伊殿水戸殿江茂書付を以達ス
其旨ニ可申入

一 今日御礼之
右大将御転任被為在候ニ付
入御祝儀之上ニ而能
在御取

一 揃御祝儀上御治定ニ付
以御規式ニ而御兼任
右大将様御下向御兼任之処
御昇任之節ハ御先方同様勅使江
ニ而もよろしく御柳之間ニ而受取候而御達
平日右府御席能候而も返候而達ス

一 御表御
出御被遊候間前上殿御拝謁ニ付
於御廊下御人へ御達ニ
上使 織田若狭守

一 御 ... 勅使
門 武田 ... 文
一 ... 中宮使

日付
日付人 東宮使

右
御将軍
御兼任之儀御大海ニ而被為入

一 大納言様御参向後
右大将様之御精旨便宜ニ而被仰付
是井上河内守

一 明日日光
御名代被仰付候ニ付御能松平陸奥守
宇都宮
城主退出御例ニ而被仰付
井伊掃部頭
右之外 御本丸御役人當番
之儀御老中御用代并相勤候
内藤紀伊守ニ而御用番上覧会所
用之節松平中務少輔ニ而御用番所番
相勤候御役人ニ而相勤之儀

之節ニ而鉄炮玉薬其外之義者御勤
之頭ニ而御渡候間御渡候様可有
其日本丸へ御届候処返答ニ而承知之旨
御番頭ニ而鉄炮玉薬受取今日相済候
相勤申候以上

覚

一 今日御鉄炮玉薬御渡相済候付御蔵奉行
之通御受取候御蔵所ニ而右御番頭中
返答御座候書付ニ而相渡可被置候御事
一 西丸御番頭中へ御番衆御届ニ而相済相勤
候旨今日
一 御本丸ニ而御目附相渡候付御当番之御用人
中より
一 日光御参詣之節御供之面々
一 八月右御役目被仰付候ニ付御鉄炮御渡之事
相済候

四月三日　御当番　大番二ノ組
御番頭同

　　御元役　御先代　松平源吾
　　御先代以下
　　御当番二組　御新番同　御先代　御先手組与力　大久保大隅守
　　御新番同　堀田相模守
　　御当番同　御与力
　　御当番三　御新番同　御与力
　　羽織　一　安藤播磨守
　　御当番之　羽織　　松平丹後守

一 右御組之御番
大久保大隅守堀田相模守同御役組之御番
之御当番衆出席被致候安藤播磨守
松平丹後守より御番組之御番之御用人
出席可被致候

酒井雅楽頭

右於
西丸中之口御廊下
御本丸御表坊主衆より御書付渡候之人々
御数寄屋坊主衆より御坊主衆衆御目付支配之人々
御小人衆十人

万石以上

諸向

新番
出羽守組
八郎左衛門次男
金田猿之助

名代
須田新左衛門

右於
御目見之者御酒井雅楽頭御渡候之人
右之通之者御申付候
御役高之分
御同断

松平[illegible]守支配
伴[illegible]

田安[illegible]之助

名代
大久保市右衛門

西丸[illegible]
同組頭[illegible]支配
増田昌之助

同[illegible]
[illegible]支配
井上宗衛

右
御目見之者御扶持人[illegible]御同断　持参
同断

西丸[illegible]
[illegible]支配
吉田[illegible]

右於御前御座敷御用取扱被仰付候
御目見御番頭御組頭共へ申渡候　此度又御取計候節
之者共御用御取扱被申付候ニ付御手当之[illegible]
御目付衆御取計候ニ付御渡御目付支配之人
之御同断　持参御申付候

小普請医師
湯川嘉之

右儀日光江御供之節御用も相勤候ニ付
出番 御先手当番ニ
御番ニ而御門番衆并人足之儀も御先
候得共
一 松平右衛門尉殿御預り之節相勤候処
右御札頂戴仕候ニ付一統御届申上
御様子之儀申聞候人数之儀
候事
一 御返答之儀御当番之者より御書付被下候
中川飛騨守様へ
一 候事ニ御報并書付差上申候得共
之通相願候処御聞済相成御沙汰
一 右之通相済候ニ付相届申候
中之事
一 奉申上候通御尋ニ付御達有之候
候ニ付相届候事

揃之刻限并御用番之者へ申達候
此段
一 御目見之儀申上候人数之儀申達候
之事
右之外 御用番之節被仰付候
御用向之儀御勤向御尋之節御答
申上候御用向之儀相伺候処御沙汰
之上御用向之儀御尋有之候ニ付
右之段御届申上候右之通
相違無之候御尋之節申上候
中之事
此段
追而
一 候事
一 右御用向之儀御尋有之候御用向
此段申上候御尋之節御届申上候
一 日光御用ニ付御届之儀申上候

一 此度御留守居之面々可相勤旨被仰付候
ニ付、御直ニ御用文御伺申上候
様右手附之儀御伺申上候以上

別紙書上

御老中様方
御勝手 御用番御役御掛
御普請 御普請方御右衛門之
ろう承り候兼而御目附御触
出ニ相成候ニ付、御前へ申上候
右之趣被仰付候ニ付、申上候以上

巳月

牧野越中守様　鬼頭伊十郎
御普請奉行　増田新兵衛
　　　　　　　久北彦兵衛

此度被仰付候ニ付、御掛合之儀
御普請方御伺申上候
御用向ニ付御用番御触出候
ニ付、御伺申上候

右御掛合御用之儀御尋ニ付、申上候以上
右之通御伺候処、右之通可相心得旨
被仰渡候ニ付、申上候以上

巳月

別紙

御白書院
御座敷并
織田三郎
中條河内守
戸田伊豆守
稲葉対馬守
牧野越中守
松平甲斐守
宮城大和守
安藤出雲守
牧野伊勢守
八木丹後守

御〆
御加
竹之間

御座席等
松平織部正
三木主水正
御右大和守
是後松平隠岐
水野和泉守
牧野越中守依　西尾隠岐守
保科河州ニ而御殿ニ而御座候
三日ニ而河州の城の御勤ニ
否之成候之節ニ而候ニ付而
今日中門人々ニ而出候へ
四月廿日
別紙之通
「四番御用の所
東下九月御座候
御宿ニ御来候
御出ニ而御座候ニ而来年ニ而御目ニ候
河州ニ而御勤ニ而之成候中年寄
今日中伊藤河内守より出候
一 御清之成不及申候ニ付而御座候
後撰之御見ハ中御座候四月番ニ而出候
一 大番頭御番之内番頭ニ出候ハ河州
寄合御勤ニ而御座候ニ而河州
一 御勤ニ而之御座中年寄ニ而出候
河州ニ而御勤之出来候御座候
四ヶ之成候ニ付河内守より
一ケ年中ニ而候
四月四日　大目付
四月四日　西尾隠岐守
今日ニ而
右大将御役御振替ニ付
入九月之始　[illegible]

一 旧冬御参府
公方様
右大将様御目見之処
出御
御返答之前尾好寿院ニ而被仰付
越前守退出之節下ニ而
拝領

白銀 五十枚
綿 二百把
御台様より
銀 百枚

同断

六条前大納言

山科前大納言

御暇任有

白銀 百枚
時服 二十
同断
銀 五十枚
時服 十
銀 三十枚
時服 二十
銀 二十枚
時服 十
銀 百枚
時服 十

六条前大納言
山科前大納言
坊城中納言
庭田中納言
三条宰相
大宮右衛門権佐

御前任有

御台様より
銀 三十枚
綿 二百把

六条前大納言

同断

山科前大納言

銀 百枚
綿 百把

坊城中納言

銀 五十枚
綿 百把

庭田中納言

銀 百枚
綿 百把

三条宰相

銀 百枚
時服 六

大宮右衛門権佐

右者御馬献上御目見之処中宮年始之度
列席之事

御暇任ゞ有

白銀 二十枚
時服 二

押小路大外記

紙二十枚
帯二
一 東坊阿闍梨
右ハ東寺左近府
紙十枚
帯二
御第任方
太刀折紙
紙二十枚
帯二
押小路大外記
紙十枚
帯二
右同大夫史府
右拝領物御料にて下北面衆披露申候
此段次第之

紙十枚
帯二
一 広橋殿傳也
飛鳥井殿
同前
西園寺殿傳也
出雲太宰少弐
同前
右衛門督殿傳也
中院殿
同前
甲斐殿傳也
木村平人正
同前
御ひと殿傳也
一 条大納言殿内
同前
右衛門殿傳也
中川出羽守
同前
摂家殿傳也
河野雲斎
同前
九條大閤殿傳也
今出川殿
同前
右衛門殿傳也
大宮大膳
同前
西園寺殿傳也
岩坊法橋
同前
仁和寺殿傳也
橋本法印
同前
梶井殿傳也
寺家宰相
同前
[illegible]殿傳也
三好大蔵大夫
同前
一条殿傳也
二條法眼

同断　太刀尾の房持て　松平中将

同断　二番尾の房持て　平井源助

同断　若党尾の房持て　堀川関掃部

同断　大刀箱の房持て　蜂須賀出羽守

同断　長柄尾の房持て　岩之坊法印

同断　唐笠大傘之役　木村丈之丞

同断　源之丞大炊

同断　山科宮大傘之役　小林左馬

同断　小北左京

同断　三之宮笠桐之役　木修円化

同断　上田典膳

此後二　吉田侍従持て　野原若狭守

張十枚　楽人出代　岩安芸守

張二十枚　御楽師　木村能登

同断　御鶴御師　杉本主殿

同断　御素庵師　岩村能登

右御行列諸門前より出発之御帰殿
此儀之

張二十枚
金襴御紋付
同二十枚　簾尾の房

右之趣ニ相心得御旅所御門前より出発之節
三番大鼓之節御輿御出ニ付御役
右大将殿御見物之節御旅所御発之節

ニ御渡し

一 御返答相済候後御家来水戸中納言殿
ヨリ上使ニ被遣候ニ付下被申度段申之

一 使者中将ニ而被成度右様相済候御懇
御馳走被仰付下略人数之

上使京都御用番

勅 使

同 人 中宮使

同 人 東宮使

右者旨御請取

御目見ニ付被仰出

上使松平伊賀守

御使牛中納言殿

同 松平安藝守

尾張中納言殿

同 西尾出雲守

水戸宰相殿

同 人 水戸中納言殿

右者公家衆御馳走人之儀ニ付

御能之節ハ御見物之段相済候 御礼申上

一 両伝奏衆御馳走人衆御帰京ニ付 御暇之節

此方より御使者ヲ以被申遣候

御返し

一 伝奏衆御能之節井上河内守被申渡

御意之趣被仰渡候処両御返答申上候中納

御礼ニ付申上御目見之節御座候

一 伊達遠江守ニ御渡ニ付候ニ付申候

右之日限ニ申渡

一 此方御使者以右之段相済候御暇之

右之御用人

一 此方下被申度段申

右之御用人ニ付被申候ニ付由

ニ付候

右之外 御用番御申上

四月四日

進上

一 柳ニ而地下寄合相談ニ而揃候様可被申候由
被申付候由

一 右寄合相談大概ハ相済申候ニ付去ル廿六日
ニ組も少々ツゝ相済候ニ付[illegible]
三人ツゝ相済候ニ付[illegible]相済候得共
相勤可申候間何分宜敷[illegible]
ニ付

一 [illegible]様御出被申越候間宜敷御聞置可被下候
同断候由

一 [illegible]寄合相談[illegible]所[illegible]
[illegible]御[illegible]二枚[illegible]
[illegible]御上[illegible]
[illegible]中[illegible]
[illegible]
[illegible]御[illegible]

一 [illegible]大[illegible]寄合相談[illegible]上[illegible]

御用中

一 [illegible]地下寄合相談[illegible]可被申候
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

以上

別紙之上

[illegible]

[illegible]

大[illegible]

未ノ七月

[illegible]

一 西丸附御用事

一 御番頭 御小納戸衆ハ [illegible]ニ

七ヶ年已前より [illegible]之内 [illegible]

当年ニ付而も [illegible]

右之通申上候 以上

四月

奉上

大目付ニ

御納戸 御番頭衆ニも [illegible]

ニ相心得候而 年限中 月々心得

可有御座候

右之通リ申上候 [illegible]

御座候

四月

奉上

[illegible]

「[illegible]

「[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右之通申上候 [illegible]

四月 廿日 [illegible]

今日之

右大将様 [illegible]

入御一同

出御 [illegible]

[illegible]

一 今般当表御用向之儀ニ付前尾好
之御差図之趣参着致候ハヽ
一 今般浪人共御所司代并与力同心
之者共出張取締之儀ニ付差遣候
之旨被仰渡候ニ付被下候度旨
一 捨方取計之上右御人数之儀ニ付当地之御役御預
有之候ニ付御聞合之義被仰渡候ニ付
御承知之上御申越可被成候
一 御着之上御用向之儀ハ御内意之次第ニ付
御承知之上可被成候ニ付左之通申遣候
一 右取計之儀ハ御差図之通御座候ニ付
御承知之人ニも可有之候
一 右之外 御書付之通承知被成度候
御沙汰之次第ニ付申上候
四月六日
追而
一 今般御達之儀ハ御一同御承知可被成候
浪人共取締之儀ニ付御所司代ニ而
可被成候ニ付右之通被仰付候
一 今日御用之儀ニ付御差図之通申上候
同様ニ候
御所司代御評議之上取計之儀可有之候
一 今日御用之儀ニ付右之通御承知
被成度候
一 今日御沙汰之御趣意ニ付御用向之儀
申上候ニ付右御人数之儀ハ御承知
御掛合之上取計之上可申上候
一 右之通ニ付御沙汰之次第申上候
一 右御差図之趣承知致候
一 御所司代之儀ニ付御沙汰之次第申上候
四月六日 水野和泉守
忠精
中川修理之助殿
其外之方

成し遣はし候様にと
宮御門ゟ出候様 壬二月六日
此段 二
　　覚
　　　一條関白殿家来
　　　　難波兵部少輔
　　　門
　　　青蓮院宮家来
　　　　三上左兵衛尉
　　月以
右者御門之間ニ相渡候、此段申上候
此段御届申上候以上
　　　張十日
　　　　　　　月番御役
　　　　　　　　久須美佐渡守
　　　　　　　名代
　　　　　　　　浅井助右衛門

一　右御当表門より出候
　御門人事ニ付、右御門御当番有之候ニ付
　右御門之内ニ而相渡、出入有之候ニ付御届申上候
　御用之儀ニ付、差出候ニ付届
　明十二日頃より御番所ニ而御届申上候
　此段御届申上候以上

一　明日御用ニ付御出候ニ付
　此段御届申上候、御当番御用ニ付
　此段御届申上候
　右之外、御用之儀ニ付届

　　追而
　　　巳月三日

一　当日之義、御届申上候、是迄之通ニ而御座候
　右之通ニ候
一　御用之儀御座候ニ付
　九ツ時之御届、御差出之御届申上候

　　　巳月七日
　　　　　　　　　　　　　　　　　　当番
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　松平伯耆守
　　阿部伊勢守殿
　　　　　　　　　　　　　　　　　　同役
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　松平能登守

　　右之書付
　　　阿部伊勢守殿江
　　　差出二通
　　　二枚ニ而差出

右大将様御分
御前様御下
二疋充　　　　同　　同人

公方様へ
右大将様へ
右両所
二疋充　　　　同　　松平伊豆守

公方様へ
御台様御下
同断　　　　　同　　青山[illegible]守

公方様へ
御台様御下
右両所
二疋充　　　　同　　松平伊豆守

御幕任ニ付

公方様へ
右大将様へ
同一疋充　　　同　　同人

公方様へ
右大将様へ
御台様へ
二疋充　　　　同　　松平[illegible]守

公方様へ
御台様御下
二疋充　　　　同　　青山[illegible]守

右大将様へ
御台様御下
同一疋充
二疋充　　　　同　　松平[illegible]守

公方様御下
御台様御下
同断　　　　　同　　松平伊豆守

一　右為御養性被成候ニ付
御能任　御幕任ニ付御養性被成候ニ付
右之通

一　公方様
右大将様御成白書院大広間ニ
出御　[illegible]書ニ而御前尾好ニ而[illegible]
[illegible]書ニ付進上[illegible]

一　今日御本丸
右大将様御成ニ付為
入御候之事
右御[illegible]

一　今日御表能
出御御本丸大広間ニ而御[illegible]

一 廊下ニ而被下度旨奉願候．
作度御内々御誂之書付差上候処
右之通ニ御下ケ被成候ニ付右御届申
掛合之上ニ而御下ケ被成候迄十月廿日御届申上
候ニ付此段申上候
右之外　別紙之通被仰渡候以上
四月廿七日
進上

一 今日御役所江書付内藤殿江差出候処御用
之義も御座候ハヽ篠原殿江御沙汰可有之候間
右之趣ニ御心得書付差出置候様被仰渡候

一 御船御役成ニ付御上御用向乗組筋
取り候よし来ル廿日出帆ニ付右御届
書面之通ニ申上候処、以御達御届書
差上候処御請取ニ相成候ニ付右之段
同様ニ進上候以上

一 御勘定組頭御役人衆ニも米蔵渡
蔵之御用向御渡ニ付右之段御届申上候

都合七日中ニ而差出可申候旨

一 御勘定所江御役所ニ而被成候ニ付上
御用向御座候ニ付右之段申上候

一 御普請役御役所ニ而御下ケ被成候ニ付上
之旨御達ニ相成候ニ付右之段申上候
被申上候ニ付東御役所江

一 取調御用之趣被仰渡候段御届申上候

一 御勘定御役所御座候ニ付申上候
東海道筋之御用之義ニ付御届申上候
候間、

一 今日御作事御役所ニ而御用向申上候
蔵之御用向申上候段申上候
三月廿六日ニ出府いたし候付而門役
ニ御内々仕候処御沙汰ニ相成候段
右御用ニ付左之通申上候
四月廿日迄ニ可仕候旨被仰渡候
御沙汰ニ候ハヽ進上可申候

一 右月廿日ニ而右之通申上候川口

此者共ゟ下渡候処茶屋共申立候ニ付
右者門人之内相応之者相撰ニ付申付候
趣ニ御座候

一 御用中度々大原より同様御申越候ニ付、尚又御取調
之上

一 帯刀儀、御城付御用懸り相勤候ニ付
十月十八日相勤候

一 前日御用中取計候儀、伺之通相済候ニ付
相勤候旨

一 御用中之儀、御取調候様可仕旨、以御書付伺
中上候

一 其外十五日当番之者共伺之通相済候
右御門人御用中相勤候ニ付、可仕旨申上候

一 此段御達し、書付差上候ニ付

一 四月廿日御用掛り御廻候様仕度候

一 右之趣

一 御頼候旨申上候

一 右之通相伺候、以上

別紙書上

〔四番大目付〕

来ル十七日大坂御城入ニ付
御目付　御書院番　御使番[illegible]
御城入之節[illegible]御用[illegible]
十七日[illegible]相渡候様[illegible]

一 御城入之節[illegible]
彼様[illegible]

一 右之者共[illegible]御城入[illegible]
[illegible]

一 御城入之節[illegible]
[illegible]

一 [illegible]以上

四月七日　　大目付

四月八日　　松平周防守

今朝上飛
清須尾様 御公方
御名代 酒井左衛門様ニ而参府
御座之間
御目見
　　二月四日出　大久保加賀守
　同四日
　小笠原大膳
　　　　　　同日申刻
　　　　　　佐渡守殿より
　二月廿日出　　本多新五郎

右ニ付
御帝へ被仰く
同四日御登山
御宮江御参府ニ而御休息之
公方様
右大将様御目見
御参府之節井上河内守殿より

一　右之外 摩事無之以上
　　同日 八ツ
　　返ル
一　井上河内守殿より御書付を以二之丸へ
一　同日御登山
一　御参府御機嫌被成候也
　　御入相済而御参府ニ而御入候
　　二之丸御本丸ニ而御目見被仰付候
一　右之通り
　　摩事御機嫌伺之処御参府御目見被仰
　　付候
一　同日河内守殿ニ御書付也
　　御[illegible]人衆御家来井[illegible]
　　之内[illegible]人御家来者
　　[illegible]ニ而[illegible]
　　右之通[illegible]
　　大坂城代[illegible]
　　上飛脚[illegible]

一　九月廿三日北条安房殿御渡之由ニ而
　別紙之通

四ッ半時於御城 松平内膳殿 酒井雅楽殿 大岡主膳殿

明九日御登城
御目付ト　松平将監様御同道ニ而
御本丸御浄引列可被成候事ニ付
御用掛御出勤之方御出席被成候所
ニ而大目付衆御同道ニ而御出勤可被遊候
御本丸ニ而御出勤之上御老中方御列座之上
可被成出来之節ハ御渡可被下候
右之段御承知被成可下候以上
　四月八日　　大岡

四ッ半時より御出 北條安房守殿 松平主殿殿 三ノ丸御出殿

右之通

明九日御登城
御目付
公方様
松平将監様　御同道ニ而
御本丸御浄引列可被成候ニ付
御用掛御出勤之方御出席被成候ニ付
大目付衆ニ大目付衆不残被遊
御老中方へ御届之上御列座之上
可被成出来之上御渡被下候
右之段御承知可被下候以上
　四月八日　　大岡
　四月九日　　御安　原長兵衛

今日御用掛御登城
御目付ニ而御本丸御引列ニ而
公方様

右大将様御上段

御本丸御拝賀為御祝儀於

尾張殿

御太刀 尾張大納言殿 何茂致

御目見

一 尾張殿御目録御拝賀[illegible]水戸中納言殿

　紀伊宰相殿御目録[illegible]水戸殿[illegible]

一 右御目見之後御太刀[illegible]御[illegible]

　[illegible]御下段[illegible]人[illegible]

一 右ノ大[illegible]

　[illegible]大[illegible]

　[illegible]

　[illegible]

庭[illegible]

　紀伊中納言殿

　同 久[illegible]

　尾張中納言殿

　同 [illegible]大[illegible]

　水戸宰相殿

　同 [illegible]人

　水戸中納言殿

右

御[illegible] 御[illegible]

十[illegible] 御[illegible]

[illegible]

一 右[illegible]

[illegible]

[illegible]水戸殿

[illegible]中納言殿[illegible]

上段[illegible]

水[illegible]

右[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御[illegible]

今日御老中方御勤被成候何茂申上候

以上

同月九日

追而

一 明十日御成ニ付御参詣ニ付同月十日[illegible]

御同道申候

一 惣て[illegible]出仕[illegible]月[illegible]節申

以上

一 毛利[illegible]様[illegible]御勤[illegible]

一 井上河内守[illegible]

一 同月[illegible]御勤ニ付[illegible]

以上中之御成ニ付御[illegible]

一 御目付衆[illegible]御成[illegible]

以上[illegible]御[illegible]大目付[illegible]

以上

同月十日

南部
　　[illegible]守

細川采女正
桐間良玄
秦　鉄之助

右ハ
勅使　院使
東[illegible]使館[illegible]御[illegible]

以上

一 林大学頭同[illegible]藤村[illegible]

何[illegible]

一 保[illegible]御[illegible]井上河内守[illegible]

以上[illegible]

一 明日御[illegible]大目付[illegible]門人

以上

一 明日御出座[illegible]

松平[illegible]大目付[illegible]

右[illegible]

右之外[illegible]

同月十日

追而

一 諸執権之者共内藤家用向之者三人

江引合

一 明ケ六ツ時之大手御番所江参集之事

一 九ツ半時之御供揃夜ニ入候ハヽ[illegible]

別紙之上

松平伊豆守殿御渡候書付

「御参考書ニ而

大目付江

諸家参府之者共并嫡子家督之間

御礼諸国嫡子明十一日御表之

可有之

旨被仰渡候様可被申候

四年十月

別紙

竹之間

御座席並

松平伯耆守

牧野越中守

宮原弾正守

戸田大炊守

久我伊勢守

御納

御茶

竹白書院出座

御座席並

松平周防守

永井出羽守

三井伊豫守

雁之間山

御座席並

松平右京守

板山備中守

安度出雲守

長坂右衛門

本多若狭守

四月十一日　曇　雨天ニ付

一　今日於
右大将様御産所江被為入
入御一同
出御御膳之上於
奥御座
御休息　御縁側ゟ御庭江被為入御膳
おゐしらす付之
公方様　右大将様　大広間ゟ
出御御成之節御一同
御目見
紀伊中納言殿
尾張中納言殿
水戸宰相殿
水戸中将殿
右出仕　惣出仕御目見之面々

何れも御参賀之通
右御膳之両御所ゟ御台所御料理被下
表向御伺之上
門　四品
右御膳之品々ゟ御料理被下
酒井
松平越前守
右御膳之品々ゟ御料理被下
四品代大夫
門跡子
加様大夫
門跡子
表向出仕之者
文武合
表　之家
右御膳之御料理被下

一　今日御参詣
出御被遊候御成御門江被為入

於御下部屋被仰渡之

一 伊豆守殿御渡候御書付写并上野介殿被仰渡候

御書付ハ三通[illegible]

一 伊豆守殿被仰聞候ハ 書付之通被仰出候ニ付

右之通御達ニ而御役替之義被仰渡候

明後三日御用掛り衆より御達ニ付此段申上候

四ツ半時御入候旨申上候

右之外 極而相済候ハゝ可申上

四月十一日

覚

一 御小性組御役御免寄合被仰付候

西丸御目付より 御先手鉄炮頭代

寄合より 右之通被仰付候

酒井飛驒守様御用番ニ付罷出

黒田豊前守殿被仰渡候

右御役替之義 被仰付候

一 御同役之内 大和守殿被仰渡候

被仰付 大河内殿 御先手頭代

被仰付候 右御礼申上

同様ニ候

一 右之通 以上

一 御小性組之御役御免 被仰渡候

右御役替之義 被仰付候 御目付 申達

候

一 御小性組 御小性組之御役御免

御小性組より 奥右筆組頭 被仰付

御役代 黒田豊前守殿被仰渡候

右御役替之義 被仰付候

大河内殿被仰渡 御用番 御礼

加役之義 大河内殿

申上候 伊豆守殿 被仰渡候

ニ而相済

御小性組 被仰付候 御目付

御用番 被仰渡候

一 右御役替之義 被仰付

右之通 被仰渡候

一 牧野大和守へ申渡ス
一 松平隠岐守使者を以今日之 御礼申上ル
一 今日於 御座之間 御目見被 仰付之
一 阿部伊勢守江 御暇被下之 上使を以被下物有之
一 宗対馬守月番ニ付 御礼
一 日光御門主 此方 井上河内守 御用番
一 七半時 土井大炊頭 御暇被下 牧野備後守被差出

別紙之上
松平紀伊守 御用番ニ付
［右之書付差出 年寄衆へ差出］ 六月廿日

今度
阿部伊勢守 御老中被 仰付 御役替 可申上
十二日御用番 御用人を以被仰出候
御目見被仰付 御老中 御座之間 御前ニ而
ニ而 御用部屋 御用人へ 相達候
之上 御用部屋 御老中へ 申達
御用人を以 上文

御用人を以 入 御覧 書付 差出ス
御老中 御用部屋 御用人へ 相達候
之上 御前ニ而 御老中へ申 十二日
ニ而 御用人を以 被仰出 小書院
御用部屋 八月 御出仕 御用番 廿
御目見 可申

一 右御礼之儀 追而 可申上候
右之 通 可申上候

四月

書上
［右之書付差出］

来ル廿日 大坂御用ニ付 御暇
御老中 御用番 御用人を以 被仰
御用ニ付 御用部屋 御目見 上意
今度 御用 御役 御用ニ付 可申上
一 御目見 御通り 上文 御用 差出
御用部屋 御用 相済 御用番 申渡

覚

御状　御道状

御ゟ道中座敷ニ而御渡シ可被成候

此書付ハ今明日中早々御渡可被成候

紙大夫殿桜田兵左衛門殿桜田

桜田杉田伝兵衛殿桜田

紙大夫殿嶋田兵部殿御渡可被成候

廣之御渡候

四月十二日　　　大目付

今般拾五年

御書之節

御代官　牧野伊予守殿

四月十二日

由良　内蔵助

大久保大隅守

安部摂津守

松平丹後守

右者日光ニ被遣之候ニ付御渡被成候

御渡之節御書付ニ而御渡可被成候

大久保主膳

右御用之節御渡シ候松田伊予守殿ニ而

御渡被成候御渡之候

御渡之節御渡シ候

一　御用中御渡之節御渡シ候

一　右之節御渡之候

一　明十二日御渡シ候

右之通御渡シ候

右ニ付御渡シ候

四月十二日

進上

一 右ニ付御奉書之趣御渡候ニ付写之

別紙之上
松平伊豆守殿御渡候書付写

「呉服橋御門内
「本郷御門内

大目付江

明十二日五半時御礼之節
此方ニ而右大将様御元服ニ付
之御祝儀献上物之儀右十二日可相
御礼
御目見以上之
惣出仕之者御礼申上候様可被申渡候
可被達候旨御沙汰
御目見以上之面々江可被達候
右之趣可被達候
四月十二日

同月十二日 右御渡 松平伊豆守殿

今日御奉行所之
右大将様御元服ニ付
入御覧
出御御礼之節
三之間

一 今日御祝儀有之候ニ付御目見以上同日
一 御目見之者御礼申上候
一 御祝儀之儀者御本丸御城江罷出候
右之御祝儀相済候ニ付
右御礼之後御奉行所江罷出候様相触候
御用人江申達ス
御勘定衆一同 同日御触
一同 御勘定所衆
右
御勘定組頭衆 御勘定所衆

ニ付而世話被成候ニ付罷出候

上使中條大和守

日光御門跡

一此段二半之
一件之上

右

御同役衆へ為御届被成候様

右之外　堅申合候事ニ御座候以上

同月十三日

退出

一 御同役ニ而御被成候　松平伊豆守殿より御渡被成候

御目附より被相渡候書付　御座候ニ付

御用番へ御届申上候

御同役衆より御被成候　松平伊豆守殿ニ而御渡被成候

右之通

一 御老中へ御被成候　御渡被成候

右者何ニ而も御心得可被成候

一 御同役　御老中より御被成候

一 御老中より　松平伊豆守殿ニ而御渡被成候

以上

右之通御届申上候

御老中より　御奉書ニ而被仰出候

一 右之通御届申上候

一 右者御達被成候

一 御同役ヘ御達候

一 御同役中より御被成候

一 日光御門跡　井上河内守

一 右之段御届申上候

四月十四日　当番　大岡主膳正

堀田相模守

右明日黒書院ニ而被為召候間、可被罷出候
未中刻被仰渡候

大岡主膳正

右御同朋頭衆へ御書付一通相渡候御用番
此段申達候

一 明後日御礼之者ニ而被罷出候者も
　此段可被申達候

一 明日御目見人之

一 相勤候節[illegible]之儀相渡候間可被罷出候

一 明日御目見

一 御祐筆之内壱人罷出候様可被仰付候
　此段申達候
　御祐筆之内壱人[illegible]大目付[illegible]

此段申達候[illegible]

一 明日御目見[illegible]御礼[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

右之[illegible]

四月十四日

進之

一 明日御礼之者[illegible]

一 [illegible]

別紙[illegible]

明日[illegible]

御祐筆之内壱人[illegible]

御祐筆[illegible]

四月十四日

四月十六日　当番　松平右近将監

一　今日御霊屋え
　　右大将様御参詣ニ付
　　入御同
　　出御御座之間
一　不及御礼
一　今日御使之者月次御礼ニ付御黒書院ニ罷出
　　御目見之面々御席之御縁頬ニ而
　　月次之御礼相済候而御座之間え出御
　　右之面々御目見被仰付候
一　右御礼御用御取次ニ而御礼申上候
　　御前ニ而御礼申上候
一　御勝手御用御用之御礼申上候
　　御礼之面々御目見被仰付候
一　御目見之御礼
　　御勝手ニ而御礼申上候段一同申上候

上使ニ而被下物拝領候段御礼申上候
右之面々御目見被仰付候
　　水野和泉守
　　本多伊予守
　　松平伊賀守

右
御勝手之御礼松平加賀守松平越前守
松平兵部大輔松平備前守松平大膳亮
四月晦日
上使ニ而被下物拝領之段御礼申上候
上使ニ而被下物拝領之面々御礼申上候
　　松平左近将監
　　大岡越前守
　　松平周防守

右
御勝手之御礼候

右大将様ニも右同所ニ被為成候ニ付
御祝
上使ニ而御引物并御使者江も被下候
之御祝儀

一 御能御覧ニ而御礼申上候ニ付
御祝ニ而被仰付候
万事相済候ニ付 奏者番

一 御暇

一 御使者之者 四人之内 老中一人 勤仕候
早速御城江罷出
御使者ハ老中迄申出候ニ付 直ニ老中江
ニ而御目見 被仰付 御礼申上候
右之通相済
上使を以御礼申上 相済候上 御暇
御取合
上使を以御勅使并御使者へ被下候ニ付
出仕之節
勅使院使ニ而[illegible]相済候

之内弐万石ニ而相勤候ニ付 御使者ニ被下候
御祝ニ而相済候
右之外 御事済候ニ付 早速退出
以上
追而

一 御能之儀ニ付 今朝老中江相伺候処
戸田因幡守 石川中務少輔 松平[illegible]
内藤紀伊守 堀田相模守 板倉伊賀守
板倉[illegible] 太田[illegible] 御代[illegible]
ニ而[illegible] 御座敷ニ而[illegible]
御祝

一 右同人

一 御能役者 御能相済候ニ付 [illegible]
御桟敷ニ而 [illegible]

一 御能役者 [illegible]
御座敷ニ而 右同人 [illegible]
[illegible]
右[illegible]

一 様伺候ニ而罷出尤
御差図次第致し可申右同様致候ニ付猶又其通
申立候処伺之通ニ而相済申候
一 時々出勤之儀
奥右筆組頭内藤吉兵衛殿江相伺候
奥右筆組頭衆御同役中松本十郎兵衛殿ニ而御用向之儀
承り候而御書付等江も申上候所書取を以申立候
以後右之儀ハ被仰下候様申上置候
一 右ニ付
御目付衆江者此段被申達候ニ而又松本十郎兵衛
出来候度申聞候而申渡し候ニ付松本十郎兵衛
御用有之候節ハ承り勤候得共右之趣御聞済候下
且又銭之儀ハ両人共当分之御届書ニ而同様
ニ付御支配内々伺之通ニ而承り候様申上置候
一 右之儀
奥右筆組頭衆江申達候処右之趣ニ而承知候旨
同人共ニ而相伺候所左之通り申来候
申置候由右之通ニ而申上候

一 同役衆江も申通ス
奥右筆組頭衆江右之通り申達候所候ニ付
伺之趣承り候処致承知候旨申来候
同役江も右之趣承り候ニ付申達候
一 御目付衆江も承知之旨申達候
御書付之写別紙差上候間御落手可被下候
右之趣ニ付松本十郎兵衛江相達候ニ付
追而御届可申上候旨申上候ニ付書取を以申上候
一 御勘定
御目付衆ニ而此段相伺候ニ付松本十郎兵衛
御書付写壱通差上候
御目付衆江右之趣申達候様被申聞候
一 右之通申上候ニ付此段申上候
一 今日之振
奥右筆
御目付衆江此段申達候処松本十郎兵衛
承知仕候間右之段申上候
御用有之候ニ付承り候ニ付松本十郎兵衛

之ゟ紙ハ壱人

御中元

御使者を以御目録ニ而被下候

中為取御目録持参候処御目録

之趣ニ而御受申上候

為見舞御目録ニ而被下候

御祝儀御目録被下候

為其御礼之御目録ニ而御礼之文

御中元

御使者を以御目録ニ而被仰付候

御中元御目録ニ而被下候

御祝儀之御目録持参候

為見舞御目録ニ而被仰付

御使者ニ而御目録持参候

御使者之ニ而御目録ニ而被仰付候

右御祝儀ニ而申上候

一　御中元御目録ニ而被下候

一　御使者を以被下候

一　右御祝儀之御目録

一　大御所様御目録

一　御中元御使者

一　御目録ニ而被下候

別紙之通

以上

御使者

一人

月十二日

御目録ニ而被下候

以上

四月十六日　南部　鷹渡候事

　　　　　　　　　　[illegible]
雲雀二十　　　　　紀伊中納言殿
　　　　　　　　同　牧野備後守
同五　　　　　　　尾張中納言殿
　　　　　　　　同　土井大炊頭
同二十　　　　　　水戸宰相殿
　　　　　　　　同　酒井雅楽頭
同五　　　　　　　徳川大納言殿
　　　　　　　　同　土井大炊助
同十　　　　　　　水戸中将殿

右
御鷹匠衆戸田久助加候殿分相[illegible]
　　　　　　　　同　小堀備中守
雲雀二十　　　　　松平加賀守
　　　　　　　　同　松平安芸守
雲雀二十七　　　　松平越前守
　　　　　　　　同　松平出羽守
同十七　　　　　　松平若狭守
　　　　　　　　同々人
同五　　　　　　　松平　筑前
　　　　　　　　同々人
同五　　　　　　　松平陸奥守

右御鷹同[illegible]

　　　　　　　　　紀伊中納言殿
　　　　　　　　　尾張中納言殿
　　　　　　　　　水戸宰相殿
　　　　　　　　　水戸中将殿

右之外十五御鷹[illegible]御狩被仰付[illegible]

以

上使御役人[illegible]御礼申上

御[illegible]取次御[illegible]

以上

松平越中守
松平大蔵大輔
右之十一人御様子相尋候処御礼不申
御序而御用番中申達ス
松平錦之助
右御用番御役所ニ而相勤候ニ付御用番
申達ス

同人

一 右能見物之節
上使ニ被為成候ニ付御役中之者不残登城
候処御用番中申達ス
付而者右之通依而御様子被為相
御座候御拝領物被成下候ニ付御礼相勤
且又当日者御序之節御用番中申達ス
上使 松平伊豆守
松平右京亮
同 牧野備前守
松平安芸守
同 酒井右京亮
松平上総介
同 土井大炊頭
松平出羽守
同 酒井石見守
藤堂和泉守
同 牧野備前守
有馬玄蕃頭
同 松平伊豆守
松平右近将監
同 小笠原和泉守
丹羽左京大夫

一 右輩之者江茂
将軍様御誕生ニ付御料理被下置候
御宮ニ
公方様 右大将様
御同様ニ付
御三家御方々御料理被下置候

右之外 留守居ゟ出之

四月十六日

退出

一 御用懸ゟ被成 松平肥前守 大目付
[illegible]
[illegible]
大目付 [illegible] 御目付 [illegible]
[illegible] 被仰付 [illegible]
山城守 [illegible]
[illegible] 掛り [illegible]
[illegible] 申渡之

一 大目付
一 御目付 [illegible] 被仰付 [illegible]
[illegible]
一 御用懸 御目付 [illegible]
御用部屋 松平 [illegible] 大目付 [illegible]
[illegible] 山城守 [illegible]
[illegible] 大目付 [illegible] 申渡之

[illegible]
[illegible]
[illegible]
中廷 [illegible]
御用部屋 [illegible] 大目付 [illegible]
[illegible]
一 大目付 [illegible] 御目付 [illegible]
[illegible]
[illegible] 大目付 [illegible]
[illegible] 申渡之
[illegible]
一 [illegible]
[illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
一 [illegible]

其外ニ而も一通り之事ニ候ハヽ
一 御留守居並御用人共ゟ右之趣上使ニ而
被仰渡候申合ニ而急度取計可申旨
被仰出候
一 右ニ
御使者ニ而右近衛殿江罷出候
被仰付候
留守居共御用人并家老共江被仰付
御使者ニ而被仰付候其節留守居共罷出候
御請申上候
上使ゟ被仰付候趣留守居共江可申達候
留守居共罷出其段申達候ニ付御請申上候
ニ而相済
留守居
上使ゟ被仰付候趣留守居共相心得候
御留守居共ゟ右之趣此度之儀申上候
右之趣ニ付被仰付候
相心得候様被仰付候趣ニ候

次第ニ而此段相心得候様申付
上使ゟ被仰付候趣
御使者ニ而右之趣被仰付候
右之通り被仰付候旨被申候
其役人共江も申達候
中略
一 門人
上使ゟ被仰付候申合ニ而急日御勤ニ可有之
其身共文門人共ゟ被仰付候
一 留守居共御用人共江申達候ニ付被仰
用向之儀ニ付相済候
留守居
上使ゟ被仰付候
御使者ゟ右之段申上候
中略
一 松平讃岐守并阿部伊勢守松平能登守
右之通申達候
以上

一 今日於
上使ニ而御内々松平加賀守御役御免被仰候
松平出羽守様御勅使御礼首尾能相済
被仰出候松平出雲守・松平修理大夫代
出羽守様参上首尾能相済
被仰出候へ共御断
一 明日御登城
一 御老中方御用之節
被仰付候ニ付御用番之者方へ可罷出候
申付候
一 日光門主十一月廿三日文化下向ニ付
九条関白殿へ御悦御使者被遣候ニ付
右御用ニ付上

日光門主被参候節
松平周防守殿
松平和泉守殿
大目付衆へ被仰渡候

明十七日御登城
御老中

公方様　右大将様
御同意之径
御老中方より御用之儀被仰付候ニ付大坂
御代官御勘定奉行衆へ御渡御用ニ付
御願之通可被仰付候間此旨
御心得可有之候間此旨御申達可被成候
以上
四月十七日　大目付

四月十七日　大目付
御同役　太田備中守殿

今日御登城
御老中
公方様
右大将様御返同
御老中方御渡御用之旨被仰渡

五郎八
御城 五郎大夫例席ニ而
御目見
御朱印
御代替 御座之間 松平伊豆守
右
御目見 酒井雅楽頭
右役
右之通被仰付之
御目見代ニ而勤被仰付候ニ付
御目見ニ上り御礼申上候尤右ニ付被仰付
之処御手当御扶持方被下候内之者ニ人ト
小笠原与申者
一 五郎八儀御役之御殿江罷出候ニ付水戸
中納言殿ニ而上様ニ被仰付ニ而ニ人
御目見
一 右被仰付候以来御役被仰付候ニ付勤候

右出府ニ付御廊下ニ而御目見仕候
一 右者大坂ニ罷在候ニ付
前之通大坂ニ而御役被仰付候尤
城代ニ而御役被仰付候ニ付被致
御役被仰付候
一 役目之儀御役被仰付候ニ付御役被
之通被仰付候ニ付御目見
一 御目見ニ付御礼被仰付候ニ付御目見
之役被仰付候ニ付御目見被仰付候
水戸殿之御役被仰付候ニ付
之通之御役被仰付候
一 前之通大坂ニ而御役被仰付候ニ付
之 御役被仰付候ニ付御目見
御役之
一 御目見
御役被仰付候ニ付御目見
御目見被仰付候
御役被仰付候ニ付御役被仰付候

申上候通

右之外 御筆ニ而被成下候様被仰付度

奉存候以上

御三家方ニ 候処

御老中方ニ而ハ御月番へ相伺御沙汰

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

尾張殿 [illegible]

[illegible]

御尾張殿ニ上 [illegible]

御三家方ニハ [illegible]

同人 [illegible]

[illegible]

[illegible]

御尾張殿 [illegible]

尾張殿 [illegible]

同月十七日

進達

一 同月十七日井上河内守殿ニ [illegible]

同府 [illegible]

別紙 [illegible]

[illegible]

御[illegible] 一人

明十八日 同府

御掛り [illegible]

同月十七日

同月十八日 [illegible] 水野和泉守

今日同府

右大将様 [illegible]

入御覧一同

出御通りかゝり之
還御之節御縁頬へ被為

御目見之席

太刀目録
松平豊後守 少将
御馬代黄金十枚

太刀目録
松平安芸守 中将
御馬代黄金十枚

太刀目録
松平上総介 四品
御馬代銀三十枚

御礼
松平出羽守 少将
御馬代銀三十枚

藤堂和泉守 少将
同断

有馬玄蕃頭 四品
太刀目録
御馬代銀二十枚

松平大隅守 四品
太刀目録
御馬代銀二十枚

松平淡路守 少将
太刀
御馬代銀二十枚

丹羽左京大夫 四品
太刀
御馬代

伊達遠江守 四品
太刀
御馬代

稲葉伊勢守 少将
綿
御馬代

毛利甲斐守 四品
太刀
御馬代

黒田甲斐守 四品
太刀
御馬代

立花飛騨守 少将
綿一百疋
御馬代

毛利讃岐守 四品
太刀
御馬代

田村右京大夫 四品
同断

松平佐渡守 少将
同断

御礼
小笠原伊予守
太刀
御馬代銀二十枚

宗対馬守 四品
同断

大村大和守 四品
同断

京極壱岐守 少将
太刀
御馬代銀二十枚

一柳周防守 四品
太刀
御馬代銀代

木下和泉守 四品
同断

加藤山城守 少将
同断

松平大隅守妹

二人
新庄周防守 同断
六郷伊賀守 同断

上使 松平伊豆守
同断

松平越前守
太刀
御馬代銀二十枚

門 酒井大隅守

松平陸奥守
太刀
御馬代銀一百枚

門 酒井大学頭

御城附
御役高二千石
松平周防守
同　松平伊豆守
同へ
細川越中守
同　牧野備前守
御城附
御役高二千石
松平大膳大夫
同　松平周防守
御城附
御役高十千石
大久保佐渡守
同　松田右京亮
御役高千石
松平讃岐守
同　酒井大隅守
御城附
御役高千石
松平阿波守
右被仰付候旨
右之外　御老中被仰渡之
四月十八日
覚

一　今日御礼書之内病気ニ付不出仕ニ付被成下候
以御使可被下置旨被仰渡候
別紙書上

己亥春以参着也
右同日付　下
同日付
四月十八日
御礼書之内
松平出羽守
岩城伊豫守
右病気ニ付不参候由

一　松平出羽守ニ者御礼も御能病気ニ付御名代
子代名之者被仰付候
両人之御手伝被仰付候

一　岩城伊豫守御名代
三之丸（以下判読困難）

一　松平出羽守御礼之義

一 右者今月八日御用人へ今日

御勝手 御奉行御役儀御免 伊勢守

披露有之候処御目見 [illegible]

[illegible]

一 今日 [illegible]

一 御使 [illegible] 御礼 [illegible]

[illegible] 相勤 [illegible]

[illegible] 相勤 [illegible] 相勤候

一 同人

一 上使 [illegible] 相勤 [illegible]

同人 [illegible] 相済 [illegible]

一 日光 [illegible]

一 御奉行 [illegible] 相勤候

以上

巳月十九日 御名 松平 [illegible] 守

御用番之間

御目見

御刀 [illegible]

松平伊豆守

一 右

御勝手 御奉行御用向相勤候ニ付

日光御宮御修復 [illegible] 水戸

中納言殿 [illegible] 上使之節 [illegible] 相勤候

以上

山田 [illegible]

右 [illegible] 三井山城守

列 [illegible]

[illegible] 八木 [illegible]

右 [illegible]

列 [illegible]

[illegible] 本 [illegible] 守

右之
御昇任 御宮位之御祝儀被仰上候ニ付
於御前御目見被仰付
一 白銀大判其外台ゟ御所献上物之所御礼
帷子一重二枚一荷ハ従之者今日献上之物
御人ニ而相済
一 明光院様
大融院様
崇岳院様
常憲院様
有徳院様
浚明院様
孝恭院様
御霊前
御参詣被遊候御方ニ而御目見相済 御列
之中御着座
右之外 御手前衆并御家来共御目見被仰付
之御拝領物御礼御老中御目見仰出之
相済候而御退出御礼表ニ而相済

次第相済候而御内々御見送候而
相済御目見相済致帰候
四月十八日
追而
一 御昇任之御祝儀被仰出候ニ付御家督相続御礼其外
来ル廿日御使者ニ而御台様より御目見被仰付
三代様え献上之御祝儀之御ニ付
御通御用掛御達之
一 右之趣之
御昇任之御祝儀被仰出候ニ付御所之御礼
之御様子ニ而御達ニ相成候
一 御昇任 御家督之御祝儀
御昇任ニ付右之御祝儀被仰付之旨申達
右之通御奉書到来ニ付御家来共并御礼
之通御用掛被仰付候之者共被仰付
右之趣
一 御昇任之節御目見
以上御目見相済候

一　右之御所ニ而被仰渡候、猶同所ニ而大久保
加賀守殿御申聞候者、右何茂謝礼ニ御老中方
可相勤旨申候ニ付、其段承知仕
候事

一　伊豆守殿御列座ニ而御書付を以被仰渡候ニ付
一　右御礼之為罷越候処、御取次を以申上候
一　右同日御広間御白書院ニ而御前江罷出候
之通相勤申候

一　御目見ニ付、巳之刻罷出候処、御名代
之趣ニ而相済申候

一　伊豆守殿
一　御目見被仰付候ニ付、御老中方江罷越候
一　河内守殿ニ而御側衆申付候段、御礼之
為罷越候ニ付、御取次を以御礼申上
申候

一　日光御用ニ付、井上河内守殿江罷越候
一　同人上屋

一　御奉行所ニ而被仰付候趣左之通
一　御取次衆を以申上候処、御用番之筋ニ付申候
申候

一　同日先
一　御在所御用之儀ニ付、御屋敷江
一　御用之儀ニ付、相済候段申候
一　九日御用番江罷出候処、御目見相済候段申候

別紙之通

寺社奉行衆之内
松平伯耆守殿
小出信濃守殿
本多弾正少弼殿
松平右京亮殿
鳥居丹波守殿
太田備中守殿

明廿日登城
御白書院ニ而
御奉行衆御列座ニ而御書付を以被仰渡候
御用番右京大夫殿御申渡候

大判服紗ニ而出状上使中奉書ニ
ニ而御預所申渡候段諸向江相達
以書付申達候段相心得可申候
右之通可相達候以上
四月十八日　大目付

今日出仕之面々
大廊下席
大広間席
帝鑑間席
柳之間席
雁之間席
菊之間席
御奏者番御詰衆御詰衆並之面々
右之御礼
　　御宴席

四月廿日　月番　松平周防守

御城ニ而於松溜席一同及旗
御目見之上
右之面々於御白洲江罷出
一今日御礼
白鋼席席　御宴席ニ而
御同役　御老中御席ニ付
御名代　堀田相模守ニ而於御座敷被仰
御席之

　　御先手之
　　御名代
　　右事御
　　右同
　　御名代相務　大目付　大坂之
　　　　　　　　安部摂津守
　　　　　　　　松平丹後守
一右御座敷
御庭之間
御目見
一右御渡方御同所於御老中出席江罷出
中納言殿上使之者御懸物被下候

以之写

一 右船用済候得者早々致出帆候様可
　申付候事

一 右之趣相守候様船中へ可申付候
　堅ク相守候様急度申付候

　掛合可申候

一 明年ゟ入港之船ハ荒荷之外入札ニ而有之候
　申付候ハヽ此度入札之儀ハ持渡候品々ハ
　ニ而此度〔 〕ハ入札之儀相改候節
　相成候得共例之通ニ而〔入〕相済候旨荒荷ニ而
　中ゟ其荷人共 船ニ付申渡候事

　此荷物ハ其儘相渡候
右之外 船中相改候而差出候

　口達之

一 別ニ而品荒物ゟ積渡候ハヽ相改可申

　荷物荒物ニ而其分ニ而

一 明之船

一 異国船為交易〔其〕港ニ而〔相〕願候得共可致[illegible]
　船之儀右船ハ積荷荒物ニ而申達候
一 日記ニ而者右村之積荷相渡候
一 九月右ニ而申渡候事相済候旨以上

　四月十八日　　〔当番〕 〔ニ〕而〔承〕之

今日御用番
右大将様御機嫌能
入御有
出御還御之節
御通之間出御有之〔候〕
　御〔座〕之間

　〔以〕飛脚
　〔申〕上候
　松平肥後守

〔附〕〔札〕
〔同〕〔様〕
〔写〕

御持筒十挺
御鉄炮十
松平大和守

同二十挺
同 織田[illegible]

同 中條河内守

御[illegible]尾

御鑓 二本
雁 同 松平越前守

同 松平[illegible]守

同
同 松平周防守

同 細川越中守

同
同 松平大膳大夫

同 [illegible]左近将監

同
同 松平越後守

同
同 松平河内守

御鑓 十二本
同 松平[illegible]守

御後 [illegible]
同 織田出雲守

[illegible]

同 中川修理大夫
戸沢大和守

御後[illegible]
松浦[illegible]守

御後[illegible]
加藤[illegible]守

同
溝口[illegible]守

同

外様五万石　森　越中守
外様三万石　土方山城守
同　十万石　溝口加賀守
外様五万石　九鬼和泉守
同　十万石　伊達遠江守
同　五万石　毛利大和守
同断　木下肥後守
外様五万石　溝口丹後守
同断　九鬼長門守
溜詰五万石　京極加賀守
外様二万石　久留島伊豫守　三役
外様五万石　片桐石見守
外様二万石　伊東播磨守
外様五万石　青木大学助
外様二万石　毛利伊豫守
外様三万石　織田左馬助
外様五万石　北條相模守
外様三万石　津軽甲斐守
同断　一柳対馬守　三振
外様五万石　上杉駿河守
外様三万石　松前志摩守
外様五万石　山名中務
外様二万石　溝口摂津守
同断　竹中左京亮
外様五万石　戸川藏之助
御無礼
松平加賀守伊勢右
八條帝二万五千石　二万石　長鍋帯刀　三役
自分無礼
譜代　同人　三振
松平銀之丞
一人
外様三万石　大久保丹下　三役

松平陸奥守家来
留守居　一人　大月履右衛門
松平周防守家来　一人　和田弥右衛門

御役之儀
御内々代　御称号より

御役之儀
御進物之節
羅　佐倉城主　水野監物

御役ニ被仰付
入御之節　御進物

上使之節
阿部甲斐守　甲府勤番　北御門
同人　諏訪安芸守

同断
同人　戸沢孫兵衛

同
同人　柴田勘右衛門

同断
同大久保　伊吹長門守

同断
同人　戸田采女

同断
同人　山崎源左衛門

同断
上方　和田弥右衛門

一　松平越前守御役之儀被仰付候ニ付
　四ツ時登城御用番ヘ
一　御進物之節右方同様出　松平能登守
　松平大和守　松御用番　同断御用番
一　則今日御用番ヘ罷出　四ツ時
　右御同様御用番ヘ罷出申候

一 於御目見ゟ四ツ時入ニ相成候
若宮 御誕生ニ付御祝儀被下置候
御用部屋ニ而於御同席中御目見入
御渡之事ニ
一 右大将様ゟ御用部屋ヘ罷出ニ度ニ而
一 御膳ニ而大和守御同所ニ而御目見ゟ御目付尾
一 御勝手掛若年寄御目付列座致し
一 若年寄御同席ニ而御礼有之候
一 仰付候ニ付御礼於御目見ゟ列座相成候
申上候
一 次
上渡御能ニ付今日御能ニ而右之通御座候
右御能ニ付御用部屋列座相成候
一 此段若年寄衆ゟ承候儀若年寄衆ゟ
列座ニ而申渡候
一 松平越前守松平周防守ゟ御尋有之候
右ニ付御用番ヘ申達候
一 右之外 御用相済退出 以上

四月廿七日
進達
一 今日御能書之内病気ニ付平常之通罷出候様
被仰出候ニ付右御能書ニ而手負ニ付右之通
申達候
別紙ニ而申上
御目付
御目付
御目付
四月廿一日
御能書之内
伊達[illegible]中将
右病気ニ付不罷出候
一 御暇被仰出御役被成候御用番ヘ申達候
右ニ付御用番ニ而御代被仰付候
右御用番ヘ山城守列座御用番ニ而申達候
御代御礼ニ付御用部屋ニ而申達
相済候
一 右之通

一 御三位ニ相成候ハヽ伝奏ニ而可有之哉
猶伝奏ゟ諸家江相達候ニ付右之趣申達候
尤三職同断之事ニ候ハヽ右伝奏ゟ可致
拝領之節
一 伊豆守殿江申達ニ而宜候ハヽ
承り候
一 御見分被為入候而各方付御人ニ相成候
一 御年寄衆御同様上聞ニ相成候
り其外ニ而も年寄并上意ニ而相成候
得共聞合之上取計可致御承知可被
成候、以上
別紙之上
松平伊豆守殿ゟ寺社奉行へ
［小笠原右近将監
本多紀伊守］殿
六月廿
来ル廿二日御参府之御祝儀
左大将様江被
一 御老中御勝手ニ進候
一 御老中御目見被仰付
一 左大将様御見ニ付罷出候
出仕
御本丸ニ而為御祝儀大御所
御目見相済候ニ付右ニ而御礼行候
大御所御目見相済候而御礼ニ
罷出候　以上
右之通可相心得候
六月
六月廿二日　本多紀伊守
伊豆守殿江差上候処御承知之旨被仰聞候
右之通
一 明廿二日
左大将様江

御本丸御広敷ニ而詰合之者共江被仰渡之
趣ニ付非番之面々江茂申渡候様可被致旨
御目付ニ申談之
右之外 御書付 申渡之
　但月番江
　退出
一 御臨産ニ付御役人上様御手許御出来
　儀ニ付御本丸御広敷御用人御用達共ニ
　上様御手許御用掛り御側衆御用
　之儀ニ付而者御役人共ニ掛り御用
　向御用申渡候而上様御手許御役人上
　大奥御用御年寄御広敷御用人共江
　申談候様可致事
　右之通申渡
一 御臨産ニ付御役人上様御手許御用達ニ付
　之儀ニ付御用向大奥御年寄江可申
　聞候事
一 御臨産 御出産之上御役人
　御誕生御祝儀上様御手許御用
　之上様御手許江上様御手許御用
　大奥御年寄御出産之上被仰出候
　御用向御役人共江可申談候様致来
　右之通上意有之
一 御誕生御祝儀上様御手許江御出来ニ付
　上様御出産之儀御手許御用掛り
一 日光御門主御書付ニ付御用向
　之御用向之儀御用達御目付江
　右之通
　　別紙書上
　　「以上参府之儀」
　　米津出羽守殿 御用掛り 御書付
　　御留守居江

公方様　御参府御参内恐悦
御老中
右大将様　御参府ニ付
御所向ニ而之御使者一ツ書
之御礼御取持ニ付当月廿四日
伊豆守殿ゟ申来候
一 御城　御通り掛り為御使者太守書
差添罷出候ニ付為聞合兼而遣ス
御城　御通行
御目見之御礼申出候　御城ニ而
之御礼申上候様申来候
候様申来
但大目付衆松平筑前守殿ゟ
御糺御相談ニ付書付罷出候
大目付松平筑前守書
北書付之通御申出候
一 御城ニ而御礼申上候

差上申候御書付之写
御用之節ハ御申出候様申達ス
正月廿二日　大目付
正月廿六日　御使者　松平伯耆守
此度之御礼
右大将様ゟ御振舞被遣候付
被仰出御礼申上候
入御披露被下度奉願候
存候以上
御城ニ而御目見ニ付
存候

御使　松平能登守
猶々此趣
右之御礼申上候
右大将様江進上

大坂町奉行
平賀〔?〕

右今般鎗奉行御同心〔?〕
列之儀ハ諸事
右之外〔?〕丹後守申合
〔?〕御用相勤〔?〕
於御右筆部屋〔?〕
被仰付〔?〕
四月廿五日

一 同日

一 御鷹匠〔?〕
〔?〕御用〔?〕
於〔?〕
〔?〕内藤山城守〔?〕
〔?〕中村〔?〕
〔?〕

一 大〔?〕

一 御花〔?〕
〔?〕

一 御鷹〔?〕
御鷹様〔?〕内藤山城守〔?〕
〔?〕
〔?〕
〔?〕
御鷹様〔?〕
〔?〕

一 右同〔?〕松平伊豆守〔?〕
御〔?〕
同日

一 今日
御〔?〕
〔?〕
御〔?〕
〔?〕

御成　還御共前例之通ニ而御目見被仰付候
御家ハ無之
還御之節両丈ニ付供所同人御目見ニ而被下候
座敷ニ而御手ひかへ之所同人ニ而前例同様之儀
之通ニ而御意有之候通被仰付候儀ニ御座候
被下之候

一 彦坂三左衛門申出有之候趣書付ニ而申通し之候

一 御目付衆書付之通今日御附罷出候処
用ハ

一 日光御之儀共并先例之通ニ付

一 八半時之前御先ニ而御目見被仰付候
別紙書上
御奏者番

御使
御精進　御家従出羽殿両丸御殿之儀
御目通り之儀申上　殿江差出置候旨
御留　還御出羽守中ニ而相済候
其外御供御目付衆等ニも持参可致事

一 諸大名当日参上之儀
城ゟ之御使返翰之節被付御掛御留守居
而ニ還御之節ハ右之儀被仰渡之趣可有
中之上差出候一切前例之通ニ候事
右之通相成候ニ付従之上申上候

四月

彦坂三左衛門
村上監物
三宅市太夫
本多備後守

四月廿四日

志摩
松平志摩守

今般上野
孝恭院様　御霊前
御名代御使被仰付候儀
御座之間

日光御名代
相済候付

右

御目見

伺被仰

堀田相模守

九ツ時揃
於芙蓉之間

大坂町奉行
平賀信濃守

御先手
水野小十郎儀

右人撰り

右於

御前江

被召出

井伊掃部頭

右為御礼御登

城被仰付

右之外

一 井上清直…

一 九ツ半時…

別紙申上

［大老老中書付写］

御将軍 御兼任相成候

[illegible]

御目見

一 還御

一 御目見

還御

右

井上…

小坂…

村上…

四月

日光門主
御参府ニ付

右
御目見 相済

堀田相模守

西丸御留守居
新番頭
御先手
水野小十郎

大坂町奉行
平賀信濃守

御役替
渡辺筑後守

右於
御前ニ 仰付之

右為御礼御機嫌伺
登城例席 御勤中 相済候
右之外 御用 相済候

井伊掃部頭

此節

一 井上河内守 ……
一 九十歳 ……

別紙申上

右 寺社奉行

御掃除 御番衆 相済
候 仰付候 見届
公方様 ……
見届 ……
御目見 仰付
一 選挙之節
御目見 ……
合点 ……
ニ相成
選挙 ……
被差免候

右之 ……

井上英様
青坂之丞
村上 ……

四月

三宅市左衛門
本多作左衛門

四月廿六日

留守居
大岡主膳正

御代官
寺西重次郎

吉川栄左衛門

附紙二ツ

右役所ニおゐて不法之儀有之候ハヽ自然治(?)諸向
同所御掛り之儀ハ諸向懸り被申付候様大岡主膳正
御達之写左ニ
右之外 懸中諸役へ申渡候事

進達

一 松平大和守殿御下知相成候処、為御見分、銅山
　御役人共差越候ニ付、御用紙同様ニ被成候ニ付
　御用向相済候

一 御普請役〔ニ〕而松平大和守殿御下知ニ付、御代官所
　御預り井伊左衛門(?)殿御預所〔ニ〕御座候

　御役人同所ニ差越候ニ付、同様御用紙同様ニ被成候

　右通之御用紙同様ニ御取扱候間、御勘定所(?)ニ而…
　今度御普請役ニ而…
　三月中(?)御代官御普請役…
　候而御普請役…
　掛合候ニ付、御用紙同様ニ被成候

一 右之面々
　御普請役ニ而御預所御役人同所ニ差越候ニ付
　候ニ付御用紙同様之通ニ付
　御普請役　御家人(?)ニ而御預所
　御預り松平大和守殿ニ而銅山御代官所御見分
　井伊左衛門御預所ニ而…
　[illegible]
　上ニ而御用紙同様ニ御通し候
　右一紙同様ニ而切紙ニ而通候
　外ニ御用紙同様ニ而…
　去ル[illegible]
　御普請役之[illegible]

当番ニ出候事ニ候

一 右同所江相揃候中山勘解由殿大納言以使者御方
共御菓子一折ツヽ被下之旨同所於南御縁江

一 来月六日出立ニ付相揃候ニ付御暇之旨御使

ニ付夫々御礼申上候事ニ候

一 日光御門主殿ゟ奉書ニ而御達ニ付相揃候

一 今日差上候節も御館迄罷出候事

四月廿六日

御書院番頭
大岡主膳正

御使番
水野藤右衛門

右之役所江能登守殿被仰渡同役中
列席ニ而下野守殿御書付被渡候

御勘定
馬場藤五郎

二條御蔵奉行
土田某儀
御用之令通候ニ付
其之通候今日之外ニ付

右者御目付之首座被仰付候
御役中列座ニ而被仰渡候

御目付
井上某

田中立河様

日
林某
御目付
萩原某様

一 岡田某様

右者御目付之首座被仰付候
之旨御達ニ付

於御殿
東某使者
西某様

附箋二

右被仰付同人江被渡書付渡
御用向之儀ニ付

右之外
某等御免之上出仕

前書之趣御用番之衆江申含御用次第
老中松平和泉守殿江相伺相済候上取次
取扱可申旨今日御用番江申含候以上

追而

一 水野左近将監御書院ニ而相達候ニ付

一 九日付之御書付并別紙相達候以上

四月廿日

南番
西尾隠岐守

民部卿殿御長女方馬之助殿今日御
婚姻之節為御祝儀御三家水戸
中納言殿より進上候付献上之品々於御廊下

御用達

松平豊後守
立花左近将監

名代
立花和泉守

小笠原大膳大夫
阿部鉄丸

名代
太田備中守
松平伊賀守

右諸向惣別尾州紀州水戸御三家江
諸御用之節御目付衆御書院江
御披露之節中納言殿御頼之節
御目見後之御礼之御礼御弓之
御目付御礼書出御人数御目見
松平和泉守殿御渡之趣以上御請書差出候事
御勝手御用相達候ニ付

右之外 御老中申渡候以上

一 追而

一 御勝手ニ而御渡候ニ付戸田采女正御目見代参
十五日松平出羽守御同席戸田采女正御名代
元右衛門御頼松平出羽守之御勤
御当代御継御目見被為遊候

於白書院一統御目見有之退出之

一 右之面々

御前江罷出候節御目見之儀先格之通被仰付候

之間御家来共御用有之候節ハ罷出候様被仰付

一 御精進 御発駕之節御供揃

御発駕之節ハ戸田采女正殿御目付衆御案内ニ而御前江罷出

右御同人江御目見被仰付候御老中之間江罷出候

中之口ゟ御家来共御礼申上候 右一統御目見

御前江罷出候ニ付御通り申上候處右御同人御挨拶有之

御発駕ニ付御使者を以献上物之儀御老中江申達候

御座之間御書付を以御渡被成候

一 右御同人被仰付候ニ付御名代被仰付候處一統御目見御目見申上

御代拝之儀右御同人江相伺候處御用番江申達候様被仰付候

一 明日

御発駕御供揃之儀御届書を以御目付衆江申達候

一 日光御参詣ニ付御供之儀例之通相済候

一 御発駕之節御先供之儀御届申上候

四月廿八日　御当番　松平周防守

今朝五時前

右大将様御両様御揃ニ而

入御之節

還御之節御供揃五半時

紀伊中納言殿

尾張中納言殿

水戸宰相殿

右御同様ニ付御礼申上候

公方様御風邪ニ付御出座無之候ニ付御名代

御目付衆を以御礼申上候處御目見被仰付

出御無之

御名代

右大将様御礼申上

御目見相済候ニ付御礼申上候

廊下ニ而中野播磨守殿被仰渡之

井伊掃部頭
松平越中守
松平大蔵大輔

一 右御三方ニ者前例御席御同人御続之
一 右同断ニ付役人廊下席御継之間御同
人分御続之
一 右御三方江御同人より使者を以水野越前守
被申上候
一 月番之御老中

御白書院

兼上
上賀茂社人
富野遠江
山本信濃

御次一同

兼上
三ツ子

本周坊

同

同断

参賀来ル

同
呉服師
茶屋宗理

御本丸二重

右之外 御手前取次衆取扱
御広敷向番之外御用有之難渋之節
御用内之者取扱御能役衆難渋之節
次之者相心得今日御用番相勤申上

返ル

一 御三家方御廊下ニ而被仰付之候段御安心ニ
一 松平讃岐守殿ニも今日也
一 城中ニ
一 若様方御側衆ニも今日也
一 城中ニ而見物不致候ニ付其段申入
一 上賀茂社人共御上之節右様ニ而申上
一 日光御門主井上河内守
一 御用番之衆相済候ニ付申上

四月廿四日

奏者番 水野和泉守

寺社奉行 脇坂淡路守

右於御黒書院溜御目見申上
列座ニ付

酒井修理大夫

右為御礼献上物被差上之間御白
中坐之下

三浦志摩守

名代 大井信濃守

嫡子 同 備後守

右者 同志摩守事病気ニ付名代之通
御目見被 仰付家督之御礼遠江守
上ニ而下之御廊下之間御廊下 御目見之旨
於同席御用番老中列坐之上被仰渡之

御勘定奉行

御錠口

柳生主膳正

右者別段別紙東海道筋川々
御普請御用ニ付江戸表差越候旨
之旨於同席老中列坐同人江被仰渡候条
御目付之儀也

御勘定吟味役

一 三五段

鈴木 吉五郎

右者御用相勤候ニ付之旨於御
勘定所被当列坐同席同人江被申渡相成
候儀也

御勘定組頭御勘定所之内

同断 御勘定組頭

三田村正之進

右同断之通御渡被下之

右者 御勘定之旨於同席列坐同席同人
江被申渡

御勘定組頭

矢田堀右衛門

金三枚

御徒頭
松下内匠
名代
佐藤吉左衛門
山田藤兵衛
名代
平岡彦兵衛

金二枚
時服二ツヽ

御勘定吟味方改役
岩田市右衛門

御勘定
長谷川新右衛門
市野茂三郎
三井清兵衛
安倉弥右衛門
松村総三郎
安田甚次郎
稲生三左衛門
内藤喜兵衛
大味平右衛門
奥山又三郎

金二枚ツヽ

御勘定吟味方改役並
中村清八郎
河野彦蔵

支配勘定
関七郎右衛門
関根弥左衛門
篠山精九郎

銀十五枚ツヽ

右者将軍[illegible]東海道石部川々御普請御用相勤候ニ付於同所御普請相勤候ニ付被下之[illegible]掛り候[illegible]被下之

御勘定組頭
服部喜兵衛

銀二十枚

御勘定
松浦伝兵衛
岩崎伝之丞

銀十五枚ツヽ

右同所御用相勤候ニ付被下

之旨被仰渡候ニ付、同人ゟ御役宅預り被成候
備前国前掛原ニ差出候旨達之候
出勤之節御目付方被差置
諸士板　藤井伊之丞
右紙面ニ而之者、被仰渡候ニ付、同人
之處、請取候紙面ニ付、備前国前掛原ニ
差出候旨達之候
出勤之節小普請奉行所
出勤之節
勤方之者被仰渡候
小普請　酒井右京亮
笹本彦三郎
右之　御目付方之者被仰渡、下野守殿
被仰渡候
御右筆代
紀伊　本郷寺
右
一 御構役　御家来ゟ御請取被成候之
被仰渡候ニ付、同人ゟ差上候
備前守殿ゟ被渡候ニ付、水野壱岐守殿ゟ相達候

案文之写壱通差上申候
右之外　被申聞候依而如此御座候以上
進呈
一 御構役之者江被仰渡候、松平加賀守殿御留守居江御渡之節
右ニ而御代官中ゟ差出候ニ付、被相渡候、同人ゟ請取候
一 紙面御請取候
一 右同人ゟ
御家来之者江被仰渡候、同所ゟ被仰出候ニ付、被仰渡候
之同人ゟ被申聞候御渡ニ付、右紙面請取
切紙之者差出候、右御請取書差出候
一 御構役　御家来之者江被仰渡候処、早々東叡山ゟ請取
一紙ニ而被仰渡候ニ付、被相渡、同人ゟ請取候之
紙面同人ゟ御目付人江差上候
一 御構役之者江被仰渡候通、此分紙面壱通之被仰渡候
之上被仰渡候ニ付、同人ゟ差出候切紙之者、同人
右同人江差出候
一 本郷寺役之者江被仰渡候之、右御請取書差出候
被仰候ニ付、大久保右京亮殿江差遣候、御目付江差出候之

通御麻ニ致配附来候事ニ候
一 御精進 御差紙ニ而請候
御差様ニ松平加賀守ら之歎ニ而大龍様ニ御
太田志摩守ら御渡ニ候
一 明晦日御上寺
御条慎御衍濟上止ニ有 伊勢御用番ニ候
一 来月二日増上寺ニ御法会ニより彼是差上候
為其来月ニ相成より伊勢守殿ニ御達ニ候
出張野宮殿ニ致候
一 日延之儀ニ付 村上監物ニ相伺候
一 九年御辻下ニ於ても相違無之候
例式之通
牧野備前守殿御渡御書付写
〔御奏者番 寺社奉行〕
大岡付ニ
山城国葛野郡梅津之郷
梅宮大明神
神主

橋本大和
右梅宮社現能大破ニ付修復為助成
洛中洛外町方ニ奉加並ニ安永
之札并奉加帳ニ而勧進請度段社家
御免之節下ニ候へ共当子年八月より
来亥年八月迄ニ橋本大和并社家
之者共出張り札配奉加並之儀相
修行之筈ニ付勧之物ニ而修行分ニの
儀候事
子
四月
右之通ニ而御渡候
四月晦日
御書 松平伯耆守
今朝増上寺
御霊前
御名代 松平伊豆守殿参詣

織田主計頭
名代
織田若狭守
中條河内守
名代
中條大和守
戸田備後守

時服三ツ

右
御精仕 御茶屋公家衆参向之節
御用向取扱骨折相勤候ニ付
差添之間ニて御老中列坐ニて[illegible]
縫殿頭申渡之

同二ツ

正月廿
長坂三之丞
村上[illegible]

右
御精仕 御茶屋御用相勤候ニ付
[illegible]列坐ニて[illegible]
[illegible]

表右筆組頭
長谷川源左衛門
表右筆
森[illegible]
山田[illegible]
阿久沢[illegible]

同二

金一枚ツヽ

右同断[illegible]
[illegible]
[illegible]

小普請組
諏訪[illegible]
国[illegible]

右[illegible]
[illegible]

一
[illegible]

両丸より前二三人ニ而出候名前書認置候
申達候
右之外　御中御役成申上候
　返上
一　明日
　両丸御目付衆へ申候
　両丸名前書ニ而廻り候ニ付御用ニ付罷出勤仕
　[illegible]
一　本月二日
　両丸名前書出候ニ付御用有之罷出勤
　助之[illegible]
　候節之通具上
　御本丸名前書ニ而御渡候御目付衆へ勤仕
　[illegible]文化十二年四月廿八日之状
　返之[illegible]
　目人之[illegible]
一　九ツ時[illegible]以上

八月御用番
牧野備前守
小笠原近江守
内藤豊前守
石河甲斐守
岩瀬加賀守
柳生主膳正
曲淵甲斐守
牧　助右衛門
夏目[illegible]

近藤[illegible]
[illegible]

牧野備中守様
押合役人中様　　松平周防守内
梅津頼平
小川武左衛門

以手紙致啓上候、然ハ今日周防守様
御本丸江罷出候処、勤仕被仰付候
西丸御供相勤候
依有之右以上之面々今日為御礼
西丸江罷出候節、御老中方并
上屋敷江罷出候、右懸御目候様ニ
可被成候、右之段申達候様、周防守申付候
自然之儀御座候ハヽ御引合可被成候
正月廿八日以上

六月朔日

六月朔日　　尚書　松平周防守

今日被仰付之
右大将様御同様御播磨守
入道殿江被遣之
還御之上、御沙汰之通、御礼之
御庭之間　　北條中務少輔
右之趣能〻被仰付候、大御番頭ニ被
仰付候
伊豆守殿御渡候写　徳川民部卿
御一札
今日之写
御役替
御目付
大坂町奉行
手代組頭
衣坂三左衛門
小普請組支配
中奥小性　大嶋伊勢守
堀田主膳正

右於
御前ニ御目見へ
一 公方様
右大将様江同
出御月次之御礼出席
御白書院
御太刀目録
御座之間之御礼
有馬玄蕃頭 寺社
先役ニ付御礼申上ル
御前ニ而上意有之
退出席申上ル
御礼
松平甲斐守 奏者
御太刀目録
御馬代
御勝手より
二席奏者番
大番頭
松平伊豆守 主膳
大河内伊賀守 内膳
御礼
献上
献上物
手綱二十筋
御馬代
同
友但馬 主膳
奏上
松平肥後守
服部備後守 奏者
御太刀一腰
献上
白銀一同
御同
医師
本庄能登守 奏
奏上
扇子
高家御前相勤
大津豊前守
御側衆様
二席奏者番
友但馬守 寺社
同 せられ九
入御之節 御通り之件
御黒書院御勝手
奏上
松平甲斐守申次 内膳
一 手綱一筋
森 資之助
一 右相済御礼之上御座敷へ御白書院西御縁頬

之叙任従一位太政大臣之旨を
御霊前江被仰上候ニ付法事中ニ而被仰聞候
右相済候而法事之節附難有旨大廣間ニ而被仰
中ニ而申達候
一 松平肥後守・清水相模守・御目付書院番頭
兼帯之面々中列席被仰渡之
松平右京大夫
水戸中将殿御使
大橋淡路守
一 右之御廟江叙任従一位太政大臣之旨被仰出被叙
之節上意被為蒙候而御中列席被
兼而御達之通可有之旨申渡候
一 為御霊前之御法事被仰出候御法事
院二種一荷を献上之御能被仰付候御法事大之間詰同人
御留守居
満誥
御留守居大番頭 又七
唐之間詰同
御奏者番同
柳原式部少輔
菱沼新八郎
高家
布衣以上諸役人 御役
法事御用之面々
右之面々法事之座ニ残り御霊前江罷出候
御老中御取次井上河内守披露之
一 右之面々御備二百疋
兎角
公方様之御膳御遊ばされ御料理之
御座敷
御料理之段御勝手
右大将様
御意之御能御席之儀此儀御目見以後之
一 右御目見法事之節相済
御目付黒田五左衛門之面々今日為法事
両丸之御祭候節御法事之御徒目付方

済候ニ付申達ル

一 諸向人并諸家江相渡候御書付之写一通
之申達ル

一 諸向人相渡候ニ付右吉田播磨守ゟ書付差遣候
書付之写二通之申達ル

一 明日御参府之儀也

一 城之御門跡御機嫌伺以参候処御紋付御用番ニ付
御用番ニ付相達ス

一 右之外 殿中警衛不相替儀ニ而以上

近江

一 吉田播磨守ゟ登城之儀ニ付御書付相渡候旨申来ル
一通ニ而候處右ニ付御用番ニ而御書付並諸家江相渡候
之同様之諸向帰之候諸向人ゟ向人ゟ申来ル

一 水戸殿御参府之儀御沙汰之節御時服被下候
城内御門江相渡候ニ付右之通御渡候旨申達ル
之候ニ付御達之趣可相心得候旨申来ル候
右之趣申達ル

一 松平修理大夫殿ゟ今日参上

城之○ル

一 明後日之儀

一 明日

御本丸御殿之儀大目付衆江相渡候御書付写一通申達ル
西丸江差出候ニ付御本丸御殿ニ而御渡之旨
西丸ニ而差出候御書付御用之節相渡候
上使列之申ル

一 西丸御殿之儀明朝御登城
西丸江御殿之儀御同道ニ而御殿御相渡
御本丸御用之儀相渡候ニ付

一 吉田播磨守ゟ書付写一通之申ル

一 日記方ゟ書付請取候ニ付

一 御用番ゟ御書付並諸家江相渡候ニ付

一 松平殿返答

西丸江相渡候ニ付以上

別紙之通

明二日於 西丸御殿御用之儀

明廿二日為御礼
御本丸 西丸江登
城可被致候
八月廿日

壱上
松平伊豆守殿江渡候ニ付書付写左之通
一此奏者番衆
寺社奉行衆
大目付江

明廿二日 西丸御能見物之面々
為御礼相越二日罷 西丸江登城可有之
御本丸江も
城之節中能相済候上御礼申上候旨可相達候

下ケ札巳後
一西丸ニ而御能之節
御目見被仰付候者共江も見物之節
御目見之面々ニ而無之御礼相済候
下ケ札無之事
右之趣可被相達候

八月廿日
壱上
大目付江
明廿二日
公方様 西丸江被為
成候道筋西桔橋より
出御 西丸山里御庭より被為
入
一御供揃五ツ時
一御供廻服紗小袖麻上下
一還御 御成道之通
右之通可被相達候
八月廿日
壱上
大目付江
明廿二日 西丸御能見物之面々熨斗目
同日御供之面々長袴 西丸江罷出候
下ケ札無之

六月朔日

六月十日　　当番　高木主水正

若君様為御祝儀於
西丸
公方様江被進御膳御銚子出候ニ付今
日御三ノ間ニ而被下候、
西丸江出仕
惣出仕有之候

一 右為御祝儀　二種千疋　御使　青山下野守
右大将様江被進之
明日御菓子被下
城之御振舞御料理被下、例刻ゟ揃候様
御沙汰

一 明日端午之御祝儀ニ付、上下着用可致候
改様之間ニ而御吸物御酒被下
城之御振舞御料理被下、例刻ニ相揃
出仕之儀可致候
右之外　御肴被下候上

一 明日端午ニ付御祝儀被下候、御例之通
相済候事

一 今日御能
西丸江御成之節、明日
御本丸　西丸之御祝儀被下候ニ付、御本丸
西丸御成之通ニ而、明日之御役人
中ニ而

一 御本丸御同金之御祝儀被下候
西丸当番江、御本丸当番
御本丸当番、御祝儀被下候ニ付、右之月晦日
御膳、且御進物之儀ニ付御目録
ニ而御沙汰相済候

西丸御留守居江も可被申達候

一 明日出仕之面々溜詰始奏者番ゟ西丸御番頭御役

御番衆も御供ニ御供之上候

一 今日若殿之御礼日同前御使衆退出之通御目

見同席之上下ニ而候

一 明日出仕之者若殿之御礼御使衆相済候ニ付長袖

被仰付候御席之上下ニ而半袴二而為御用召番頭

役者之上下ニ而候

一 若様之御様子今日不出

城之儀候

一 御本丸之御様子今朝御附衆申上　城

御成前　西丸ニ而御席御附御目見衆中ニ而候

御書院番御居間之御道具御附之通

御成前御道具御附之

西丸ニ而御用御能見物ニ付出仕被成候以上

六月八日　助番　大岡主膳正

今日於御

右大将様御前溜詰

入九御府ヶ義

退出候

一 今朝例年之通端午之御祝儀上ゟ様之

同ニ御三家御前御礼

右大将様ゟも御祝儀被

御本丸ニ上り若同席ニ御能見物被遊

松平越中守

松平大蔵大輔

右御目録

西丸御能見物ニ

御目見例之通御礼献上之為御祝儀被下候例

席ニ而入備中守

一 右御能同所為御祝儀被為西丸一ノ間ニ而

書付之通御老中方へ渡右何茂
備前守殿より井伊掃部頭中達之候趣り候
御渡之候然とも御用人中達ル

右帳
亀紙半切

酒井雅楽頭

付箋 二

一 右御揃之面々備前守殿被渡候書
御渡濟御取扱之
御目見御渡候事

城詰
御広之間御用部屋之御礼并月番御用
人并御添番被仰付候右御月番用人迄
城之御用部屋御入御別ニ御番所候

小手帳
右之外 御中触御用部屋御番之者
御書之御風聞ニ付段々御取扱被成
御勤御役御免被成候御返事
御書付御用人并文之通り御役

御渡之右月番日御書付之通り
御定者御用番致候ニ付御順達
之今日御用番老中御勤

御書付

一 御渡候之御用番大久保加賀守殿御渡御老中御用番
御老中松平右京大夫殿大久保佐渡守殿御若年寄衆
一段其之御様之御用掛之通御用部屋ニ而
御渡候御番所御酒井大学頭殿御所御小野
日向守殿御河内守殿御植村右衛門佐殿大坂井伊
和泉守殿御目付松本殿ニ而御大久保佐渡
守殿御町奉行御大坂加納大和守山
口周防守殿御本多伯耆守殿御大坂右何茂
御渡之御目付ニ而御渡候旨御用所
相成御用番之御達之

一 右之外之

一 御渡候之御用人衆之御渡之旨御義存
候之御用番御渡御勘定奉行御通達之

一 御書付 御渡候之御渡候

御霊屋江ハ大久保加賀守ニ而翰一箱御備代ニ子
足松平右京大夫稲垣信濃守酒井大学頭
水野日向守本多河内守稲垣安藝守丹
羽加賀守打木大和守大久保佐渡守土屋
但馬守堀田備中守加納大和守山口周防守間
部主膳正翰一箱ツヽ右何茂御使を以被差上之節
ニ者其外御備并御有之通被成候
一 御簾中様ニ者御役人を以御備
一 御簾中様　御霊屋江ニ者御役人ヲ以御備御霊屋院様御前ニ備候
御簾中様ニ者ニ而御使を以御霊屋院御備御霊屋一箱
ツヽ渡御霊屋院様御備ニ而三千疋一箱ツヽ宛昌泉院殿御霊屋
院霊屋院ニ而昆布一箱ツヽ御使御差上ニ付
日向守御霊屋右京大夫ゟ翰一箱ツヽ御使を以差上之
一 御簾中様ニ者ニ而御役人ヲ以御院へ昆布一箱ツヽ御備
院様御霊前ニ者三千疋一束ツヽ御使を以差上候所も
相済候而御霊屋其外御備物之御御使ニ而御差
同様其外御大切御通御座候所ニ而又御礼
被成其外御用日御座候旨御一統御申達候

今日御用中之儀此度

御霊屋江ハ御上納ニ而右御役人中ゟ御達
之處ニ而御座候ニ付被仰付候

一 御簾中様　御霊屋江ニ者御役人ヲ以御役松平出雲守様
大坂東町奉行様より御霊屋江御伝御張子一折
右之御品ニ者御使を以御霊屋中ゟ御役人御用
之儀

一 御使者を以御霊屋へ御用之儀被仰付候
一 西丸御目付御代官御役人者席ニ付
一 大夫御役ニ者御上ニ而御役人御用之節ニ付上之御用ニ付入用ニ
付御役之御用御書付ゟ同人并御勘定方御用之節ニ付
一 御目付御役之儀御通御座候ニ付御用御座候松平和泉守殿
御役御役御用有之候旨ニ而右御役御役人ニ御用
御役ニ付御用之上ニ而御役被仰付候ニ付御用之節ニ付者
右之通
一 城内御掛り中之御勘定ニ付
一 御目付同人御役之通今日御役御用取締御役之上下役
着用之

一 昨日同人江差状之通酒造方始末之儀ニ付相済候
一 明日池伊勢殿江此九日之儀ニ付申渡候様御下知ニ付相届
此段御老中方江申達候処右御指図ニ付右之外
一段之通申出候事
一 今日
両丸御附御番衆之通相済候ニ付御朔
御本丸御附番衆之通相済候処文化元年
八月朔日差状返上候様有之候得共
両丸御附一
御本丸御附一同承合申候処御沙汰可有之候事
之事
一 日記方之書付見分之上可差出候
一 北町奉行所江御番衆相渡候旨申来候
一 同所役人共江申合候旨
両丸之御礼之儀[illegible]

六月四日　南番　松平丹後守

今日於御附
右大将様御指揮被仰付為
入九時前出御
還御八時
御庭之間
宮内之内　池伊大和守殿
御肴一籠
御酒二樽
黄金二枚
御馬一疋代栗毛
御役賞　松平[illegible]　腰新[illegible]
差添[illegible]
同人
右
御前ニ而　御菓子
右松平[illegible]
御菓子之通御役料[illegible]

能美若之間同所中引替御書出被成候
渡し
一 浅田新法記之古形跡被御写書院而出候
鄭作成中ニ者有之候間ハ
一 浅保廉法ニ相成候処之者諸事書付ハ
宜しく者書出候ハ

支配勘定
往古役 原田又四郎
右大坂表ニ而成組頭へ被申付其節之
三月三日之旨被仰付候御貴人ニ而御縁者ニ
拘り義之棟梁役之者引受候得共御座候
可差遣旨被仰付
一 当平蔵ハ当分宿役之事ニ而荷物之漆器ニ
為法記ニ而相済候ニ付国許江差上ケ候之能
様之同所貴人に被仰渡ハ
一 昨日御年寄ニ通り掛り手之法記有之上
法同人へ御掛り江被仰付候
一 当同人へ差遣し 城之判決同人へ申渡ス

又同所有之者ニ而添書有之
右之外 破申付候而来候也
返名
服部備後守
右之勝手方有之勅旨能新書所面御目付
ニ而申渡候也
附紙之
林 大学頭
右之度法親候ニ付賀茂文書之儀能書出
下ケ候也

同 二日

備考
古賀源助
名代
古賀小太郎
依田源左衛門
塩谷金之丞
同見習
古賀小太郎
植村左兵衛
右同断ニ付御前ニ而有之義御座候

拝借被仰渡候覚

一 御暇被下候ニ付、去ル寅年大坂加番被仰付、御
番方之儀者、当年迄十ヶ年相勤候ニ付、猶
又此度御褒美被下候、右之外、御加増并大和守殿
江茂御沙汰有之、其上御役料并御足高、丸鬼松前殿
被仰出候趣、御沙汰之旨御渡被成候、依之
願之通被仰付候、一ツ書之通被仰渡候事

一 表之通

一 御暇之上、去年御役御免ニ付、去ル寅年被仰付候
儀ニ付、同様御手当被下置候旨被仰渡候

一 御用懸　御番頭ニ付御役御

一 御書付之通、御聞済相成候、大坂表之儀、銅座御用代
り之儀ニ付、大和守殿御談之上、銅座吟味役被仰付候、殊
に御勘定奉行御談之上被仰付候旨被仰渡候

一 御持筒組御役料并御手当

一 御用状　御書付之通、右御役料不残相渡候
御用状之儀、大坂御勘定奉行ニ而御渡被成候
申上候処、右之通被仰付、銅座御役御免之儀、大

御沙汰之通被仰渡候ニ付、右御用向、御聞済相成候
之御勘定奉行御談之上被仰付、右之通御心得
可被成候旨、御書付之通、大坂御蔵米、御勘定奉行衆
御書付之通相心得、被成候様、御勘定奉行衆、御聞済
申上候

一 御書付之趣、委細御申上候、右御用相済次第
御沙汰有之候旨被仰渡候

一 御目付

一 御役料之儀、御渡被成候旨、御勘定奉行衆へ
御沙汰御座候ニ付、右之段御聞済相成候旨被仰渡候

一 通用之儀、右之通御聞済

一 日記之儀、書付并上候得共、御渡候

一 御金附之御儀、且又御張紙之通、御沙汰之上

六月六日　御当番　本多豊前守

端午之付御祝儀如例年首尾好相済
申候

一　今六ツ半時過
大将様両御構被為
入御白書院大広間江同
出御退出之節之
還御之後御済之上相延候

一　従桂門大手殿江城附ニ而茶道席下
御番之者迄罷出

一　明六日府之上相模守を以御礼ニ罷為
成候旨伺済之事ニ候

一　右之外　取計候様御内意有之
被仰出候之外御用有之御取計御内意
松平和泉守殿より被仰渡候趣申
諸役人共江申渡候様被仰聞
両丸当番中和泉守殿被仰渡候中風聞之

上意趣之義御取計御内意松平和泉守殿右
之通被仰渡
御本丸御当番諸向江御沙汰被成下
之通申上御取計之御沙汰有
及返答之御取計之通
御本丸御当番相済申候
両丸御当番之儀ハ御心得之事

追而

一　松平評定所掛之役披露候

一　組頭院掛り向披露例之通御当番江申上

一　添申候
附属方御番之候ハ其御取扱方被仰付候以上

六月六日　南番　大岡主膳正

今度之段西丸揃持方共与通達子届
之趣為
成候

寄合
松浦唐之助
近藤常吉

右両敷御加番被
仰付之旨被仰渡之間諸事申付候
差支候儀無之様年寄衆侍其大
目付江申達不参候ハゝ来ル十書付持
仰付之間申合セ勤方之儀書付可被相
渡候

菊之間
縁頬

御先手
植村帯刀組
小笠原丞三郎

酒井□□□之枕
名左衛門実子惣領
榊原吉太郎
名代
内藤□和三郎
安藤対馬守□□
松平□□実子惣領
稲葉右京之助
名代
丹波顕之丞
成田江助之枕
庄左衛門実子惣領
橋本新之助
松平石見守之枕
□□三郎嫡子
高木太作郎
向人者之枕
大和守嫡子
小出猶次
田沼主殿頭殿
丹羽□□実子惣領
前田熊之助

表右筆

二条殿家来之忰
御右筆実子惣領
清水次太郎
堀田主税支配之節
表御坊主
岡部茂次郎
二条殿家来之忰
相良隠岐守組惣領
加藤吉次郎
養父
中山兼太郎
松平石見守支配
文太郎実子惣領
渡辺熊之助
小普請組之内
平御徒
三橋幸之助
相模守支配内目見之忰世話役
御右筆実子惣領
上村弥左衛門
御書物奉行

元御奥実子惣領
天野良雲
御数寄屋坊主
宗和実子惣領
横山宗泉
御数寄屋坊主
右之 御目見之者御門入之御役之列
庭御門番
組頭之面
頭同
吹上奉行之支配
御徒目付実子惣領
岡田調之助
吹上奉行之支配
右之 御目見之者御門入之御役之
御庭門番
右上方御門之御書院不来見分奏
御役書付仕立候間御用候節差出
全
附渡二段
中村槌次郎
御勘定

之節旅館ニ而新規御殿相設ニ付同人江
段之小笠原遠江守殿を以被仰付候旨御勝手懸
可達候事

一 御老中列並被仰付候書付之写を以相達
之候得者
右之外　摂津守殿ゟ此節今日
御用懸
御城中ニ而之通被仰付候ニ付以後
本書者当月之書付を以代合ニ而相達

追而

一 御精勤之節被為召御使者を以摂津守殿ゟ
候段遠江守殿以而御目見式御下知之旨
之趣ニ而同様之儀一紙目録を以御渡之
御勝手懸摂津守殿大隅守殿並列之御書付以御勝手方へ
相渡之候ニ付私共同様之儀一紙目録を以

一 右之通ニ而

一 御勝手ニ而御勝手方以後右之通ニ而相渡候
之由来御勝手方切紙通達之

一 御精勤　御勝手ニ而相渡候
御老中様ゟ御勝手方御勝手摂津守殿ゟ銀一枚
御勝手代ニ而摂津守大隅守殿ゟ銀一枚右之通被下候
右之通ニ而御勝手ゟ相渡候目録切紙を以通達
之候ニ付右一紙目録切紙之通相渡候
之以様御渡候以上

一 御老中様之御勝手ゟ御勝手方目録を以相渡候
御勝手方へも相渡候

一 本丸ニ而御渡之

一 御城ニ而御勝手方ゟ同様之儀
日光方ニ而摂津守殿ゟ相渡候

一 本丸御勝手方ゟ御勝手様御勝手方ゟ相渡候八木本
之節御勝手ニ而代合相渡候以上

別紙之通

出奔之者

東山十二月大溜御用之節之時

御霊屋江

公方様　御来諸御殿之出趣

御霊屋江
右大将様　御参詣ニ付
供奉之面々御列之通相勤候
尤之儀ハ書付今明日中　御渡
御目付方江可被差出候
一　御成　御道筋前日夫々番所江
之番之面番之御列不及出勤候様
番之所
御成　御道懸
御見通之面々者是又御列之
被為出勤候者御書付之通相心得可申候
但大手内桜田両御門之番并外桜
田神田橋御門之番所江大手桜田組
大手之番之面番非番共不及出勤候
一　御列之御成出勤有之候得ハ以後
差出候之儀ハ御本丸江御目付方江
罷出可申候事
六月二日　　大目付

同日
居残　本多安芸守
御機嫌能大府前江御出
還御後
右之外　服中等ニ付不出候者主殿頭
南番方相勤候居残之節松御出候者
届方之儀者御用日致出候者御出掛之
方ニ者御出候御用之今日
右大将様御子之御上ニ落
成候旨ニ付　供奉之面々居残之節松郁
御成之儀者夫々文之通居残之番
被仰渡候者申上見文居残之番之儀
ニ付御見之通
御本丸居残之番相勤之者相勤
西丸居残之番之儀者御心得ニ而申上
候

六月六日

一　下総之段
　　遠所渡船御用被仰付候旨
　　　　　　　　　　　　退出

六月七日

　　　　　　　　　　　　　高家
　　　　　　　　　　　　　　松平土佐守盛
　　　　　　　　　　　　　　松平駿河守
右者伊勢外宮江御代参之間法
高家席ニ而申渡

　　　御書院番
　　　　水野左近
　　　　飯塚十左衛門
　　　　石川秋家
　　　　大竹源右衛門
　　　　榊原五郎右衛門
　　　　有馬左衛門
　　　　堀内膳
　　　　安藤源右衛門
　　　　岩田左衛門
　　　　戸田門之助
　　　　大野十之進
　　　　村上主計
　　　　日向織部
　　　　荒井兵右衛門
　　　　落合平八
　　　　大岩数負
　　　　久津見又助
　　　　安藤一学
　　　　戸田七内
　　　　桜井兵之助
　　　　向井主水
　　　　生駒登
　　　　岡部内記

久貝又三郎
長田求馬
平岡宗五郎
石川勘解由
柘植龍之助
安藤小膳
山口勝之丞
堀尾左門
酒井大膳
井上甚之丞
安藤彦之助
大園金之助

右者初而罷出
御膳一膳ニ而下ル
退出之節又右御取物ニ而相勤候旨被
仰付候旨中越有之候
右者等右衛門

一 同八日上野

厳有院様 御霊屋
心観院様 御霊屋江御参詣
御参詣ニ付法事御拝有之右中門迄外
御中ニ而
右之外 御中番被出之

進上

一 御将軍様御参詣ニ付御規式之通上番御側衆
馬代銀子一枚宛差上之御目見同様之相済一紙
目録ニ而被仰付御規式安藤事前紀伊
同道入来ニ而御目録別紙回状之通相済御書付諸
子一枚ニ而差上之御目見御目見相済一式目録
之未上認之[illegible]ニ而御規式安藤右衛門安藤
一将軍様御目見之者ニも右之通御書付
諸子一枚ニ而差上御目見御目見相済御目
録認之

一 右之外
御参詣之節御目見以後差上之相済
候ニ付右之通来り御目見之通相済候

一　御精進　御忌日ニ付被成
御養様ニは先達而御機嫌を安藤帯刀ゟ久野
伊織ヲ以御一家ニ而何而申渡候ニ付
候中ニ付而兼而申述候物之内ニ而右一紙
同様之品切而差合之通今日ニ而差出候処
京都ゟ当日迄ニ付而伊達遠江守殿
より申達候之覚
城ニ而私御当番ニ付右之趣御伝達之上差上度申
達ニ付覚
御養様ゟ被仰上候ニ付御役之者ニ而中
達候処御承知被申候
一　去ル三日御年之処御役被成ニ付今日ニ而御届
相達候御役目御用相済候段申上候ニ付而
中村右衛門殿を以御左様申候段御届被成候御通
月寛政之年五月廿八日中合之御達之旨
御当番ゟ被申渡候御役人共御中一ニ而相済候
御役人ゟ御沙汰ニ付右御役人ゟ御役人へ申渡候
一　明日上野御成

一　御参詣御用人之覚
城ニ付御役人ニ而御附ニ而有之御用人共へ申達
御役之御役御右ニ而今日之覚
一　城ニ而見廻之御用ニ而申中川殿御別ニ申達
日々御当番ニ而御書付之覚又明日ゟ相渡
一　外ニ御附之御番ゟ御成ニ付御役人へ申達

六月八日　当番　西尾隠岐守

一　今日御天気ニ付
御成之御沙汰之旨有田指引ゟ申来
一　上野
厳有院様　御霊前
御名代土井大炊頭殿参詣
一　今相門所
浚明院様　御霊前

御名代青山下野守承諾　松平駿河守

右為御法事御名代被差遣之間法
要中御名代

一 御城江御使者ニ而御法事之節水戸中将
殿江差遣候御礼謝之間御御申上候
出候御

右之外　殿中御用不申上

進物

一 御城江御使者　右平様江御機嫌伺
一 御同前御手前ヲ以役者遣候之間御申上

又月九日　南書
阿部伊勢守

松平駿河守

右為御法事御名代被差遣之間法
要中御名代

附帳之　御勤役書付
柳生主膳正

右之者大名衆之内右勤役御役奉行
御法事之節御差図之御奉行列ニ付
御座敷御差図役之儀

右之外　殿中御用不申上

進物

一 御精進之節被召候御膳奉行之役ニ而御法事ニ付被仰付候
右御用者被差添之節御礼申上候
右様御用御候

右同人へ

一 御香奠之節御納御品之儀被仰付候
之者御申上候

一 御精進　御香奠之節
御先様之御同人へ以御一紙ヲ以御申上
之節中之御香奠之儀御申上右紙面
御中御大之通御申上候之御紙面
城中之御役中之紙面御申上

下ニ而於御白書院御目見被仰付候旨申渡之
御奏者番より之勤上覧之者可申付旨申
達之候段及言上候
一 日記方より書付并上使之列ニ而相渡候
一 御書附之通申渡候旨被進之尾張殿以上

六月十日　当番　松平和泉守

今朝上野
常憲院様　御霊前
御名代酒井雅楽頭被相勤候ニ付
　　　　　　　当番法印
　　　　　　　奏者番
右之　御目見之者御礼申上ル　鳥居伊賀守
中列之御老中申渡候之旨被申渡之　若年寄

席次覚
　　　　　於御座之間被仰出候
　　　　　　　　　芦野中務
一 右於御前同席申合候旨被申渡之
一 二條在番被仰付候松平紀伊守江相渡候大
　　坂御城代大坂番被仰付候旨申渡候大
　　嫁取候ニ付相済候旨出座
一 林大学頭同道ニ而讓状有之候例
　　席次之通被仰付
　　右之外　御城中替儀無之候以上
　　　　　追書
一 讓状願之儀加役者御用有之節者伺之
　　節之席ニ而相渡候旨申達大目付江申達
一 右讓状之儀
　　御当日々不申也
一 城之儀是迄之通
一 前川之日記帳より申
　　御目見被仰付候旨差出候事

一　九半時之御番之處罷退出仕候以上

八月廿日

当番　水野和泉守

近代参　松下内匠

天保頭代　布衣　御目見之節右衛門新番組

表ゟ

郡山中列之御番之處ニ被渡し

非番

松平飛騨守殿ニ

御代参二之丸　岡崎帯刀

同

南部大膳大夫殿ニ

同断　下田乃監

表能樺之間ニ而貴人以渡方書渡

年頭物御勤し

一　明廿二日

公方様増上寺

台徳院様　御霊前

文昭院様

有章院様

惇信院様　御霊前江

御参詣

大納言様紅葉山

惣御霊屋江

御参詣ニ付松平大和守井上河内守

中之刻

表之外　廠中整候而以上

以上

一　出仕之者之書付を差遣わし

一　明日増上寺

一　御参詣御番之處

城之刻限御参詣前有之候

中之刻

一　九半時之御番之處罷退出仕候以上

別紙書上

此度奏者番衆之内
本多豊前守殿
西尾隠岐守殿
大岡主膳正殿

明十一日増上寺
御霊屋江御拝
御参詣ニ付御沙汰列ニ而勅使
御掃除御奉行之間大久保出雲守殿
限り不逃取寺中威徳院ニ而
被御掃除御奉行ニ而御差図候
従成河内守ニ申上候右様相成候

十月十日　大岡

此度奏者番衆之内
水野和泉守殿
松平右近将監殿

明十二日紅葉山
御霊屋江

東叡山様御拝
御参詣ニ付御沙汰列ニ而勅使
御掃除御奉行之間大久保出雲守殿
限り不逃取寺中寒松院ニ而
被御掃除御奉行ニ而御差図候
従成河内守ニ申上候右様相成候
此段申上

十月十一日　大岡

十月十二日　高家　松平紀伊守

今日紅葉山天海御社
御成ニ付御名代中川飛騨守殿

一　増上寺
御霊屋
御名代松平伊豆守殿参詣

一　御成ニ付御名代松平出雲守殿

被為在候ニ付龍淵島之間海岸
候旨申上候
一 江戸御列之節者書付を以申上候通
ニ御座候
右之外 御手当筋等申上候
以上
一 御城江出候節 御平服ニ而被為入候
一 御用番御老中御宅迄御出之由申上
別紙之通申上
正月廿六日書付
肥後守殿大坂御列之場之事
御霊屋江
公方様 御参詣御供之趣
御霊屋江
大将様 御参詣江
御附之面々ニも御列之節被仰聞候
右之段被申上候書付今日之江戸河
内守方江申上置候

一 御城 御道筋且又大名之書付
之書之前書ニ而御列被仰聞候
書之旨申
御城 御道順
御見通之處御座候而ニ付ニ而御列
之者被仰聞ニ而御案内書付可被
差上
但大手内桜田馬場先大手書付外
桜田御門桜田書ニ而右大手桜田
但大手之書ニ而前書之振者之御列及
被仰聞
一 御列下被仰聞有之候御座候
差出之候河内守方
江申上置候
八月十二日 大円

六月十七日　当番　西尾隠岐守

御用掛
作事奉行
奥村源六郎

御礼被仰渡
久須美六郎左衛門儀
勤方先之通可相勤旨被仰付候段申達ス
御役向之義ハ大目付江可申達候

右之

御用日ニ付登城ニ而
御用相済候ニ付老中御用部屋江相伺
候処

右役不足ニ付御普請方
請負人ニ付致旨被仰付候儀差遣候

時服　二
御代官
男谷彦四郎

右ニ付

一　昨十八日大時計之儀御修復
公方様御上覧

御霊屋江
御参詣
右大猷院様御霊屋江御参詣ニ付御成
惣御霊屋江御参詣
御参詣ニ付御中門外平伏
右之外　御奉行　御目付御同役
被仰付候今日罷出候旨被仰上
退出

一　寛永寺[illegible]御寄附金之内銅一ケ年分
勝手方勘定奉行江相渡候様[illegible]
[illegible]御張紙之趣[illegible]申渡ス

一　右同様[illegible]伺書差出候ニ付
御修復之儀[illegible]御沙汰有之候ニ付
以後者御[illegible]申渡候様[illegible]

一　右同様伺書[illegible]

一　右同人[illegible]
御普請[illegible]之儀[illegible]
[illegible]

一 御精進 御葬送ニ而結構
御霊様ニ者右同人ゟ御綱一筋被遣候ニ付其
旅中ニ而御葬送諸取計物理ニ而在之候間
御式部丸之通被受申候処世話深く存れ候
御霊様ゟ數日之勘考ニ依而御礼申上置
此度其段御深切之御式被遣候ニ付
一 此段ニ而相済申候右段々書付ニ而写二通ニ而有之候
一 明日墓上参詣
一 御参詣御寺ゟ相成申候
城ゟ御判ニ而御用中ニ付如月御用番本多佐渡守様
中務大輔
一 同新右衛門ゟ書付持参上置候御間ニ而者相済候
一 九日附之御尊墓被成候御返書ニ而差上
別紙此ニ上
御朱印之書面之内
松平御葬書被
松平出羽守様
大岩主膳正殿
明十四日 墓上参詣

御霊屋ゟ御礼
御参詣之節御様御列ニ而御歳正勅使
御様ニ付右御名前大坂御右筆
御分不遅御供年中御法院ニ而差出
御様ニ而被渡候御用人参詣之節
御前御用番ゟ被仰付差上
九月十六日　大岡伊
本上
御朱印之書面之内
水野和泉守殿
西尾隠岐守殿
明十四日 御参詣中止
御霊屋ゟ
右大将様ゟ御使
御参詣之御行列ニ而御歳正勅使
御供様大府ニ而御右筆大坂御寺
右判御名不遅御面様ニ御内
下御歳正様ニ而被渡候御用人ニ而候

右ニ付御取計御同意ニ可申上候
以上

八月十二日　大目付

八月十四日　当番
高木主水正

今廿四日増上寺
台徳院様　御霊屋
文昭院様
有章院様
惇信院様　御霊前江
御参詣ニ付御成掛御先附之面
還御ニ候
御成之節御例席御届之段
御目見仕候
還御之節者座敷ニ而罷出候

一 還御御座所御供揃済ニ而御玄関ニ相詰
中納殿ニ而ハ表御殿御奥向之御向拝
前ニ相控罷出候
一 右御用掛り役々御用相済候ニ付
罷出候御席ニ而相伺人罷出候
一 右ニ付御下ケ之御書面ニ
職之者ニ相渡候所御手人并御頭御役々
御役所之御間ニ而御勝手相詰候
一 御尋之日同席之者御見ニ者不罷出候旨之
人々御書付御達人数ニ而御書面
御書上候節者同役合候旨御達候ニ付其段
上相尋十二人ニ而罷出候
高木ハ病気之御断人ニ付御届書差出候
中ニ差上候
右之外　御取締之儀ハ御沙汰次第
以上
一 右之御書面御渡御座候御書付御達ニ付相伺候
月番之者ニ申達候

一 此日
西丸御留守居江松平和泉守申渡之節
西丸南御書院番組頭江右之通申渡之
一 同断中御目附江も同様被相渡之
一 御目付江申渡之其外御目付衆江も右之通相達
下役之者共江者御目付方ゟ相達候由
一 同断右之通相達候様可申渡事
一 御徒目付江右之通書付を以相達之
一 同断右之通小人目付江も相達候事

別紙

五月十二日
御黒書院
仕切大広敷?次
加納大隅守
御書院番組頭
右出座
御目付御書院番組頭並大番頭
御目付
御徒目付迄罷出候様

清水ゟ御使之上之方御郭中ニ而之上
御書院番組頭並大番頭江申渡之
仰含之 御目付江

五月十二日
南書 本多豊前守
今日御用召之
右大将様御鷹狩御当日ニ付
入御ニ付御本丸ニ相詰候
還御以後
御庭之間
少?? 井伊掃部頭
御書院 御目付
同 松平越中守
一 公方様

右大将様江同
出御目見之御礼申上候
御白書院

御奏者 御老中
其外諸役人
諸役人

徳川大和守殿嫡子 引合
加納大隅守 奏上

徳川大和守殿御名目録御渡
御奏者御渡御礼様之通
御奏者役御奏者引合之上
太刀目録御目見之御礼申上候

全馬代

中奥小
御請之御礼

一 御綱一筋

松平[illegible] 御奏者

御奏者役御役目御礼
御奏者役御披露御奏者中奥
之通申上候中山

御請文包

出座

本多下総守 御奏

同断

用

酒井[illegible]守 松奏

使者

御礼申上候
津軽大隅守 出奏

御奏者之御礼
三浦備後守 奏上

御請之御礼
三浦志摩守 出奏

名代
土井佐渡守

御番 御目見之
御請之御礼
保科越前守 奏上

御御紙
御奏者[illegible]
全代

御奏者 一腰
御請文包
全 二枚

全 [illegible]

御請文包
披露之代

御奏者

同断

御奏者
使者 奏上

御

伝白院
使者 奏

出座相済之旨
同断

松平陸奥守使者
大内對馬
自分之御礼
同人
小紙二束
二種一荷
紹紹二巻
続馬代
右同人様
奏上
二條御殿御使
同御殿御家
平岩右膳
火鉢十箇
一 本多中務大輔使者之内其備前守納
能御白書院御縁頬御老中列座
被仰
右之外 被申聞候由申上
一 今日御礼書之内御名代之御書付御前之廊下
林御目付衆御渡ニ付御書付之写差上申候
別紙差上
御奏者番
大目付
御目付
今月十五日
御礼書之内
三浦志摩守
御代松平河内守
一 京極[illegible]
御渡之上[illegible]
御目見之上御縁頬同様
一 松平川越殿
一 御家臣御礼之儀御目付衆へ相渡
御目見出立御付衆
一 日光御名代之書付并之御列ニ付相渡候
一 四月御名代之節御目付林御目付衆へ相渡申上

六月十二日

寄合　松平主殿頭

小普請組
朝比奈河内守支配　成瀬主膳

荒川大膳支配　城与一郎

松平右京亮支配　山高三左衛門

名倉左京支配　河野杉之助

酒井与左衛門支配　川村主平

堀田伊勢守支配　佐久間兵部

依田豊前守支配　山岸鉄吉

大河内肥前守支配　山中平吉

右
西丸御書院番組入被仰付旨有之
人ニ付　御用之旨御目付衆ヲ以申渡
趣ニ付中川飛騨守役所江罷出候
ニ付於御目見之上当年中於水野出羽守
御免

一　明十三日大猷院様御佛殿江御参詣山
御文并
大猷院様
浚明院様　御霊前
厳有院様
孝恭院様　御霊前
常憲院様
有徳院様　御霊前江
御参詣ニ付　御老中中川飛騨守
御中奥ゟ
右之外　御中奥御小姓衆迄

覚

一 松常寺江麻上下ニ而御使札ニ而
銅一貫文被下候ニ付寺社方ゟ御礼申上ル
紙目録ニ而御布施被下候ニ付[illegible]
一 御納戸ゟ御使者松平[illegible]
御寺御目録[illegible]被下候ニ付
ニ而御目録一紙目録ニ而被下候

一 御寺院ニ而御使者[illegible]
一 有日人分
用意[illegible]御布施[illegible]
一 御納戸 御[illegible]ゟ御使者
御寺院ゟ有日人分銅一貫文被下候[illegible]
御中[illegible]
御寺院ゟ[illegible]被下候
[illegible]
一 有日御参詣之節
御参詣ニ付[illegible]

城ニ新治郎ゟ[illegible]
中[illegible]
一 日光御門主[illegible]
一 此度[illegible]

六月十三日 御書 本多[illegible]

今日東叡山
御参詣
大猷院様
浚明院様 御霊前
厳有院様
孝恭院様 御霊前
常憲院様
有徳院様 御霊前江
御参詣[illegible]

還御之節

御成　還御共御廊下御会釈

御目見之節

一　還御之後為御礼御機嫌伺御家老
中御役人共御年寄を以被申上御目見相済候
御帰ニ付候

一　大納言様御使者御出被成候節
御出座御廊下ニ而御目見被仰付候

一　大納言様御内使御

一　両大納言様御書御出之
城代并御目付御役人以御使御鏡餅御年寄
御席ニ而御同席御祝儀申上候ニ付
御目見之上御酒御禄ニ而御札之節承
御座之上二御襖大之間ニ而御目見被仰付候
大納言様　御中御能御出ニ而御参
御菊書之外御用有之被差遣御
御松御盃被下候ニ付御礼申上
御意有之　御留守居

御出之節ニ而御使被下御
右御使者御門ニ而候之御出迎御
御座之上御能御目付衆御取次被申候
之御座被下御付御能之御弓御鷹御
前之間ニ而御酒之御座被下候ニ付御目見
之御弓御鷹被下御祝儀被下之分
勅使之上

返答

一　御中丸御書付之
両丸御書付ニ而御勅使今日御暇衆
之御会ニ被御使衆御内林侍従ニ而御返
一　両丸太守より御返状之不及御答ニ付
之御内御面倒存候旨申上
一　右御使御門御用申上候分
城ニ付御目見御出之御出之御座
一　日光前より書付村上御目録申上候
右御使之御用申上候御返事申上候以上

六月十八日　当番　大岡主膳正

一　今朝御附
右大将様御機嫌伺大廣間御覧被為
入遊ばされ候之
御部屋にて御側衆御老中

一　明十九日
御使出人ニ而右者御備相済出仕
候事書付相渡候ニ付
御使先ニ而御渡候ニ付御出座之
右者遠江守へ申渡ス
右之外　御用番ニ而伺之上
　　追而

一　織田左近将監儀御仕舞相済候ニ付紬
一反被下之置候ニ付御前ニ而被下候一統同様
被下候御品御使其外御座候

一　御持筒之組頭京極［illegible］御礼之上御使へ
御老中御用之儀被仰付候ニ付向掛り
一統同様御座候

一　右同人へ
御前ニ而被成下候御品之内被下候旨被仰付
被仰付候品物被下候

一　御持筒　御前ニ而御礼被仰上候

一　御前様ニ而右同人へ紬一反被下之置
被下候御品物被下候ニ付御品物被下候之上右同
同様ニ御礼被申上候ニ而相済候
相済

一　御前様ニて献上物之御用田安殿へ差出
差出候御差出候事

一　今日
右大将様　御前ニ而御奥ニ而御留守
一　御用之儀御申上候
一　旅奥御用御座候ニ付御中之見物候
一　御用之儀申上候
一　日光御参詣御上使被仰付候

一　加印済帳面差上候ニ付御請ヲ以申上

別紙之通差上
以奏者番ヲ

御使先
一人

明十九日四時
御城江可被罷出候
八月十八日

八月十九日
奉書　松平左近将監

御届三通

但
徳川奉行殿渡之

加納大隅守

右龍翁差上之圓以御礼申上列
庭済帯ニ而江渡奉書差上候様仕候

相済願之

上使山北御番
佐竹徳寿丸

右母龍翁願之通
御聞済之

右之外　披中勢殿家来以上

返書

一　九龍翁卑ニ而不肖殿様未々為御礼一箱
一箱以渡之上ニ而龍翁下掛之請一紙
同様ニ而尚帯ニ而候上以井伊様旨申候
一　御用役之以様成候并阿波守殿未々以渡之
御老中之代銀子反差上之龍翁之同様之
請取同様ニ而右御門江以様成右門衆高
段階外右之以渡之同所差上之龍翁同席
掛之請取同様之未掛金ニ而右同所
以様成毛利右京様阿波守様外徳山本下宅
右帯阿波守殿右様以渡之御老中代
銀子反ニ而差上之龍翁同席掛之請一紙

同役江之

一 右之面々

一 御霊屋江被成御参詣以後も是迄之通
被仰付候間其旨相心得可申候

一 御精進 御霊屋江御参詣

御霊屋様ニ而蘇井隠岐守参詣 御名代相勤
一 右之外以後も是迄之通差上し 御番所
東西御番所一統御引渡しニ而御同様ニ御座候
合而通達之上以御書付を以相達候
御霊屋様ニ而 御名代者御勤番相勤ニ付
遠江守殿相番ニ而相済候

一 加納大隅守御附ニ而是迄之通相勤候
同役申合之上御番所相勤候ニ付同人
申上候

一 今日之
御法事之儀ハ左之通被仰出候ニ付
勤方之儀者是迄之通ニ而相勤
此旨承知相心得可申候

一 日光方より書付并上使引合致候
一 法印使者ヲ以申上候
上使之節御勤有之ニ付通日光方より
書付同人江相渡候様申達
一 御名代之儀ニ而被成候処引合之上

六月廿日 南書 西尾隠岐守

今朝上野
大猷院様
有徳院様
御霊前
御名代大井大炊頭殿被相勤
右之外 被申付候由申上

然者

一 杉本修理殿又ヨリ相尋候ニ付
以後井上修理方より申来

一　半時之御用ニ付御越候様御書付以上

六月廿日　　御書　水野和泉守

今日御用番
右大将様御前江罷出候
入御之節
還御之節御供被仰付候

甲府勤番
勝田河内守支配
富沢光 （助）

小普請組
稲葉河内守支配
本多□□

石川右近将監支配
佐野大学

松平頁□支配
久保井□□

大久保□□支配
小野□□

勝田伊勢守支配
酒井□□

□□□□支配
水上甲□

大□□□支配
石野□□

一　右大目付小笠原若狭守戸田□□守
組入被仰付候旨入人
御目付之旨被仰付候
中列之御番入被仰候
御役替被仰付候者
御手当之被仰付候□□
被仰渡之一統之旨□□之間

右之外　御中□□御達以上

以上

一 御精進　御表使ニ而御強飯智恩院大僧正へ
入二十四一包ツヽ被下候旨、右之趣ニ而被遣候、龍様へ申上
御用部屋ニ而御渡之候、右井伊掃部頭殿へ
一 日記ニ付書付荒川若狭守ニ相渡ス
一 外年寄之儀申上候儀ハ追而可申上候

八月廿一日

御番　松平周防守
　　　伊達左京少輔
本丸ゟ六男
外　伊達伊織

表坊主
右者、通伊織儀年寄衆ゟ
御目見之者相請候、同人御年寄列ニ被仰付候
年寄衆ゟ御渡之

　　　表坊主代

　　　　内通也
　　　大御番頭戸川小左衛門
　　　松下権之助

　勤方前之通ニ而且番之義ニ而且
一 表右筆之内ゟ右筆並ニ
御目見之者同人御列席被仰付候間
右者同人ゟ御渡之、差年寄衆御列
御廿三日御用ニ付御掛ニ而申上ル
職支配之者御評田橋奥へ
御役方ゟ右筒井紀伊守殿へ
表之外　御手紙を以申遣候
右筆之外御用有之趣を以勤ル
松平和泉守殿ゟ御渡之
城之儀今日四ツ半時御勤申上

　　　返答
一 不快ニ付今日不登
城之旨届ル
一 外年寄衆御名前ニ而飛脚返上ニ而申上

五月廿日　　肩書　松平和泉守

今日附之書上候ニ付而
成候丈武蔵守殿神田橋御屋敷
御立寄ニ而退出之節ニ
還御之節御供ニ而罷出

少書院
大溜乳養母之儀
速水右衛門

右相扣之処中之世話取扱候段
有難御頭之御沙汰御座候ニ付候
右之外　殿中御免成下候以上

書付

一
御暇之節候段松平周防守殿御年寄衆ニ而被
御年寄衆御金十両宛下置之被相渡候ニ而御扣之
右一紙同様之

一　右同人分
御名代之節御役儀ニ付其外御家来衆之節御目
家来共ニ御手当被下切候
一　御礼之節　御年寄之御役儀
御老中ニ右同人分ニ銀一枚御役代ニ付其外御家来共
之外ニ御中ニ而家来共手当被下切候ニ付右
一紙同様ニ相成之通ニ被仰候ニ付追而御沙汰
之
御老中ニ而之致ニ御ニ付其外御年寄ニ而十両宛
ニ而被渡書ニ而被下候
一　日数之儀ニ書付并ニ達候ニ付相済候
一　外ニ御用米御手当被仰付退出之節御目見以上

六月廿三日　南番　松平伯耆守

一 今朝増上寺
御霊屋
御名代青山下野守参詣
今朝上野
孝恭院様　御霊屋
御名代松平周防守参詣
右為御礼被致登　松平大膳大夫
城候処御席ニ而御老中御逢之
　御取次
　知恩院宮文使僧
　法隨
附紙 二
右願之通相済候ニ付為御礼被致参上候書
後法様御礼物ニ付
　上使大膳大夫
日光准后

右御法事ニ付明後廿六日参詣ニ付
御対顔之御用之儀
城之御席ニ而　御老中御逢之
右之外　御中書付差上
　退出
一 本日御所司代ニ而御礼被申上候
六月廿四日　御番　高木主水正
黒田豊前守
名代
本多豊前守
右御法事ニ付通候
御先手ニ而通候ニ付同席ニ
御目ニ而前髪差上同御老中列座
御達有之候ニ付

口帳

松平淡路守殿ゟ

大内対馬

御請之覚

右於桂之間法問人ゟ御渡手書
付渡候御書付被成候

一 明廿六日日光法門主
城者御入之覚
城之刻限承知之例刻可有之旨被
仰出候
右之外　摂家親王御同様被為
請之
右大将様御渡寺前ゟ為御饗応被
為
成候旨承知仕　候以上
尤右者大内対馬へ被申付候様ニ被
諸向名録ゟ申勤候御役所相心得
法閑日録ニ付法服相達候今日御用
申勤申候以上

覚

一 門跡様方ゟ御使参上之節御使ニ細ニ名
前を書出し於御廊下掛リ相渡候様被
仰付候ニ付此段承知仕候
一 日光方ゟ書付振リ之義ニ諸向会之節付ヶ
差出候取中差廻村之ニ申上候
一 其外之儀等者先例之通取計可申候以上

又月廿六日

日光法門主内
高木主水

右御法会中之覚
城於　御座之間
御対面
御座之間
法親王

卯九月廿日
須田十左衛門

同月廿日
寺社奉行衆江

従役者
神尾市左衛門

卯九月廿日
須田十左衛門江

右証
御前江　納候
一　当書今年附し此度掛て之渡以庵
江之為
成候ニ付向ニ而諸方新本行
右之外　徹中替渡之出以上
追て
一　外年之儀差出候以事許以御承知候様可以其以上

五月廿七日　　当番　本多主膳
今年附渡此風呂屋ニ而二丸洞之
大坂通済清庵之為
成候
一　織田彦右衛門御殿紙出之為御請
礼ニ網一条渡之之御目で旅枝
同請取候候以当日
一　当日
御渡之二人て御前当詰人衆詰之候
御書附之渡候以ニし
御渡候之御候此天紙同書詰中
前渡番此来此書割之候此之主
御渡之方同人之ニ給金年割之渡候
給之宮前通之之候
右之外　徹中替渡之出今日紙
差
御成ニ合し通候人退之ニ渡ニ御渡

之代合申上候
追而

一 御用部屋ゟ相渡候紙先達而河内守
初而之御紙御用ニ付右大之字相認候様相伺候
處御紙御用ニ付右品相應之紙御取寄
候得共右紙品揃候一紙同様之
之儀ニ有之候此旨御承知可被下候

一 来月之大坂御城代

城之節ニ而手紙封中ニ而申上候御座候ニ付

一 日光ゟ之書状井上河内守殿ゟ相渡候ニ付

一 外ニ付封中ニ而相達候御奉書延引ニ付相済候ニ付

之代合申上候

別紙差上
寅六月廿六日

御渡先
一人

六月廿八日御附
御城ゟ下ケ渡候

六月廿九日

同日　居残　大久保主膳正

御機嫌能七ツ時前ニ御
還御被遊
右之外　坂中務大輔殿方
前後同者不残御番ニ而居残相勤候処
追而御用日之御勤役候処御機嫌能
今日居残御書付御受申上候
　　追而

一 大坂御城代
還御後退出居残申上候

六月廿八日　当番　松平主殿頭

今日御用附衆
右大将様御指揮ニ而
入御用附ニ而御
逢所ニ而

一　月次御礼畢而御家老衆
上使之節取計ニ付御尋申上候

一　右御用附御同人御[illegible]城附
衆取扱御用人御出候

御礼

奏者番

[illegible]
名代
[illegible]
江戸書
松平[illegible]
奉行
死亡宗旨改書役
[illegible]

中奥小姓
河内守組
前田安芸守
名代
[illegible]
書院番
牧野伊豫守組
森[illegible]
京御門
[illegible]守組
書院番
水野[illegible]
安藤[illegible]

右御礼之通ニ
右御用之通ニ
御用之節御同人[illegible]
御列之御用人ニ而御尋之[illegible]
御用[illegible]

大目付
加納大和守
名代

加納遠江守

百人組之頭

早稲田高田馬場

池田瓏之助

右者近々婚姻相整候段被

之通り

仰付之旨於御白書院溜縁頬

之間御書付以被渡之

上使高山甚蔵

諸事

日光法事

右者同人方法事相済ニ付

日光大権現様

右御機嫌伺差上

伊達左京

右之外

壁書渡候御小姓組

無

一 御留守居之内役席溜之間大目付ニ而被渡之

御老中御列座御書付被渡之

掛り之儀一統同様被仰付

一 右同人

御留守居之内役席溜之間被渡之

並御用番御老中御列座

一 御留守居之内候

御老中様ゟ右同人ニ而相渡御役代り候上

左之内申渡御用番御老中御列座之上右

一統同様被仰付候通被申渡候処其後差控

かねて

御老中様ゟ被仰出相成ニ付被申渡之

近々婚姻書付を以被仰付候

一 例之通り御渡之申渡候段相心得

一 手続候

上使ゟ差出候書付之通り相渡ニ付書付

一 同人ゟ差上候

一 日記方ニ而書付并上使御用相渡候

一 右御用之後書付差出候旨申達候

六月廿九日　南番　内藤豊前守

今朝増上寺
御霊前江
御代参酒井若狭守参詣

京
知恩院年頭使者
去巳
寺社奉行ゟ
元琇

右御礼之　御年頭之御礼御白書
院ニ而於御次中列ニ而御目見被仰
付候ニ付

一 昨朔日同人之御礼ニ付御礼罷出候
　旨申上御礼書大坂御渡被成候ニ付昨日ニ而
　書翰相渡候ニ付此度御見ケ又ヘ相渡申候而
　六ヶ敷書付差出候旨申上候
　尚又ゟ入御申候ニ付右之段書付差上候
　右之外　別条無御座候以上

進呈

一 昨日
　兎角浮浪之徒紛失候ニ付御用有之趣ニ而
　懸合有之候ニ付御目付江相達候得共
　相分不申候

一 右ニ付之御届申上候　已上　御番所

六月御用番

土井大炊頭
植村駿河守
阿部備中守
本田志摩守
永田備後守
公事方
榊原主計頭
勝手方
服部伊賀守
村上監物
富永六郎太夫

六月朔日　当番　大岡主膳正

今日御帯
右大将様御両様御酒湯ニ付
入込かし候之
還御之上御酒湯済候ニ付

一　公方様
右大将様江御同
出御御宗以之例月次之通御礼申上
御譜代衆并御役席御前之間大廊
下御席一同御礼申上ニ付
入御候

一　月次之御礼申上
御内書院
御帰　二十九
御帰　二十枚
奏者　伊達左京亮　当番
御納戸様

奏上
松平肥後守当番
佐藤幾之助
三網一家

一　当日之御祝儀尾張殿紀伊殿候ニ付
上使大廊下大炊頭殿被遣候
日
同断
大坂御城代
坂井十之助
水戸中納言殿
右御礼帯御能之御祝儀尾張殿越候
目付
松平丹後守
右御礼之御銭御入ニ相当御年寄衆
御表御下ニ而御老中御能御内書院御出
老中列座大炊頭殿被仰渡之
尾張殿家老
成瀬隼人正
水戸中納言殿家老

長田新五郎
右龍王院之間別当同前浮浪人共書
付渡候
上野桃苑
龍王院
右龍相同之者浮浪人共書付渡候
右之外 坪手配致不申候
追而
一 浮浪人共龍王院之宿坊手続ニ付役僧之者共義
一 当ニ而取計候之義役筋之者共[illegible]中ニ而取計候
城附之者共之義ニ付之者取計候
一 当節之義之者取計候
一 日光之節之書付村之役所ニ差出候
一 宿附之大頭取以来掛合候役所ニ而取計候

六月日
西尾隠岐守
佐渡奉行
金沢瀬兵衛
一 右之者龍王院門前ニ罷在候浮浪之者
 別当ニ而取計候
一 松平河内守より被申渡候ニ付役所ニ而取計候
 猶又右之義ニ付役所ニ而取計候 松平隠岐守同
 所龍王院門前之者ニ付取計候 同人
 右之者共浮浪之者取計候ニ付 取計候
 之同大頭取役之者
一 浮浪人共役所ニ而少節之役所ニ而取計候
 書付之字之通之候
一 浮浪人共掛合役所ニ而書付之字之通之候
 通之候
右之外 坪手配致不申候
追而
一 浮浪人共之義之役所ニ而取計候之一件掛合候

不足銀目見計大村ゟ為取立可相納一候
ニ而渡方之儀ハ取扱方相済一紙目録
を以大坂御役所ゟ井伊掃部頭殿江
一 御時服之儀ハ御役所ゟ村々庄屋共被送大村之者共被遣
遣ハ御用ニ付黄金十両宛被下候間被成
之旨取扱之節一紙目録相渡し
一 右同人江
御蔵帳之儀取扱方ハ目録付以後之分ハ別段ニ被成
候之間右之者共取扱方之儀其御品切認遣し
一 御時服 御蔵帳之儀取扱
御蔵様ゟ右同人江可相渡一条渡方之義ハ被
申上候由右之為取扱方之切認遣し右一紙目録
を以申上候通取扱方之儀ハ井伊掃部頭殿江被下
一 御蔵帳ハ致上納之段御代官之手ニ而申上
一 御廣式御書付ゟ来候ハ
一 月経方ゟ以書付申上候通ゟ来候ハ
八冊ハ大坂役所ゟ銀返上夜中差上
御用 申達上

右井大経殿役所ゟ寄書付写

江戸表之書面
書付之旨

六月廿日

六月三日

御本丸

成千源様子座之下

右之上

江戸表之書面

二月三日

池田殿ゟ 被為御同

江戸郡山開出候事

六月六日　御当番 本多伊予守

今日御附
右大将様御法会御拝礼之節
入九時之御
還御候

右衛門督様御附
青山下野守
池田大膳亮殿

同 酒井左衛門尉
尾張中納言殿

同人
水戸宰相殿

同人
水戸中将殿

右今朝之通

同 松平伊賀守
徳川刑部卿殿

右同断之通

池田大膳亮殿

右刑部卿殿卒中御息女某御登城ニ付
節年賀之子ニ　御続之為御礼御登城ニ付
御雅之間
御対顔
御目見済候而引続
右御礼御登城
御対顔　御雅之間
水戸中将殿

一
右同今日刑部卿殿初而
御対顔被仰出

一
池田大膳亮殿
右於御黒書院刑部卿殿ニ初而御対
面有之候
池田殿於御白書院大広間御頼之上御目見
御対顔後於御同之間御酒頂戴
有之候御盃之上御ニ付御書
院御頂戴御盃中之上御同候

一 武部八殿昨年中紀伊殿江引移安芸守殿ニ
有之候所昨年中家督之
紀伊殿在所表江参候ニ付而ハ右之通御座候
安芸守ニ同道中ニ御座候ニ付両人共被仰渡
候事ニ而御座候
一 松平安芸守殿ニ付尾張殿被為成ニ付御礼
御手紙ニ而被仰渡候趣以紙面申達候
人出来候
一 今朝
上使ヲ以被為成候ニ付尾張殿江御前ニ而御目見
候ニ付右之趣ニ付殿中将殿ニ被仰付
尾張殿御礼ニ被罷出候ニ付両人共出来候
紀伊殿為名代
三浦長門
一 大納言殿昨日引移ニ付御祝儀
被仰出
一 紀伊殿ニ付常憲院殿御附被仰付候
御用ニ付而右之趣被仰付候
一 引移候ニ付御祝儀之通御礼ニ而
相済候様申来候ニ付右為御祝儀
首尾能相済候段申聞候
書付ニ而御渡し
一 両人共罷出候ニ付候得者御目見有之
書付之通ニ而申達候
一 明日登城ニ付御座之間ニ而御目見
城之上御礼被仰付候ニ付御祝儀申上
候旨申来候
右之外 御本丸老中
当番之節御用有之候ニ付登城
候様申来候ニ付右之趣相達候
御勝手ニ付今日御老中
ヨリ申来候
書付
一 御老中ヨリ被仰渡候ニ付御祝儀
早速罷出候ニ付右之段申達候
右之段相済候ニ付御届申上候

大坂御城代ニ以林与除ニ居候

一 溜之間席之面々御目見之人江被仰出候段申来

内々

一 今日御使被為少将中将殿
　 右之御出之　城上付

一 右之面々書付を以下ヶ置其上同刻ニ被召出候人
　 之儀林除申渡之候
　 尤
　 御本丸ニ而通御廊下を右之御同所ニ而御済被為
　 有　右之面々書付同所ニ而御小性衆寄合ニ而被仰付候
　 然ル所右者衆以被入仰付候様申来

一 肖日越前守之付
　 右之御咋日加役被仰付御用日之者御流儀ニ而御用番
　 之旅之者新番之上之大事之御勝候

一 右之面々書付を以同日被仰付候旨申来
　 武家之衆御手之部子方之被下之様可被仰付候

一 御年寄者方面能之御中御之者飲御御用ニ付
　 此方之肖御役所御用之事者

一 此方之面之通今日御廊下下段之者御用之

一 右殿方ニ之書付井上河内守へ申談

一 今年御付之大坂御城代并松平紀伊守殿へ申達之
　 別紙之通
　 酒井右京亮殿へ相渡候書付写
　 　 寛政十午年六月
　 　 寺社奉行衆
　 大目付ニ出

一 武家之衆御年中御役ニ付年番
　 子共　御役人之為御役所御勤之者
　 深川村之御下屋敷御用向御相勤候社
　 御本丸表門之御右之方ニ而林下
　 其御国之者共之前之　御門之日々之者
　 供札并外之御札江被仰付候而
　 上方
　 但御在所御屋敷之前之所ニ而御用番
　 之御年相済之節者宅ニ相渡之被成候
　 下中之者共之取締之上之為御札候
　 右之通ニ而相済候

六月廿日

六月四日　当番　小野和泉守

松平大蔵大輔

右武部殿事此御殿之御番相勤

子共

御外ニ為御使被成候ニ付御礼回勤

登城此段申上候

一 右同所御使被仰付候ニ付御礼回勤

登城此段申上候

一 右御用所ニ被仰付候ニ付右之段

御届申上候旨大目付衆へ申達候

右之外

右之外　御用番殿へ申上候

以上

一 御大番下番之間者名令御大目付殿

右様御承知之上御届申上候段申上

置候

一 同役御目付中へ同様之段申上候

一 右者御目付へ服紗御用之節御目見被仰付候

御目見之節御目付御〓〓様御承知被下

候

一 今日御目付[illegible]御目見之節

右御目見[illegible]被申上候

一 松平隠岐守今日御目見

[illegible]

一 本多御大目付殿御目見御側衆御取次

一 御目見御返事

右之段申上候以上

六月分　　御書　大炊頭殿

第一之間

縁頬

西丸御納戸頭
高家中奥小姓子 嫡子
能勢助之丞
名代
能勢与一郎

日光奉行
寺社奉行組頭支配
辻房之丞

西国御郡代
大目付子 嫡子
三河口八蔵
名代
相良外記

寄合
常憲院様小姓子
多賀仙舟

文庫役御小姓頭

菊之間

小普請組支配
伊東大吉
名代
曽我隼人

松平肥前守内
大番頭嫡子 支配
高井相文

御小納戸頭取
菊池小河内守支配
小長谷平蔵

大久保下総守支配
新番組頭子
東條貞之助
名代
筒井右京

堀田河内守支配
御書院番子
林包吉

酒井備後守支配
大番組子
小泉民部
名代

松平隠岐守組

本間今宮

右之　御目付中御徒目付列座大
牧野殿被仰渡之上大目付御奉行所詰合

御勘定之間

於同

出役御勘定組頭並
寺島(?)出役
内藤今之助

同
小出兵右衛門(?)

御勘定吟味役
出張(?)同
服部(?)三郎

御書院番
寺島出役
古坂(?)百之助

相模守殿御用(?)ニ付
出役
大久保安芸

名代
田村(?)

右両人江申渡之儀奉行所ニ而

出役
三河口八蔵

名代
林今(?)純

右之者共江申渡候之付書付別紙
之通
御目付衆御列座御徒目付中列座
御勘定衆御列座之上(?)奉行所ニ而
右之者共…

以上

　　　　　　　　　　　月番
　　　　　　　　　　　大草(?)主膳

一　右之者共江申渡之候段…
　　御勘定組頭…
　　八州御取締…

六月六日　　　　右筆　松平太郎

一

御用召　御目見以上被仰付候旨
松平加賀守上杉弾正大弼井伊掃部頭
留守居ハ於芙蓉之間年寄衆
旗本之面々ハ於躑躅之間被仰渡候旨老中
二ツ目申渡し

一　右同断被仰渡候旨松平伯耆守
寺社奉行ハ於同席若年寄衆御用
御目付并河内守松平大和守本多
長門守陸奥守安房守松平
山城守相模守播磨守和泉守
和泉守丹波守石見守備前守
利兵庫頭内膳正山城守伊勢守
大田原飛騨守土佐守松平
越前守備中守内膳正肥後守
根来出雲守井上筑後守加賀守山城守

一

根来搆麻ニ而ヶ所方ニ而御尋之上
中務松平播磨守ニ而書院番頭
御目見以上被仰付候ニ付御用
右之外　御下知被成候儀申渡候
能登守書院番頭今日御書付ヲ以申上

退出

　　御役者
　　　大久保筑後守
　　　両丸留守居
　　　小姓組番頭
　　　松根若狭守

右当日大坂ヨリ御用之儀ニ付被仰付
有之候ニ付候得共其段被仰付候
松同御役之中ニ而申出

　　御役者
　　　将監十郎左衛門

一

右之通被仰付候ニ付右之段
御目見以上之面々一同ニ而申渡候
御用召ニ而御役人一同被仰出候
御用召ニ而御書付ヲ以被申渡候

元代法令一段差出し被相渡し同様ニ請取

同様請取し

一 右同人へ

御書付し出役候同所御渡ニ成差出被成候

候ニ付聞合之来り為請取申付渡し

一 御締役　御書付し出役候

御見廻りより右同人へ相渡し候而以候而差上候し

新中より本所来り為請取申付渡し右御用之

申付置ニ通り相違無之候ニ付御役所ニ差出し

御見廻り之者共へ相渡し御用ニ付申上候

御役所御答書ニ而申渡候

一 林肥後守殿ゟ御状ニ而申来り候

職ニ差し候

一 日数有之ニ付書付相渡し置ニ而申渡候

一 九年附ニ而大坂表御役所より差出ニ而申達

六月十七日

御書　寺本之忠

松平伊賀守

長崎奉行

外　同　直次郎

右之者

右新規通無之御役被仰付候ニ付

御用向も御取締方之御用聞申付候

旁被成候様可被致候

庸次郎

小普請

外　同　主善

右之者

右新規通ニ者ニ付被仰付候ニ付

御用向新規大納言様御用向

同人ニ被渡し

御留守

川村清兵衛

右数年出精相勤候ニ付為御褒美
之[redacted]出候ニ付
御目見之上ニ而
御手當銀被下置年々勤番御礼申上
同断御目見之上被渡之候事并當座時
之

中條河内守

右之者京都所司代御用所ニ而相勤候
不帯刀ニ而勤候ニ付
右之外 御中間御小人御取次
御当番者之外御用有之節ハ相勤
御門番并御番所詰之者同断ニ付
御小者被成候事
両御番當番者之御用節ニ而相勤候
右之者今日御用番ニ而相勤候也
追而

一 極老御手当相勤之儀御免被仰付
代被下候儀御座候ハヽ被仰付候様

一 之同断之通御用向之儀
一 松平安芸守殿御取扱ニ而同様之
節者被下之通一統同様
之旨御通達被成候處
一 御預り之御達ニ付松平安芸守殿
御老中より之御達之通
一 御同様之通一統同様ニ候
一 右同断
一 御書付之通被仰付候
之同断之通被仰渡候
一 御預り 御書付之通被仰渡
御老中御沙汰之上御手当銀一分ニ付
之儀御座候御手当被下候
同断御勤方之通被仰付候
一 御老中之御書付之通被仰付候
以書付申上候
一 極老之者御手当之儀一同被仰付候
御座候ニ付申上候

一 日光御門主ゟ之書状并上使之口上書有之

一 右ニ付大坂城代被仰付候段返書到来候以上

六月十日

南書 牧野備前守

今朝上野
浚明院様 御霊屋
御名代牧野備前守ニ被仰付
誠用之手段被仰渡候ニ付御用有之
御名代之面々御渡之節新書差出
酒井大炊頭殿被出候
右之外 御手紙を以被仰聞候以上

返書

一 右ニ付之大坂城代被仰付候段返書到来候以上

六月九日

南書 高木主水

今朝上野
惇信院様 御霊屋
御名代松平河内守ニ被仰付
右之外 御手紙を以被仰聞候
此段為御知今日相越申候以上

返書

一 右ニ付之大坂城代被仰付候段返書一封到来候以上

六月十日

南書 松平周防守
松平英之助
名代
松平丹後守

右之通

右之文化四卯年被差上置候分相違
無之旨御請申上、同日於御用部屋月番
老大坂御城代江御渡し
一 林大学頭月番ニ而溜詰有之前例
席江御渡被成候
一 明廿日御役出席出候ニ付
御本丸ニ而出仕可致旨、前例之通相心得
有大坂御城代ニ而御本丸江出仕可致候
明日ニ本丸出仕可相成事ニ候、依之今日
判者並ニ而其文之通書例年之通
ニ而御本丸出仕之事ニ候
西丸ニ而今日出仕之儀ニ付
月入候
城ニ相渡候ニ付又候
下ニ而出仕有之候
右之外 御年寄衆御出座之儀
ニ而返書今日相勤候旨
返之
一 根村源河守被今日出仕也
一 城代江被仰付
九日御本丸ニ而大坂御城代被仰付候旨被仰渡候

六月廿日
南番 本多豊前守
今日御本丸江
大将様御拝領物御礼ニ付
入御同
出御御本丸江之御礼
之上御礼
右使 松平伊豆守
公方様ゟ
大将様ゟ
二種一荷
同 酒井若狭守
公方様ゟ
御台様ゟ
同断
同 松平伊豆守
公方様ゟ
御台様ゟ
一種千疋

日　松平能登守

公方様江
太刀馬代
二種一荷

日　同人

大納言様江
御太刀馬代
同断

右者新ニ致出府年始ニ付
御礼申上候為今朝差上之

上使　松井備前守
北條大隅殿

二種一荷
銀十枚

同日　同人
徳川大膳殿

二種一荷

同日　同人
豊後守

綿二百把
二種一荷

右者同人今朝差上之

同日　同人
徳川式部殿

御太刀一腰
銀十枚
綿百把

右者同人今朝差上之

御座之間

御太刀一腰
白銀二十枚
綿二百把

御太刀一腰
白銀十枚
綿百把

北條大隅殿
徳川式部殿
名代
松平左京大夫

右者新ニ致出府年始ニ付
御礼申上
御対顔御祝儀ニ付差上之
松平左京大夫

右者同人
御目見

御白書院

奏者

綿二十把
綿二十把
榊原遠江守

綿二十把
[illegible]
戸田采女正

綿二十把
[illegible]
戸田日向守

同人
秋元左衛門佐

蝋燭一箱
[illegible]
溝口伯耆守

綿二十把
[illegible]
安藤対馬守

同断
土井甲斐守

御太刀
御馬代
内藤大和守

同断
松平右近将監

御太刀
御馬代 一疋
松平主殿頭

脇指
馬代 一腰
酒井大学頭

太刀
馬代 一振
堀 大和守

太刀
馬代 一振
本多淡路守

同断
本多丹後守

長刀
馬代 一腰
太田摂津守

太刀
馬代 一振
織田左衛門佐

太刀
馬代
松平主水正

太刀
馬代
細川長門守

同断
内藤播磨守

同断
小笠原信濃守

同断
本多肥後守

以上

武部右殿ゟ紀伊殿年寄
子供 御使
御目見

紀伊殿御家老
水野土佐守 同席

一 紀伊殿ゟ御礼之御使者相務於御白書院
西御縁頬御老中ゟ御目見ニ

一種
干鯛
尾張中納言殿

一種
水戸宰相殿

鯛一折
水戸中将殿

大納言殿紀伊殿江此節被遣候ニ付
御台所ゟ御祝儀被遣候ニ付
紀伊殿ゟ右之御礼被申上候

御酒肴
二種
千疋
徳川右京殿

御酒肴
二種
二千疋
豊姫君方

大納言殿御礼相済候上御座之間
於同席御目見人有之

一 大納言殿尾張殿紀伊殿水戸
中将殿ゟ之使者於同席御目見人
以上

一 今朝之 上使ニ而

公方様 右大将様 豊後守を以被仰出候

御法事御執行ニ付 御名代之儀 被仰付候

之旨 被仰付 御名代 同席 出仕之面々

一 大納言様 御使

御臺様 御使 松平伊豆守 御法事御執行

之旨 大納言様 御使 豊後守 御名代

御法事御執行ニ付 御名代 被仰付候

右之通 被仰付 御名代 同席 出仕之面々

綱一折 松平加賀守

同断 松平讃岐守

同断 松平土佐守

同断 松平陸奥守

同断 井伊掃部頭

同断 松平肥後守

同断 松平越中守

一 大納言様 御法事御執行ニ付 御名代 被仰付 若

狭守 水野壱岐守 御名代 被仰付 同席 被相渡

同様ニ而 同所ニ而 出仕之面々 出仕 同

人 出仕 御座候

尾張中納言殿より 御使

御霊屋 榊原孫市

右之通 出仕 於御霊屋 同大納言殿

出仕

一 松平讃岐守 出仕 御法事御執行ニ付 御名代 名代

二様 一同 以使者 御名代 被相渡 同

出仕之人 出仕候

一 明十三日 増上寺

惇信院様 御霊屋

御廟所 御参詣 御法事ニ付 出仕

御参詣 御名代 水野壱岐守

右之通

一 明日 増上寺

御霊屋 出仕

御参詣 名代

御装束 御名代 出仕

御老中方ゟ大目付衆江御渡被成候書付写

中奉書

右之外　筆紙共ニ御出し可被成候

追而

一 今日此御書付之内御指出候書付大目付衆
 兼而御渡之書付之写ニ左之通御座候

別紙書上

此奉書
大目付ニ
御目付

六月十三日

御書付之内

細川長門守

右御届書之写如左

一 細川家之御当家御代継子被仰出一家御沙汰
 因幡守殿ゟ御当家御代継子一枚御渡
 被成候ニ付御当家御代継子一枚御届一通
 平野様ゟ御当家御代継子一枚御渡之御届
 差上候ニ付御届之上差上候様被仰候

同様之儀一紙同様ニ候ニ付見分人罷出

一 御勝手ニ付御大村上総介細川和泉守様ゟ之
 御渡之御当家代継子一枚ツヽ差上候様御申
 来候一紙同様ニ付大目付衆御届書差出
 之段御承知被成候細川和泉守様御届書ニ付
 御渡之御当家代継子一枚ツヽ差上候様御申

 相済候一紙同様ニ候

一 右之通ニ付

一 御勝手ニ付御渡候以後ニ差上候様被仰候
 同様ニ付御届書之通仰渡候

一 御勝手　御勝手ニ付相済候
 御老中ゟ大村上総介細川和泉守様ゟ細川家ニ而
 右御渡之儀差上候様被仰付候様御届書
 書付ニ付大目付衆ゟ御届合之通仰渡候
 右様之儀ニ付御届ニ付

一 御老中ゟ之御触書を以御申上候様被仰出
 右御届之儀ニ付相済候
 或者御届被成候御書付子共

御参詣相済候段大久保加賀守　松平右京大夫
一於御座之間御意有之　御機嫌之御尋被下候
為御祝儀出之候
一此度之御用相済中一段ニ存上し申候
一当日御礼
一御成大坂御殿ニ付御供被仰付候者共御礼申上候
一御手自上内太刀并大和守殿御礼申上御拝領被仰付候
出勤候
一目録書付右之通差出候
一右之内奉行共人数書差出候
一九月大坂御城代以後御用相済候以上

六月十二日　当番　松平右京大夫
今日増上寺
惇信院様　御霊前
御廟所に御参詣
御参詣済御機嫌窺者御附衆出仕
還御
御成之節於御例席伺候
御目見
還御之節も落縁ニ罷出候
一還御之後於御座之間御機嫌伺候
中将殿ニ而御目見候於鶴之間大坂
御城代出仕
一右御城代御門之節御機嫌伺罷出候
於廊下御目見出仕
一右御前ゟ退出
城代御目見之節御用人共出仕
於御座之間御用人共罷出候

一　明十六日御暇之節、其外御礼有之候ニ付
右御同人より御老中御礼書付御渡、御目付ヘ
当番当日大和殿ニ御渡申候、且又御旗
当番筆頭之通ニ而差出
西丸者当例御暇之通ニ而差出候段
於江戸表者御同人へ書付
城之御張面取扱之儀、可有之候段
申来
右之外　格別之儀無之候、以上
追而
一　是迄御暇之節御白洲ニ而御目付渡候白
例ニ而相済候ニ付、右之通相済申候
御同人ニ御林…之通相済候段
之通相済申候
一　西之丸当番…
於江戸表…
一　西丸御留守…
御目見御同席　御沙汰

一　御目見今日…
…
一　明日者
西丸…
承知…
一　日光…
一　西丸…

六月十二日　内藤大和守

今川刑部
本多播磨守殿
入江…
堀…
御…
御殿之間
京都　御使役

茶字縞十巻
縮緬一箱　同　松平越後守

同断　同　松平大和守

紗綾一箱　同　織田主膳正

同断　同　中條河内守

右
御目見以後
御黒書院　御次　出座

紗綾十巻
御馬代　同　小笠原大膳大夫

縮緬十巻
御馬代
紗綾十巻
御馬代　同　酒井左衛門尉
酒井雅楽頭

紗綾五巻　同　牧野越中守
松平伯耆守

同断　同　松平周防守

縮緬五巻
紗綾十巻
御馬代　同　石川主殿頭
戸田中務大輔

紗綾五巻　同　水野和泉守

同断
縮緬五巻
紗綾五巻
同断
縮緬五巻
同断
同断　同　小笠原主殿頭
安藤對馬守
松平紀伊守
秋田山城守
本多豊前守
永井肥前守
松平主殿頭

紗綾五巻
同断　同　二本松左京大夫
牧野越前守
板倉甲斐守

備後表五枚　　土井淡路守
紗綾五巻　　三浦備後守
同断　　松平主殿頭
　　三宅備中守
同三巻
縮緬五巻　　同名
同三巻　　堀丹後守
同断　　大関土佐守
同三巻　　内藤豊後守
同三巻　　米津伊勢守
紗綾三巻　　堀淡路守
同断　　前田大和守
同断　　新庄織部正
同三巻　　松平丹後守
　　夏目新八郎
縮緬五巻　　三枝主書助
金五両代
　　井上河内守

大高紙十束
二種一荷　　松平紀伊守使者　稲葉主書
同
三百疋
二種一荷　　井伊掃部頭使者　岩井千之丞
　　自分として　稲葉主書
依病代
清積甚十郎
出座
金五両
此外二
御盃　　大坂町奉行　有坂三大夫

一　今日出座之先、御役所御白書院
一　御縁頬迄御目見之節、御席御
　　着座ニ付御礼申上候、
　　有坂三大夫相勤候処、御用有之候間
　　則御礼被仰付候義也
　　右使者井伊掃部

紀伊大納言殿
同 家老共
尾張中納言殿

一 右今朝箪笥二棹ニ而紀伊殿江遣し
右者御礼紀伊殿ゟ尾張殿江被進候
儀ニ付尾張殿ゟも品々進上之段
紀伊殿江も御祝儀被下之候 御納戸
御頭并右ニ付 上使御礼ニ付
ニ付而し 於御中書院被仰付
被仰渡候 右相済御用ニ付 松平紀伊守
右相済
右今度京都御使相勤候ニ付
勤仕之通 御作法之通於
黒書院溜之間ニ而 別段之紀
被仰渡之
右御祝儀御書付
織田主膳正
中條河内守
右於同所ニ而

御作法之通同席列座同席御老中
同人江被仰渡之
右御祝儀御書付 大沢右京大夫
右於同所ニ而
御作法之通同席列座同席
御同人江被仰渡之 長坂三之丞
右御老中ニ而
御作法之通御老中列座
同席ニ而同人江被仰渡之
尾張中納言殿使者
掛川孫之丞
菊花縁ニ
右於同所ニ而御老中間溜御同人
御渡之
瀬一郎
同心
松平栄翁
松平佐渡守
右三家紀伊殿江被仰付御祝儀被下
御渡之 御作法之通御老中列座
子江

若又ハ若使ヲ廃以捕縛御沙汰
当学将校ニ而職名何向得
之儀以門人ヘ申以門人ヘ申談候
右之外　備中守儀ニ而候
以上
六月十六日
追而
一　今般御礼書面御請之以書付御達候處
以捕縛御沙汰之儀右書付写相添遣候
別紙之通
御老中
六月廿日
以日付
六月十二日
御礼書之内
本多中務大輔
西尾隠岐守
三浦備後守

右御礼之節御尋ニ付
一　加茂之宮御屋敷御所御手許御役御礼
一程之以使者を以御届ケ御老中
一紙面御書付之御同人ヘ以門人ヘ申談
一　御持参之御役儀相手御座候件
以使者御名馬代黄金十両差上
之儀之御届一紙面御沙汰
一　右同人
一　御書付之以御役儀御同ニ御使者差上
御座候之御家来名前御尋
一　御老中　右同人ヘ今般一段御沙汰
御老中右同人ヘ今般御役儀
手足以使者御座候ニ而御申ニ而
御書付之一紙面御沙汰
之通御座候以捕縛御沙汰
御尋相成候之儀ニ御座候
中ニ述以御座候御沙汰
一　大役大名方文段

一　右大猷様御事ニ付
御使者御帰府仕候ニ付御機嫌相伺度
存候得共御中陰中ニ付御来府ニ付差扣
其御沙汰も大猷院殿御法事ニ付伺人無之
一　今日御用之筋
御沙汰も有之候御礼申上候
一　御礼ニ付御門ニ而内通[illegible]
今日御用日ニ付御用有之候ニ付
一　役人共御役儀ニ付出勤候
一　老後之事御礼申上候段申聞候
一　此節右ニ付書付井上河内守へ
一　此節右大猷院殿御法事ニ付
役人共御事ニ付御座候ニ付

六月吉日　留書　筒井大和守

生実　大巌寺

京　浄華院浄土

生実大巌寺役僧

増上寺役僧　徳　蔵

右之者
御目見之儀御白書院ニ而御礼被仰付
献上物大猷院殿ニ而御座候ニ付
寺社奉行衆

御酒井空

出座　大岡越前守

右公家衆御馳走ニ付御用之節
御用御勤ニ付其節御目付衆御座候
御城中ニ而御目付衆御役人ニ而御座候
儀ニ付相勤申候ニ付

御勤定組

御十役　中村長十郎

同断

同 右御役
同人

同 大役

同 右役

寄合
牧 庄之助
鴻田常刀

同
坊主
川崎平太夫
山本大膳

小普請支配 服部
金田左忠右

同 大役
大沢雄之進
大島九郎太郎
須藤市左衛門

同
坊主
橋爪栄助
新藤清兵衛
長谷川藤之進

右同所御用部屋ニ而申渡之

同席 御目付 [illegible] 被仰渡
駿河守 ... 被 ... 候
... 候
一 明十五日御 ... 之通 ... 候
... 大役 ... 候 ... 門人 ...
城 ... 例 ... 候
... 候
右之外 敬中 ... 候
以上
六月六日
退出
一 ... 候
... 十 ...
一 九月 ... 大 ... 上

二月十七日　当番　井上河内守

一 月次之御礼無之候ニ付御沙汰之事無之
上使を以被仰渡候ニ付大坂御城代被仰付候

一 太田摂津守儀徳川大膳大夫殿家来ニ御懸合
御座敷ニ而御目見被仰付

一 御老中御列座ニ而被仰渡御礼被仰上候
此節御目見之儀本丸御作事方ニ而取扱候
之御門入候ニ付先例之通ニ而可有御座候
有之候ニ付御沙汰被成候
入輿　城ニ付限り御月大手下之出
御目見人中より
右之外　御中務殿御所より
追而

一 大坂御城代被仰付候ニ付御沙汰被成候以上

二月十八日　当番　内藤紀伊守

今日御用之
右大将様御機嫌伺
入大廣間迄同
出御右御定之通御首尾好相済候
右相済候
遷御之節

一 黒書院菓子被下御廊下御沙汰

一同
御出座
御目見人
入御後例年之通御菓子頂戴之

一 右御定之通御沙汰有之候中御座敷
之通御座候上御意有之
出御之節御城内罷出候
右之趣御届大坂御城代
太田殿御懸合御座敷御廊下御目見人

以奉行

松平右京亮

右今日紀伊殿家老差出候旨

出御被成御目見被仰付候ニ付紀伊殿江被仰下

候由申上候段之

右之外　殿中格別無御座候以上

遂吟

一　九月廿五日出仕御機嫌伺之節紀伊殿御名代被差出候以上

六月十七日　　南番　井上河内守

一　今朝紅葉山

御宮

御代参青山下野守勤之

従日光門主御使者被遣候之御礼之節

一　泉院殿ニ而上之節紀伊殿大廣間大番衆

被仰付

右之外　殿中格別無御座候

南番ニ而御目見之儀御用番紀伊殿江

被仰聞候ニ付御用ニ付御役ニ而御用

番御広間山下通見廻り候有之候

紀伊殿御用之節御用ニ付今日御用番

被仰付候以上

遂吟

一　九月廿五日大御番頭紀伊殿御名代被差出候以上

六月十八日　　南番　高木主水正

上使代本多修理

水戸宰相殿

同人

水戸中納言殿

一 右今朝京着ニ付二条ヘ参着之

右者此度水戸殿水戸中将殿被

仰出候趣御座候ニ付同大坂表ヘ御

登城

一 御所住 御京住之趣被仰出候ニ付

御呼出之事ニ付松平肥前守殿毛利

大膳大夫津軽越中守松平一応承候上書

取計之儀御沙汰ニ而被仰渡候旨御書付

二通御渡し

一 右同断之次第被仰出候ニ付大久保加賀守

且又平松大膳大夫松平右京亮京極長

門守亀井隠岐守柳本右近将監稲垣

信濃守大久保佐渡守酒井大学頭

水野日向守板倉摂津守稲垣安藝

守水野大和守山口周防守丹羽和泉守

本多河内守同千本(?)織田大和

守遠藤但馬守堀出雲守本多肥後守

津軽大隅守丹羽左京大夫松平

毛利左京亮有馬中務大輔書

取計之儀申渡候ニ付書付二通

御渡し

右之外 被仰付候旨申上

退く

一 上之大和守より下之船乗込有之二條之

候其上ニ而新御用掛之相調候節

大坂表御城御手当之事

一 目付方より書付并ニ達等有之候

一 同断大坂表御城御手当之御書付写

二月十五日 松平大学頭監

同日二条御城ニ而御渡被成候

青山様 御用番

仙台様 御用番之節之

御系譜ニ付 水野出羽守殿江申上ル
右之外 聞番相済候旨申上

退出

一 明日就

御成大御所様二ノ丸江被為入候ニ付掃除申上ル

一 小笠原近江守殿被仰付候ニ付今日ゟ出仕

一 城ニ詰ル

一 九ツ半時ゟ大御所様被遊還御候以上

六月廿日　御当番　内藤大和守

一 今日就天気好

御成延引ニ付水野出羽守殿江申上ル

一 上野

有徳院様　御霊前

御代参青山下野守相勤

一 御成就延引ニ付被仰出候旨小笠原中務殿

江申上候処御聞済被成候同大御所様

此度者

右之外　聞番相済候申上

御目付之頭御用番ニ付御用掛被仰付候

御小納戸頭取被仰付御役儀相勤候ニ付

以来相勤候今日御用番相勤候以上

退出

一 御本丸御用番相勤

西丸御用番相勤候旨申上

御目見大和守　御渡之

一 御目見河内守今日ゟ御番入被仰付候

大坂御城代被仰付候旨申上ル

一 御成延引ニ付平服ニ而相勤候

大御所様大坂御城内被遊還御候以上

六月廿日　右書　内藤大和守

松平河内守殿江
小姓
坪内右馬之助

御請之趣
右頭様之同大坂定番被仰付候
書付被渡従俸物被下之
右之外　御手当被下候事

覚

一 小笠原鑑之助儀御役御免之事
城之方御用も

一 九年前大坂御城代交代之節御仕置被仰付候事

牧野備前守様
拝領御屋敷　松平和泉守内
伊東源左衛門
右之者被仰付

以書付御達之上御沙汰之儀可申付候

御中老衆書付御渡之節
御手当被下御入用之儀御申聞候
御不都合之儀は追而御沙汰可有之候

六月廿日

六月廿日　右書　堀大和守

松平越中守殿江
小姓
稲葉小兵衛

松平肥前守殿ゟ此度御国許
当分御沙汰御座候ニ付其上御沙汰
之頭様之同大坂定番被仰付候

御請二通

右頭同席御入之後被御書付被渡
従俸物被下之
右之外　御手当被下候事

返ス

一 久留米侍従ゟ白銀鋪之為見置候旨
一紙相渡し候ニ付龍爺不掛之通一紙同様
認之大姫君江被成御年寄衆ニ相渡候

一 右御同人之書付并之請取状書相渡候

一 九月朔日之大姫君江被成御返事相渡候以上

六月廿四日　井上河内守

今村上野
孝恭院様　御霊前
御代参ニ付京之河守兼清
内藤大和守
同　隆之助

右之趣

右嶋子殿之儀為見形之通ニ
御役嶋子ニ付
御用之旨龍爺ニ同御様年寄ニ
大姫君江御返事之
明廿四日罷出し

一 御用書差出候ニ付御日記相渡候此件
添書并御書状差出候旨ニ御年寄中ニ而
書例之通ニ被成候ニ付書付御年寄中ニ而
右両人共
城御被申来候御附之者共ニ而前同人
中年寄
右之外　御中奥ニ而申達候

返ス

一 明日
御用書差出候ニ付御用書付相渡候旨申
御用日取之ニ出候ニ付相渡中書

一 右者御九加役殿且又御用日取之旨被成

一 御本丸書付之相渡之ニ候

一　九半時過大坂御城江御着座被遊候旨申来候以上

六月廿四日　当番　大岡主膳正

今日揚ニ付

河内守書付郵便ニ而周防守殿江差遣候処
可差越旨ニ付丹波守殿江被渡候ニ付
書付郵便ニ而周防守殿江相渡候様
大膳亮殿御出之上御書付相渡候
右之外　被申聞候儀無御座候以上

退出

一　今日活字番所之者出候ニ付明日御用番江引渡候

一　ミ山殿江相達候

一　昨日河内守殿より書状ニ而通路之所御下知有之候ニ付明日御用掛を
　　引渡候

一　御本丸当番ニ付河内守殿より大坂御城代
　　城江着座ニ而可申越旨
　　河内守書付渡候以前ニ而差掛り周防守殿江渡候
　　先様江通路之儀申上候
　　佗阿殿江被渡候ニ而

一　河内守書付被渡候処御用番江右之趣相達候
　　右之儀申上候

一　今晩御用人当日当番ニ付御城江罷出候様ニ而
　　相成候ニ付当番御勤可然旨申来候

一　九半時過大坂御城江御着座被遊候旨申来候以上

六月廿四日　当番　内藤豊前守

御用人阪井　小笠原中務殿以後
御城附并御機嫌伺河内守殿江
当番御勤御本丸大坂御城江御着座

松平讃岐守
松平肥後守
松平大蔵大輔
右者、此度為伺御機嫌
城被例席出候ニ付
御掛香一包　日光御門跡
右者、先日中以飛札御使者差出之
候処、右御使者江相渡候旨之趣被
仰出之間、大坂御役被申付候
右之外　被申聞候得共、此段為心得申達
退出
一　於右内御用人江申渡候品々御役中之向
御機嫌伺ニ付
兩丸之分、例之通差出候様被達、右退出之後ニ而可申達候
一　月番之方へ一封、茶代ニ付差出候
一　今日大坂御役以来御能御附御座候旨申達

六月廿三日
当番　高木主水正
右為伺御機嫌、兼而被差出候向
御老中江差出
大井主膳正
右者、太田備中守為伺御機嫌、以使者差出
之候旨、被申聞之間、被相渡候
御掛香一包
御菓子一箱
右御用人江一通ニ相渡候
坂上寺宮大夫
右之外　御礼廻ニ出ル
退出
一　御機嫌伺之御用人大和守様江以使者御肴
馬代等差出候ニ付、右之向御書付一紙相添
一　右両人江
御渡し
御当番江者、以使者差出候ニ付、被成候向

此方ニ[illegible]切紙ヲ

一 御持参　御家老へ御渡候

御老中様ヨリ右御同人ヘ御紙面ヲ以御渡可被下候旨被申之候

右御家老ヨリ差出候御切紙御同人ヘ御渡申候也

通リ之候得共御書付等一紙御同席方御相談之上

御老中様ヘ御引取之御見届ケ候様被仰候由

座敷御渡之節右之通ニ候

一 大坂御城代ヘ被仰聞候趣ニ付此段御申達候

城ヘ御見届之節御指図ニ而御届可申候事

一 右御当地ヘ罷越候御用番御同役中ヘ

一 右御書付并ニ御切紙ニ而申渡候

一 右御用番ヘ御紙面之趣御申達候以上

六月廿八日　南部

松平右京亮

今度御用ニ付

右大膳様御病気ニ付

入御用ニ而急キ御

返翰可被下候

御在所

御家老

大坂

小笠原右近将監殿

坂本右京亮

二丸ニ而御渡候

右紙

御前ニ而　御請申上

一 同御紙面之通御家老ヘ申達候以上

御役人中ヘ御渡之節御請申上候

一 右紙御同役中ヘ御届ケ申候御用掛

座敷御渡之節右御同人ヘ申達候

御勘定

井伊掃部頭様ゟ

御渡二包

右願書之通御聞済之上御渡可申旨　長野主膳

波濃﨑稲荷之儀

右之外　被申談候ニ付申上

返書

一　別紙之通ニ而承知致候段申上ル

一　九年前右同様之儀を以井伊様御渡之二通以上

六月廿二日

両書　阿部伊勢守

大井主膳

右二通者御稲荷社家江被申渡候ニ付御談之間

沙汰中ニ御座候

御書付添書ニ而

右

青修寺

御稲荷　御奉行所ゟ御役付御使僧

差出し候趣之間掛り之御伺御聞済

右通候ニ付御受申上候様被仰付候

上使　松平大膳

御渡二包

一　右被仰渡之趣

一　御書付を以并ニ添書ニ而御渡書付

写書之通り

右之外　被申談候旨申上

返書

一　日限前々之書付并ニ添別紙出御座候

一　九年前右同様之儀を以井伊掃部頭様ゟ御渡之二通以上

別紙者上

以参右御尋之

七月朔日

此程殿ゟ被相渡有之趣御届出

以上

六月廿四日　当番　内藤大和守

例年之通於城ニ法楽被仰付候

一　右為伺御機嫌罷出候ニ付登城之間　大井主膳正

法事中御屋敷ニ而

御形日同役ニ而御礼申上御礼被

申上候ニ付御書付差出候ニ付

昨日之御番相勤候ニ付御届申上候

右ニ付其段ニ御届書差出ス旨申聞

両丸御番之者ニ付夫々御届書差出

十七日

一　御番ニ而御機嫌伺候ニ付有田様御別ニ而

右之通り御書付之写差遣し候ニ付

右之外　別段無御座候以上

大御門番

以上

請取

右ニ付御請取差出候ニ付御番所ニ而

御勤ニ付御書付之例能被仰付候間中御届申候

相済候之前ニ通り御目見之上御役

之御為村方ニ申上候御用人ニ御答申

一　明日

両丸御番之儀ニ付御用有之候ニ付相勤

右之通り御用被仰付候ニ付申上

当番御勤ニ付御届申上候以上

御城之上

子六月廿四日牧野備前守御書付之写

御奏者番衆

右御用

大関加賀守

式部少輔殿御勤御差支之節ニ付

右御用ニ而御

公方様　右大将様ニ御

御役所月番之者中御届申上

宛ニ彼是申立候ハヽ
御取計御取扱可被成候
通り之事

一 高家衆之儀者諸大夫並布衣
以上諸向頭衆布衣以下之役人
以前之御礼之振合ニ相成候
而者不宜候間是迄之通可被

一 在国之面々者是迄之通
御礼相済候ハヽ右之通御
触有之候様可致候

六月

国立公文書館
National Archives of Japan